

[更新情報に戻る](#)

# THE HIDDEN KING(S)

マーリンの洞窟から支配するキャメロット



*by Miles Mathis*

と思われそうです。  
鳥たちが私に話しかけてくるのを聞くこと。  
血の中に呪文のよ  
うなものがあるの  
でしょうか？  
あそこにいる好奇心旺盛  
な鳥、聞け！彼は私に歌  
ってくれる。  
-ワグナー『ジークフリート

第一稿執筆12月  
インターネット上に初2007公開  
2008-9月

ご覧の通り、この論文は数年前に書かれたものです。私は7年以上も放置していました。しかし、同系統の論文（フェイクイベントに関する論文）を多数発表した今となつては、この論文も多少はアピールしやすいかもしれない。この論文を一見して、あまりにも突飛な内容だと思われる方は、まず他の論文を読んでみてください。特に、[リンカーンの暗殺に関する私の論文](#)は、この論文と多くの類似点があるのでお勧めです。また、[Tate/Manson事件についての非常に長い論文](#)もお勧めです。この論文のために私がまとめた写真の証拠は、この論文の写真の証拠をも上回るもので、その証拠は広範囲にわたっています。

いつものように、私はこの論文を、憲法によって言論の自由として保護されている意見書として提供します。それは私の

プロによる証拠の読み取りは、そのように受け取られます。プロというのは、写真の証拠を読み解くことに過去の専門知識を持っているということです。私はプロのリアリスト・アーティストとして、数十年にわたって自分の目を磨いてきました。私はプロのリアリスト・アーティストとして、数十年にわたって自分の目を磨いてきました。写真をポートレートにするためには、画像に含まれる微妙な色合いや線をすべて読み取らなければなりません。そのため、私は人よりも現実や映像の世界をよく見ることに慣れてしています。普通の人には見えないものが見える。このスキルが、私たちが売られてきた偽りの歴史を解き明かすのに役立つことは理解できるでしょう。

この10年間で、数人の人々が眠りから覚めました。911「オーロラ」「サンディフック」にまつわる嘘をきっかけに、彼らは自分たちが聞かされてきたベッドタイムストーリーを見抜くことを学んだのです。この不信感を払拭するために、彼らは最近の歴史の他の物語を再考する準備ができています。この論文では、ケネディのおとぎ話を見てみよう。まず、JFKの暗殺について調べますが、最後には、すべてのケネディについてのすべての物語は、1つのピースであることがわかります。

ウォーレン委員会が隠蔽工作であることは、証拠を研究するほとんどすべての知的な人々にとって、長い間明らかになっていました。世論調査では、80%の人がウォーレン委員会の報告書を信じていないことを認めており、残りの20%の人は非常に騙されやすい人たちだと思われまます。また、いわゆる陰謀論を研究している人もいますが、それは別の説です。しかし、ほとんどの場合、代替説も標準説と同じように穴だらけで、お粗末な構造であることは、同じように明らかであろう。ウォーレン委員会の報告書のように、異説もプロパガンダのように読める。どんな形であれ、すべての異説のスタイルは、ウォーレン委員会のストーリーと同様に、あやしいものである。内容だけでなく形式にも目を向けるように訓練された私たちにとっては、異説もまた台本のように、あるいはマインドコントロールのための見え透いた努力のように読める。

この2つのストーリーは、主にミスディレクションやディスインフォメーションとして作られたものであることを示唆しておきます。すべての代替理論家が政府や他の誰かに支配されていると言っているわけではありません。ただ、代替理論は政府や権力者によって奨励されているように見えるということです。私たちは、代替理論は嫌われたり、抑制されたりするものだと考えてきましたが、実際に抑制されているのを見たことはありません。実際には、ほとんどの場合、代替理論の普及は、主流派によって抑制されるのではなく、助長されているように見えます。代替理論や理論家は、標準的な理論と同じように、望ましい物語の主要なラインを販売しているのではないかと自問すべきである。権力者にとっては、あなたが犯人は1人だと思っているか、多数だと思っているか、あるいはCIAやFBIが関与しているかどうかが重要ではないかもしれません。唯一重要なのは、ケネディがその日に暗殺されたと信じることであり、代替説はウォーレン委員会よりもさらに強調して熱心にその事実を売り込んでいるのである。結局のところ、代替説は標準説よりもケネディをはるかに偉大なヒーローに仕立て上げており、これは真の陰謀者たちにとっては歓迎すべき副作用なのかもしれない。

両方のストーリーをコントロールしている人たちの第一の望みは、あなた、つまり一般の人々をひどく混乱させて、適切な質問ができないようにすることです。この目的は、多くの競合する理論を持つことによって達成される。このようにして、ウォーレン委員会は公式のフェイクストーリーに過ぎない。しかし、他のフェイクストーリーも、正解がないように見せるための長期的な努力において、同じくらい重要である。語り部たちは、増え続ける憶測や意見の塊が、ほとんど必然的にすべての捜査官を圧倒することに満足している。混乱が生じれば生じるほど、誰もが真の手がかりを発見できなくなるのだ。

政府がどのように異説を広めてきたかの一例として、[「ランパート」誌に関する私の最近の論文](#)を紹介しよう。[「ランパート」誌](#)は、1960年代後半から、暗殺に関するオルタナティブ・セオリーを最初に発表した雑誌の一つである。当時、「ランパート」は極左やアナーキストの雑誌と思われていたが、「エンカウンター」「パルチザン・レビュー」「パリス・レビュー」などの知的雑誌と同様、CIAの隠れ蓑であったことが判明した。1960年代になると、CIAはメディア全体に浸透し、一見独立しているように見える以下のような小さな雑誌も含まれるようになった。

ランパート。CIAは、1970年代の上院教会委員会の公聴会で、このことを認めるほどでした。このことについては、文化的冷戦に関する私の論文で読むことができます。また、フランシス・ストーン・サンダースの著書も参考にしてください。

この論文では、あの日に何が起こったのか、そして1944年以降に何が起こったのかをお話しします。JFKの謎は、もっと大きな謎の一部に過ぎず、その謎は本稿の後半で私が解き明かします。JFK暗殺事件は、半世紀以上にわたって閉ざされてきた扉を開ける鍵であり、最も偉大なカーテンの向こう側を見ることを可能にするものである。

最初から問題なのは、自分で事実を見る前に理論を教えられていることです。私はそれを逆手に取り、ストーリー全体を語る前に事実を伝えます。私が照合を始める前に、おそらくあなたはすでに自分の理論を構築していることでしょう。事実だけを見ればいいのです。私は、最も重要な事実、手がかり、写真、その他の証拠を、最初にある理論の一部として見ることなく、あなたに提示します。シャーロック・ホームズが言ったように、事実を知る前に理論を持つことは危険です。そして今までは、2つの説が考えられました。ケネディはオズワルドに殺されたのか、それとも他の誰かに殺されたのか。私は、事実だけを見ると、この2つの結論のどちらにも当てはまらないことを示します。

少しでも調査をしたことのある人ならば、標準理論に対する多くの議論を知っているだろう。しかし、ここでは、標準理論の弁明者としてではなく、単に合理的な人々として、代替理論を批判的に見てみましょう。

代替理論では、これまで言われてきたことはすべて嘘だと言われています。私たちはそれを受け入れることができると思います。そして、ケネディには多くの敵がいたことを述べて、議論を構築し始めます。別説の主な違いは、どの敵が実際にケネディを捕まえたかということです。ジョンソン、CIA、FBI、フーバー、シークレット・サービス、テキサスの石油業者、カストロ、ロシア、銀行家、マフィアなどが敵だと言われている。非常に強力な敵がたくさんいるのだ。すべての代替理論は、例外なく、ケネディが非常に強力な敵をたくさん作っていたことを受け入れている。理論によっては、上記の人物の一部を軽視したり、他の人物を持ち上げたりすることもあるが、すべての理論は、ケネディが敵に囲まれていたという考えから始まる。

さて、私はこのリストやその一部に反論する必要はありません。例えば、ケネディはCIAに敵を作っていたが、CIAの別の部分をコントロールしていて、その部分も強力な情報収集能力があったことを示すことで、それを分解してみることができる。彼の兄である司法長官が非常に強力な人で、司法省やその他の場所に非常に強力な友人がいることを示すこともできた。父親のジョセフ・ケネディには（控えめに言っても）モブのコネがあり、ジョンにも直接のコネがあったことを思い出させることができました。例えば、1960年の選挙に貢献したことで知られるフランク・シナトラやサム・ジャンカーナのことでも思い出させることができる。などなど。しかし、そんなことをする必要はない。私は、ケネディが強力な敵に囲まれていたことを受け入れることができる。

上に挙げたリストのすべてを受け入れることができる。実際、リストが大きくて怖いほど、私はそれを気に入っている。なぜなら、それがあなたへの最初の質問につながるからです。

ケネディが自分の血に飢えたジャッカルの群れに囲まれていたとしたら、なぜ彼らの縄張りに入り、白昼堂々とオープンカーで、管理されていない高層ビルの間を走り抜けるのだろうか？なぜ、ダラスのダウンタウンの通常の交通を止めずに（ザブルーダーの背景に車が写っているように、コマースの反対方向には通常の交通があった）、そのようなことをしたのだろうか。1963年には防弾ガラスが導入されていたので、車には防弾ガラスが装備されていたと思われるが、車の窓は全開になっていた。当日の写真をよく見てみると、反対側の窓が一

部上がっていて、そちら側の女性をある程度保護していることがわかります。しかし、JFKの側では、窓は完全に下ろされています。また、ザプルーダーやその他の文書やフィルムによると、人々はモーターケードから数フィートしか離れていない通りに並ぶことが許されていました。これらの写真を見ると、複数の人が実際に縁石から通りに出て、警察の反対を受けずに歩いているのがわかる。ある女性は、モーターケードから手の届く範囲に足を踏み入れたと言っている。

"Look over here for a picture!"

と叫んでいた。このことは、ダニエルズが撮影した、橋の向こう側から現れた車（2人の少年が手を振っているところ）のフィルムなど、他の証拠からもわかります。車は少年たちと映画のカメラから数フィートしか離れていません。

以下では、ベルや他の人の写真を分析して、さらにその証拠を示します。

シークレットサービスが車の後部から引き出され、ビルの窓が開いていることがいかに奇妙かを指摘する別の理論家たちは、ルートが完全に無防備であることがさらに奇妙であることには言及しない。1963年当時、カメラを持った女性たちが通りに出てきたり、ムービーカメラを持った男性たちが芝生の上を歩き回ったり、何百人もの日帰り旅行者が自分たちの好きなように物色したりすることが、群衆整理の努力を全くしないで普通に行われていたことを、省略してほのめかしているが、そうではない。その数週間前にマイアミやシカゴを訪れたときと比較してみると、このプロトコルが1963年でも1863年でも、まったく普通ではなかったことがわかるだろう。常識的に考えれば、どんな状況であっても、見知らぬ人を大統領にあんなに近づけてはいけないということがわかるだろう。60年代が「より純真な時代だった」とか、そういった間違った方向性とは何の関係もありません。トルーマンもウィルソンも他の人も、ましてやケネディのように歴史上類を見ない敵の組み合わせに囲まれた大統領でも、あのような状況に陥ることはなかったでしょう。

そして、人々はシークレットサービスのせいにしてしようとしますが、ケネディには目がありました。書庫の窓が開いていることを、そこに行くまで知らなかったというのは事実だとしても、その他の要因は起きている人なら誰でも知っていることだった。彼は、説明を受ける必要も、善人や悪人からの情報報告に頼る必要もありませんでした。周りを見渡すだけでよかったのだ。あの車列に乗っていた人は、一般市民が道に並んでいること、交通規制がかかっていないこと、車が無防備であることなどを見ていた。たとえルートに嘘があったとしても、自分がカモにされていることを自分の目で確認できたのだ。これほど多くの敵を持つ男が、仮に自分がそのような立場に陥るような愚かなことがあったとしても、笑顔で観客に手を振ると思うだろうか？そうではなく、シートの下に隠れて、運転手に一刻も早く脱出するように命令するだろう。

この質問に対して、「ケネディはナイーブだった」「エゴマニアだった」「コントロールされていた」などと言われます。しかし、ここでは誰がナイーブなのでしょう？これらの回答は、私の質問に意味のある形で答え始めているだろうか？

そうではなく、事前に設定された説明なしに起こったことを見ないようにするためのプロパガンダなのだ。自己中心的な人は、自分の命をとっても大切にしているので、そのような状況に陥ることはないでしょう。歓声を浴びるために、自分の命を差し出すようなことはしないだろう。

私たちは、ケネディが愚かではなかったことを知っている。また、世間知らずでもありませんでした。代替理論家が好んで流すあの有名な演説で、ケネディは秘密政府について警告し、私たちに協力を求めています。その演説をした人物が、自分の頭にブルズアイをつけたまま、管理されていない大都市のオープンカーに乗せられることを許すでしょうか？もちろん、そうではない。

オリバー・ストーン監督の『JFK』に次いで、最も影響力のあるオルタナティブ・セオリーの映画のひとつが、ヒストリーチャンネルで最初に放映された『ケネディを殺した男たち』という複数のパートからなるドキュメンタリーである。陰謀論を売る主流のチャンネルがあること、そしてこのドキュメンタリーがなぜか多くの曖昧なFBIの証拠にアクセスできたことに注目してください。[また、ヒストリーチャンネルは諜報機関の隠れ蓑として知られており、視聴者をプロパガンダするために特別に作られていることにも注目してください]

。私はこの映画を一点一点、あるいは全体的に批評するつもりはありません。ただ、この映画のあるシーンを紹介したいのです。マイアミでは、FBIがダラスと同様の暗殺計画に潜入していたと言われている。計画者は録音テープに収められており、映画の中では捜査官自身が、どの家にどのように録音装置を仕込んだかまで紹介している。そして、1963年10月に録音されたテープを聞く。重要なのは、悪者がスパイに「大統領の替え玉が何人いるか知っているか」と尋ねる場面だ。

ほとんどの人はその点について間を置かないが、私は首を傾げた。その男性は、ボディダブルがいるかどうかではなく、"何人いるのか"を聞いているのです。もちろん、大統領はボディダブルと一緒に移動します。代替理論家たちは今、サダム・フセインについてその考えを推し進めています。彼らの多くはフセインが死んでいないと考えているからです。実際、私はフセインが死んでいない可能性が非常に高いと思っています。フセインが死んだ時のフィルムは偽物のようだった。それは



いろいろな意味で怪しいですね。しかし、ケネディもフセインのようにボディダブルを持っていることが予想されることを覚えている人は少ない。

もしケネディが、1964年の選挙のための票集めのPRとして、モーターケイドを続けるべきだと判断したのであれば、彼は間違いなくボディダブルリストの一人を指名したはずである。私の説を批判する人は、「人々はその違いを見分けることができる」と言うだろうが、人は人間の顔の小さな違いを見分けるのが思ったほど得意ではない。実際、言葉の手がかりや服の手がかり、慣れ親しんだジェスチャーなどがなければ、人は似たような顔の人を見分けるのが苦手です。最近では、コナン・オブライエンが自分の深夜番組で、自分に遠く似たボディダブルを街に送り出して人々に話しかけ、そのことを証明した。彼の身長は6フィート4インチで、替え玉の身長は6フィート以下でしたが、誰もそれが彼でないことに気付きませんでした。そのダブルは他の多くの点で大きく異なっており、似ているのは本当に赤い髪だけだった。声も全く違っていました。コナンはトークショーで有名ですからね。その後、観客は「こんなに目が見えない、耳が聞こえない人がいるなんて」と驚いたふりをしていました。これはごく普通のことです。私の経験では、ほとんどの人は、最も明らかな違い以外はすべて見えません。彼らがより多くの間違いを犯さない唯一の理由は、一般的に、小さなグループの親しい人たちと関係を持ち、声やジェスチャー、衣服の認識の助けを借りてそれを行っているからです。

しかし、それはもっと強く言うべきでしょう。後述するように、人はどんなに明白な手がかりであっても、ましてや微妙な顔の違いを見抜くのは苦手です。[その最たる例が、下記のボビー・ケネディの写真の分析です。大手新聞社の一面に使われた写真には、明らかに貼り付けの問題があり、それを40年間誰も見たことがないのですから。]

つまり、大多数の人は、替え玉でも何でも、驚くほど簡単に騙せてしまうということです。見分けがつく人は、状況に押されて質問をしないのである。車に乗っている男がケネディであるかどうかを問う人はほとんどいません。なぜなら、無意識のうちに「他に誰が乗っているだろう」と考えるからです。

身元を確認できるほど近くにいた人はほとんどおらず、そういった人たちは自分自身に質問することはないだろう。車列の他の人たちも、ほんの少しの努力で騙すことができる。本物のケネディが車に乗るのを待っているを見せて、駐車場の暗闇の中で、最後の瞬間に乗り換えて、車を走らせるだけです。彼は正面なので、後頭部しか見えません。手がかりを得た人は、買収されたり、強要されたりします。

しかし、強制力も必要ありません。なぜなら、車列にいるのは敵か味方かのどちらかだからです。敵がどう思おうと、あなたはボディダブルを使って敵を騙しているのです。敵はどう思おうと構わない。替え玉の必要性を理解してくれるでしょう？もし、後から嘘をつかなければならないとしても、それが何だというのでしょうか？彼らは政治家です。彼らは生活のために嘘をつきます。

JFKに関する最も突飛な説の一つとして、ロバート・モーニングスターという研究者が、ダラス市の警察官J・D・ティピットが大統領の替え玉として使われたという説を発表したことがある。覚えておいていただきたいのは、ティピットは、ダラスのダウンタウンから逃げ出したオズワルドに殺されたと言われていることである。厳密に言えば、モーニングスターはティピットを死体の替え玉として使ったことになるが、考え方はほぼ同じである。ティピットはダラス警察の間では、ケネディのそっくりさんのような存在として知られていた。さらに、ティピットの頭の傷は、ウォーレン委員会がケネディに決定した頭の傷に似ていた。どちらも非常に示唆的であることは同意していただけたらと思う。しかし、よくよく考えてみると、モーニングスターの主張は崩れ始めている。彼の主張の大部分はほくろを中心にしているが、ほくろよりも大きくて見やすい特徴が彼の視覚的証拠を殺している。最も有名な死体

写真は、ロバート・グローデンがベセスダから「リーク」した写真である。モーニングスター社はこの写真をティピットの死体写真のすぐ隣に掲載しています。

私はすぐに問題点を見つけることができました。それは鼻の中隔です。それは、鼻の穴の間の区分けである。私たちは両方の頭を見上げていますが、2つの隔壁は突出しています。ティピットの鼻は、その非常に狭い隔壁のために並外れている。ケネディの死体は、それが誰であれ、広い隔壁を持っています。それはティピットではない。

いや、モーニングスターの説の方がミスディレクションだ。公式の偽情報である可能性もありますし、それが

は、外部からの幸運なヒット商品に過ぎず、間違っているからこそ成功したと言えるかもしれません。いずれにしても、それは示唆に富み、失敗が明らかになった後でもそうであり続ける。たとえそれが意図的なミスディレクションであっても、一抹の真実を含んでいるため、それを覆すことができる。ベセスダのケネディの死体はティピットではないが、これから示すようにケネディでもない。

とはいえ、ティピットがケネディの替え玉として使われたのは、別の部分である可能性もある。ティピットは、ダラスでは追加の死体の替え玉として使われたかもしれないが、これからわかるように、ベセスダでの死体の替え玉ではなかったのだ。私はモーニングスターのケネディとティピットの画像を研究し、またアーカイブに戻ってケネディの有名な写真をすべて見ているうちに、いくつかの非常に特徴的な特徴が私の目に飛び込んできました。ほくろは隠したり、鉛筆で書き込んだりすることができますが、他のものはそれほど簡単には隠せませんし、偽造もできません。ベセスダの死亡写真では、すべてをはっきりと見ることはできませんが、はっきりと見えるものもあります。上の歯が見えたり、額が見えたり、中隔が見えたり、鼻の下の形が見えたり、そういうことです。だから、ないものを比較しようとするのではなく、あるものを利用するのが論理的だと思います。傷口が加工されていることはわかっている。たとえ邪悪な目的で加工されていなかったとしても、医療目的で加工されていたはずだからだ。医師は最初、出血を止めるために傷口を塞ごうとしたかもしれないし、その他にも様々な正当な理由があるだろう。だから、操作できない、されない部分に目を向けるのが一番なのです。



額は大部分が原型をとどめていないので、まずはここから始めるのがいいでしょう。右目のかなり上、髪の毛の生え際付近に傷があり、右の眉毛が剃られています。ケネディの眉毛は確かに弱かったのですが、内側ではなく外側が弱かったのです。眉毛の内側の部分がはっきりと見えますが、そこには何もありません。それはとても不思議なことです。

この写真に対する通常の解説は、傷口がザプルーダーフィルムの巨大な穴と一致しないことを指摘するものであり、私もその解説に同意する。私はここで、このセクションの与えられた解説に反論するのではなく、それを補足するために来ました。傷口が怪しいのは同意しますが、他の部分をもっと怪しいと思います。そもそも、なぜ髪の毛ではなく眉毛を剃るのか。眉毛を剃るのは手術前の処置だが、この種の傷で手術をする理由はなかったはずだ。まず第一に、この男はすでに死んでいた。第二に、もしダラスの最初の医師たちが、奇跡を期待して、あるいは（一部の医師たちが主張しているように）自分たちの尻拭いのために、死後に手術をしようとしていたならば、眉毛と頭髮の両方を剃っていたはずである。少なくとも、傷口の周りは剃っていただろう。しかし、それが見当たらない。眉毛よりも傷口に近い部分の髪が残っている。では、なぜ眉毛を剃ったのか？私は、ケネディの眉毛に似ていな

いから剃られたのではないかと提案します。眉の反り具合や太さは非常に特徴的で、誰もが似ているかどうかを判断する際に最初に確認するポイントの一つでしょう。この男の眉がケネディに似ていなかったから、剃った。そんな単純なことです。

横から見ると、眉毛の形がよくわからない。2枚の写真からわかるのは、左の眉毛が剃られていないこと。それ以外のことは判断できません。しかし、1枚目の写真の右眉が無傷であれば、似ているかどうかを真っ先に判断することができます。だからこそ、それがなくなっているのである。また、この正面写真と左の横顔は「流出」したが、右の横顔は「流出」していないことにも注目したい。右の横顔のほうが傷があるので重要なのですが、代わりに左の横顔が出てきて、そこには無傷の眉毛のアーチさえも見えません。これもヒントになります。

さて、おでこの話に戻りましょう。ご覧の通り、この額はとても滑らかです。高い位置から光を当てても、シワがありません。光は下から当たっています。上唇の上の影と、鼻の上のさらに暗い影を見ればすぐにわかるでしょう。解剖台を見ているので、光は非常に明るく、ハイライトは非常に白いです。それなのに、額にはまったくシワがないのです。これは二重に奇妙なことだ。なぜなら、死体は水を吸うことで有名ではないからだ。誰もが知っているように、遺体は乾燥する。シワは減るどころか増えるはずなのだ。確かに、死体は奇妙なことをするもので、体の他の部分に膨らみが生じることもあります。しかし、頭、特に脳のない頭には水が溜まることはありません。

続いて、目を見てみましょう。目が開いているのは不思議だと思いませんか？これは死後何時間も経ってからのことだ。死体は都市間の長い距離を移動していた。目が閉じられていなかったと考えるのが自然でしょう。それなのに、目はまだ水っぽくなっている！？そんなことがあるのか？10秒ごとにまばたきをしなければ目は乾いてしまうし、生きているのだから。しかし、この「死体」は何時間も目を開けていて、その目が奇跡的に液体で満たされていると信じろというのか？繰り返しになりますが、これは脳も血液もない頭を持った死体のはずです。どちらも高出力のライフル銃で吹き飛ばされたと言われています。だから、その頭蓋骨の中には、目を潤すものは何もないはずだ。萎縮しているはずだ。あの男はケネディではないばかりか、死んでさえいないのだ。

ワックスマンがすでに到着していて、遺体を棺に入れる準備をしていたと言う人もいますが、それは馬鹿げている。確かにモーティシャンズワックスはシワを埋める目的で使われますが、解剖台では使いません。それにしても1日くらい早いんですね。これらの写真は、エンバールミングや棺の準備の時ではなく、検死の時に流出したものだと思います。これらの写真では、ジャックの特徴的な眉間のしわを見ることができません。そうではありません。他の人は、明るい光がシワをかき消していると言いますが、それは間違いです。明るい光は、シワを改善するのではなく、悪化させるのです。朝の明るい光と夕方の暗い光では、どちらが若く見えるでしょうか？暗い方が若く見えるのは、誰もが知っていることです。若くない人を若く見せる写真を撮るには、低い光で撮影し、レーキングしないようにします。ここでは、レーキングされた光が非常に明るくなっている。シワがひどくなっているはず。朝から悪い顔をしていたら、死んだときにはもっと悪い顔になっていること請け合いだ。頭を撃たれたからといって若返るわけではありませんし、美容のためにお勧めするわけでもありません。それなのに、この死体はケネディより何歳も若く見える。



ケネディは最年少の大統領として有名ですが、上の真ん中の写真46で1963.は、42,彼はすでに深い眉間のしわを持っています。1枚目の写真は

1963年に撮影されたもので、体重が増えているのがわかります。やや肥大し、唇は薄くなり乾燥し、顔にはシミができて始めています。特に、左頬の目立つシミと、右上の唇の小さなシミに注目してください。唇の上のシミは、3枚の写真すべてに写っているので、おそらくホクロだと思われる。しかし、ベセスダの写真では全く見えません。カラスの足跡やその他の顔の老化の兆候も同様である。ベセスダの写真では、目の端に非常にかすかな線が見えますが、これは40代後半ではなく30代前半の男性の隆起に見えます。ここでも、写真はケネディとは一致しない。

この3枚の写真勉強している間に、他のディテールを練習することで、目を研ぎ澄ますことができます。ジャックは、2枚目と3枚目の写真の間に、鼻と耳を整形したことがわかります。古い写真では、彼の鼻梁はより細く、よりシャープになっており、耳のタックは誰の目にも明らかになっています。

しかし、次に進みましょう。もうひとつの注目点は、目の下のひだです。死体写真では、特にケネディに特徴的な目の上のひだを見ることはできませんが、あるものを使って作業します。モーニングスターがケネディとティピットを比較したとき、私が最初に気づいたのは、ケネディの方が目の下のヒダが大きいということでした。ティピットには目の下のひだがまったくありません。つるんとしていて、クマの始まりがあるだけです。しかし、ケネディは非常にはっきりとしたひだがあります。死体は、頬骨からの影がはっきりしていますが、目の下には全く折り目がありません。

この光の強さであれば、ひだが強調されるはずなのに、ひだがなくなっている。これを医学的に説明する方法はないが、これがケネディではないことを思い出すしかない。

次に注目したいのは歯です。死亡写真ではティピットの歯がはっきりと見えますが、この死体の歯はティピットのものではありません。まず第一に、ティピットには右側の第一小臼歯がありませんが、ベセスダの死体にはありません。見える歯もすべて違う。しかし、ケネディはどうか。この写真からわかるように、ケネディの切歯（前歯4本）はどれも幅広で、犬歯はかなり尖っています。ベセスダの遺体は、ケネディよりも切歯が小さく、犬歯は切歯に近い（平らな）形をしています。実際、ベセスダの写真では8本の前歯がすべてほぼ同じ大きさに見えるが、これは極めて珍しいことである。



ベセスダの死体は、本物の歯ではなく、完成された入れ歯や衣装の歯を持っているように見えるだろう。ケネディはこの初期の写真の後、入れ歯や帽子を作ったのだろうか？いや、こ

の写真は大統領として微笑んでいる。尖った犬歯がはっきりと見えるだろう。

もう一つは、私たちが差し歯の方向に押しやるもので、私が最初に見たときに気づいたのは



ベセスダの写真。死体の上唇はわずかに突き出ています。これは、本物の歯の上に差し歯を入れたときに唇がそうなるのと同じです。死体は仰向けになっているので、重力によって唇が歯から離れるのではなく、近づくはずだ。ケネディの口はこのようなものではありませんでした。唇がこのようになっている人もいますが、ケネディにはありませんでした。この遺体もそうではないと思います。この非常に完璧な歯は仮歯のようです。本物の歯を抜かなければならないので、入れ歯でもない。

ハリウッドで使われているような、高価な衣装用の歯です。ハリウッドで使われているような高価な衣装用の歯です。俳優がこの歯を入れていることは、歯が薄くなって進化した今でもわかります。なぜなら、この歯を入れるために、いつも上唇がほんの少し移動するからです。口元のほんの少しの変化でも、顔を知っている人は気づくものです。絵画の肖像画では、口元のほんのわずかな変化が全体の似顔絵を変えてしまうことがあります。実生活でも同じことが言えます。コスチュームの歯は、昔も今も変わらないのです。その証拠に、フレンズのDVDでロスが歯を白くするシーンがあります。彼は自分の歯の上に仮歯をつけていますが、これはすぐにわかります。画面に出てきた瞬間、彼の口元が変になっています。しかし、私たちはこの差し歯が最高のものであったと考えることができます。2000年のフレンズはお金に困っていなかったため、脚本家はロスが差し歯をしていると思われなくなかったのでしょうか。

ケネディの検死」を担当した者がこの死体を選んだのは、鼻が非常に良く、頭部の全体的な特徴がケネディに近かったからだと思います。頭部の全体的な形、特に顎の形がよく一致している。歯と眉毛は修正しましたが、その他の部分はそのままです。歯は、ほとんど見えないようにしました。これは中途半端な解決策です。というのも、小さな違いを見つけるためにケネディの写真を見に行く必要がありますが、ほとんどの人はそんなことはしないでしよう。

しかし、最大の問題は、この死体がケネディよりも少なくとも10年は若い男のものであるということだ。大衆はケネディを星のような目で見ているので、彼がもう30歳や35歳ではないことを忘れていた。彼はかなり若く、まだかなりハンサムだったが、単にこのような肌をしていなかった。彼は30歳のときでさえそうだったが、ほとんどの人はそんなことには気づかない。下級議員時代の写真を見てください。額のラインがはっきりしていて、顔色もかなり悪く、目の下にもしわがあるのがわかります。顔色が悪いというのは、シミがあるという意味ではなく、もともとそれなりに日に当たっていた人だということです。40代の男性であっても、女の子のような滑らかな肌をしているわけではない。しかし、ベセスダの死体はこのような滑らかな肌をしている。ケネディではない。それは、ケネディではなく、それに近いものでもない。



最後の証拠として、俯瞰写真を見てみよう。ここでは、下を向いて死体の体を見ることが出来る。大統領は自分の体を大切にしていたことは知っているが、この死体は当時の基準ではバブである。肩は非常に筋肉質で、大胸筋はたるんでおらず、お腹も全く出ていない。それはどの年配46の男性にも見えないが、特にケネディには見えない。元アスリートの年男46でもあんな肌にはならない。顔と同様、これは130歳児の肌である。そして、ジャックは

単純に考えれば、あんなに細くてバフバフではなかった。彼はかなり良い体型をしていましたが、オリンピックの200背泳ぎのトレーニングをしていたわけではありません。それでは、1963年の大きな写真をご覧ください。お腹が出ていても、あんなアゴは出ていない。これらの写真は、非常に無知で騙されやすい人々のために、彼らが騙そうとしている人々の知性を全く考慮していない人々によってのみ「リーク」されたのである。もう一度見てください。この2枚の写真は同じ男性ですか？



もうひとつ、ほとんどの人が知らないことだが、ケネディは背中に装具をつけていた。彼は何年も装具をつけていました。

加えて、1963年に股関節を痛めていたので、「暗殺」の時には肩から股関節までの装具をつけていた。

これでは、オズワルドの2発目の銃弾から身を守るために身をかがめることができないだけでなく、当然、運動もできなくなる。年11月の時点で、彼の胴体がこのようになっているはずがありません。1963.

---

さて、ケネディを少し離れて、オズワルドを見てみましょう。オズワルドは、シェイクスピアを除いて、生死を問わずどんな人物よりも多くのことが解明されている。しかし、これまで見過ごされてきた少なくとも一つの証拠がある。オズワルドがある独房から別の独房に移されたとき、彼は黒いセーターを着せられた。映画『ケネディを殺した男たち』では、インタビューを受けた警官が別の説の材料として使われているが、彼の供述はまだ十分に分析されていない。彼は、オズワルドが2枚のセーターを持っていて、どちらを着たいか聞かれたと話しています。最初はグレーのセーターを着たかったが、気が変わって黒のセーターを着たいと言ったと言われている。オズワルドが黒の方を選んだと信じるのが望まれていることに注目してほしいし、それは翻弄されているように見える。これは完全に恣意的なもので、グレーのものを選ぶことも可能だった。オズワルドが頭の中でコインを投げて、気まぐれに選んだだけのことだ。祖母や生まれたばかりの娘、老犬のファイドなど、人間らしい理由で選んだのではないだろうか。祖母や娘や老犬のFidoに関係するような、非常に人間的な理由

があったのではないかと思うのです。



しかし、少なくとも4つの疑問を持つべきだ。1) オズワルドは、劇場で色違いのセーターが詰まったバッグを持って逮捕され、それを独房に置いておくことを許されたと信じるべきなのか？

2) あるいは、妻のマリーナが服の詰まったスーツケースを持って現れ、それがそのままオズワルドに送られて、彼が最大限快適に過ごせるようにしたと考えるべきか？3) あるいは、オズワルドを飢えさせ、殴って、あの有名な映像で見られるような体型にした警官たちが、突然、彼が少し寒いのではないかと心配になり、彼に好きな服を提供したと考えるべきだろうか？4) しかし、最も重要なのは、なぜセーターが黒なのかということです。それは、オズワルドが旅先のワードローブから自由に選んだものではないと考えなければならない。囚人はそのような選択肢を与えられない。ダラス警察やFBIなど、誰であろうと手下の選択だったのです。そして、それには理由があったのです。なぜ黒なのか？

もしオズワルドが撃たれた時に明るい色の服を着ていたら、人々は血を見て彼が撃たれたことを知るだろう。それがどうした？人々は彼が撃たれても気にしません。ほとんどの人はリンチをしたい気分なのだから、血を隠す理由はないだろう。いや、カメラで撃たせるのは、本当に撃たれたことを証明するためなのだ。あの日のイベントの責任者たちは、彼がカメラで撃たれたことを確認するために、移動する必要のないときに彼を移動させたり、日中にそれを行ったり、無秩序な方法で行ったり、報道陣を呼んで招待したり、オズワルドがカメラに向かってまっすぐ歩けるように道を確保したり、ルビーが正面から何の質問もなく歩けるように道を確保したりと、大変な苦勞をしました。

しかし、もし彼が淡い色の服を着ていて、銃声が鳴り響き、血が出ていなかったらどうでしょう？人々は

"どこを撃たれたのか？"と質問するかもしれない。もし彼が頭や胴体を撃たれていたら、すぐに目に見える血が出るだろうし、人は足を撃っても死なない。ルビーは、2フィートの距離から彼の足を外したり、撃ったりするような馬鹿でなければなりません。ですから、明らかにオズワルドには黒いセーターを着せたいのですが、それは血を隠すためではなく、

血がないことを隠すためです。

銃撃を偽装するなら、オズワルドに黒いセーターを着せます。そうすれば、必要なのは銃声の音と、オズワルドが素早く床に引きずり込まれる音だけです。誰も血が出ていないことについてコメントしないでしょう。なぜなら、黒いセーターを着ているからです。

があったとしても、それを見ることはないだろう。偽装撮影のための完璧なカバーです。

オズワルドが黒いセーターを着せられても、44年間誰もコメントしないというのは、ほとんど考えられません。囚人が黒いセーターを着て移送されるのを見るのは習慣なのでしょうが？他の囚人が黒いセーターを着て移送されるのを見たことがありますか？それは、パンプスとフロッピーハットを着た囚人を移送するようなものです。それは単に行われたいことではありません。では、なぜ別の説はそのことに触れないのか、触れたとしてもすぐに非論理的な言い方をするのか、考えてみてください。全世界が誰かの血を欲しがっているとき、血を隠すために黒いセーターを着せるのではなく、血がないことを隠すために黒いセーターを着せるのです。

もう一つ、ここでは非常に不思議なことがあります、それは死語にもなっています。以前にもコメントされていたかもしれないが、私は知らない。映画をよく見てみると、最初の銃声が鳴る前から、オズワルドが叫んで前のめりになっているのがわかる。彼は誰かが虫を踏む音か何かを聞いたに違いない。彼は他の点では良い俳優だが、ここでは1秒ほど失敗している。彼はうーんと前のめりになり、最初の銃声が聞こえると、オスカー受賞の大きな不機嫌な顔をして、もう少し大きなうーんという声を出す。そして、彼は床に引っ張られます。

弾丸が音よりも速いからだと言う人もいますが、この人たちは自分たちを凌駕したエセ物理学者のようなものです。確かに、もしルビーが撃ったときに数百フィート離れていて、30-06で撃っていたら、時間的な遅れが生じるでしょう。

しかし、彼は数フィートしか離れていませんでした。数フィートの距離からの音による時間の遅れはありません。オズワルドはレーザーではなく、弾丸で撃たれた。しかも、ルビーが使ったのはスナブノーズ・リボルバーで、実際には弾速は地上での音速よりも小さいのです。しかし、弾丸の速度が4000fpsであっても、数メートルの距離では時間の遅れは明らかになりません。隙間ができるほどの時間はありません。オズワルドは、私たちが音を聞く1秒前、あるいは一瞬前に弾丸を感じることはできませんでした。人は痛み反応するのに時間がかかります。痛みの反応は、脳を介さない分、触覚の反応よりは若干早く、筋肉の反射よりは若干遅いのですが、それでも時間がかかります。瞬間的ではありません。100ミリ秒のオーダーである。ダラスの標高では、音速は約1200fpsです。音が20フィート（銃からマイクまで）進むには、16ミリ秒かかる。つまり、仮にオズワルドが光速のレーザーで撃たれたとしても、その音を聞く前に反応することはできなかったのだ。オズワルドの銃撃は捏造された。これは映画の制作で、オズワルドは明らかにそれに参加していた。

このオズワルド銃撃の2枚目の写真は、ほとんどが隠蔽されていたため、あまり多くの人が見ていない。



何か問題がありますか？垂れ幕に吊るされたマイクはどうだろう？

予測できない自然な出来事であるはずのこのシーンが、事前に仕組まれたものであることが疑われると思いませんか？予測できない出来事を、2台のカメラで2つのアングルから撮影したのも怪しいと思いませんか？そして、この2人目のカメラマンは、天井から吊るされてどこにしていることになっているのだろうか？それか、身長が12フィートあるかのどちらかです。また、これはダラス警察署の地下にある駐車場での出来事だと思われる。彼らの目の前には白い車がある。こんなに明るい地下室があるだろうか？人の影と、マイクの影を見てください。この人たちの前には強力なライトが設置されている。このような場所では、さすがに上からの光ではありません。正面から強く照らされているので、このシーンには強力なライトが設置されていたこととなります。これは演出であることを示している。

他のオズワルドの写真が捏造されたことはすでにわかっている。例えば、『LIFE』誌に掲載された、銃を持ったオズワルドの有名な写真は、現代の専門家によって偽物であることが証明されています。





英国警察の科学捜査研究所に30年勤務し、偽装写真の専門家であるマルコム・トンプソン氏は、[1978年のBBCのドキュメンタリー](#)番組で、これらの写真は偽物であると述べている。同じドキュメンタリーの中で、カナダ空軍写真部の責任者も同じ結論を出している。体に対して頭が大きすぎるので、すぐにわかりました。

次に進む前に、オズワルドについてももう少しお話します。オズワルドの政府の手先の一人は、ジョージ・デ・モーレンシルトと言う名で知られている。ロシアの血を引く彼の父親は、レーニンが支配する前のツァーリ軍の少将だった。彼はポーランドで育ち、1938年にアメリカに移住した。彼はドイツのスパイだったと考えられているが、兄のドミトリーはOSSであり、CIAのラジオ・フリー・ヨーロッパの創設者であったことが認められている。一方の兄がドイツのスパイと疑われていたのに、もう一方の兄がCIAに即採用された理由を説明しようとはしない。ともかく、CIAはすぐにジョージを隠れ蓑として石油ビジネスに関わらせた。石油王として、彼はコスタリカ、キューバ、ユーゴスラビアなどを旅行し、アメリカのスパイと疑われたこともあった。彼は一時期ベネズエラに住み、ウィリアム・F・バックリーの家族が所有していたパンテペック石油で働いていた。バックリーはCIAだったことが明らかになっている。デ・モーレンシルトは、クリント・マーチソン、H.L.ハント、ジョージ・ブッシュ・シニア、テッド・ディーリーとも個人的に親交があった。

しかし、それだけではありません。

1963年3月、ド・モーレンシルトはハイチ政府から28万5,000ドルの契約を受け、他の投資家と一緒に島の石油や地質資源の調査を含む産業事業を立ち上げた。5月には、ワシントンDCでCIAや陸軍の情報機関の関係者と会い、ハイチとのつながりを深めた。

これらはすべてWikipediaで認められていますが、これには驚かされます。彼らは情報を隠そうとしますが、そのやり方は非常に悪いものです。情報を白紙にするためには、まず情報を提供しなければなりません。いったん情報を手に入れてしまうと、それを本当に浄化する方法はありません。デ・モーレンシルトがCIAであることは明らかである。そのため、彼はダラス・フォートワース地区でオズワルドを処理する仕事を任されていた。

しかし、テッド・ディーリーの話に戻ります。この名前に心当たりはありませんか？ダラスのディーリープラザは、テッドの父親にちなんで名付けられました。二人とも「ダラス・モーニング・ニュース」の発行人でした。だから、暗殺の現場がディーリープラザだったのは偶然ではない。これは計画と脚本の一部でした。

デ・モーレンシルトは、控えめに言っても、非常にコネがあったことはすでに見てきた。マリーナ・オズワルドがたまたまロシア人だったからといって、彼はオズワルドを助ける単なる個人ではなかったのだ。このことは

ド・モーレンシルトについて知られていること（ウォーレン委員会に提出した広範な証言を含む）は、紡ぎ出されなければならない。代替理論家でさえも、今日までそのようにしてきた。彼らは、陰謀のさらなる証拠としてド・モーレンシルトを挙げるのが常である。最もよく使われるのは、彼の存在を利用して、CIAがケネディを捕まえたとのほめかすことだ。しかし、それは事実を押し付けがましく読んでいるに過ぎない。ド・モーレンシルトとCIAがケネディに操られていたと結論づける方がはるかに簡単で単純である。なぜか？ド・モーレンシルトはケネディ家とブービエ家の個人的な親友でもあったからだ。繰り返しになりますが、ウィキペディアでは次のように認めています。

ド・モーレンシルトを「アンクル・ジョージ」と呼び、膝の上に座って育ったジャクリーン。ド・モーレンシルトは、ジャクリーンの叔母であるエディス・ブービエ・ビールと親交があった。

これをどう解釈するか？最先端の陰謀論者」であるリウム・シェフもその一人で、同じような情報を提供しながら、その意味を理解しようとしな。彼は、アイゼンハワーがケネディの就任時1960にCIAの存在を警告していたと言って、私たちの注意をそらしませ。アイゼンハワーは、国を乗っ取ったオリガルヒに警告していたのだと言う。しかし、シェフが忘れていのは、ジョン・ケネディの父親ジョセフもそのオリガルヒの一人だったということだ。1950年代には、彼は国で最も裕福で強力な男性の一人だった。

そして、そのオリガルヒの一人として他に誰がいたか？ジェイコブ・シフです。シフです。シフ。シフシェフ。うーん。なぜLiam Scheffはインターネット上に経歴がアップされていないのだろう？ピーター・シフと同様、彼の履歴は洗われているようです。

さて、ケネディに話を戻そう。多くの代替理論家は、ベセスダの死体はケネディではないと提唱しており、犯人は傷をフィルムや理論と一致させる必要があったと言って、このすり替えを説明しています。しかし、死体の傷はザプルーダー・フィルムとは一致しない。それに、傷とフィルムを一致させるよりも、フィルムと傷を一致させる方が意味があるし、はるかに簡単である。代替理論家の多くは、ザプルーダーは改ざんされていると考えていますが、なぜ改ざんして一致させないのでしょうか？なぜ死体とフィルムの両方を改ざんして、お互いに矛盾するようにしたのでしょうか？フィルムも死体も捏造されたものであり、私がそれを否定しているとは思わないでほしい。しかし、傷口を一致させるために捏造したわけではありません。

死体をすり替えるもう一つの理由は、ウォーレン委員会の説である「シングルガンマン」と「魔法の弾丸」に合わせるためである。しかし、ウォーレン委員会は、代替理論家が言うように、最初から最後までファンタジーなのである。もし委員会がこのような嘘を製造して売ることができたならば、オズワルド、魔法の弾丸、ケネディの本物の死体を組み込んだ同様の嘘を製造して売ることができたはずである。言い換えれば、彼らは好きな時に事実を無視したので、明らかにどんな事実にも制限されていなかったのである。死体をすり替える必要もない。彼らが必要としたのは、少し違う嘘を売ることだった。傷口がザプルーダーと一致しない、そのままでは理論が成り立たない。それならば、なぜニセモノではなく本物の死体を用意しないのか。ニセモノの死体では何の問題も解決しない。実際、標準理論や代替理論の一部として、ニセモノの死体は論理的な位置を占めていません。偽装死体はウォーレン委員会の調査結果の一部にはならないし、隠蔽工作でも意味をなさない。隠蔽工作では、死体ではなく加害者をすり替える。隠蔽工作では、死体を入れ替えると問題が大きくなり、少なくなるどころか、それが目に見えている。

いや、ボディダブルの死体が必要になる唯一の理由は、本物の死体を持っていない場合なのだ。死体がケネディではないと主張する人々は、決して正しい質問をしない。正しい質問とは、「ケネディの死体はどこにあるのか」ではありません。もしザプルーダー・フィルムが偽物で、死体も偽物なら、ケネディが殺されたという証拠は何もない。私たちが持っているのは、ケネディに似た車に乗った男が負傷しているように見えたというたくさんの目撃者の証言と、発砲されたというたくさんの耳打ちの証言だけです。それは何の証拠にもなりません。私たちはすでに、オズワルドが殴られたふりをしたことを見てきました（1秒すぎています）。

序盤)で、血も出ていないのに、世界中が見ているカメラで行われたため、10億人の目撃者がいると思われているのです。そう、銃声が聞こえた後に男が倒れたという10億人の目撃者がいるのです。私たちは何も目撃していないのです。同じように、ケネディについても。全く何も目撃していないのです。それは、大統領の殺害であったかもしれないし、ボディダブルの殺害であったかもしれないし、完全な行為であったかもしれない。大統領の遺体がなければ、正しい質問は、大統領はどこにいるのか？彼はどこに隠れているのか？これが正しい質問です。これは何十年も前からの正しい質問です。そして誰もその質問をしてこなかった。

モーニングスター氏もそれを問いません。彼は、非常に詳細な理論を提示して、代用の死体を用意してくれる。しかし、彼はそれを陰謀のさらなる証拠としてしか使わない。彼は自分のリードに論理的に従うことはない。しかし、その陰謀の中にはケネディ自身も含まれているはずで、彼は説明を受けていないからだ。モーニングスターがあまりにも唐突に止まるので、彼はティピットがケネディの墓に埋葬されなければならないから、ケネディもティピットの墓に埋葬されなければならないと考えているのではないかと思いがちである。そんなことをして何の意味があるのか？あるいは、ケネディの敵は非常に悪質で、最後の復讐として、彼の遺体を犬に食べさせたり、自分で食べたりしたと思わせたいのかもしれない。

ほとんどの異説が、おかしなほどケネディ寄りなのはそのためです。反カストロ、反モブ、反ジョンソン、反CIAであることは理解できます。しかし、だからといって、これらの悪の複合勢力と戦ったケネディが聖人であると考えする必要はない。私は、共和党や大金持ちのアジェンダからはほど遠い人間ですが、ケネディについても何か知っています。私はアメリカの政治について何かを知っているし、どんな種類の白馬の騎士であっても大統領にはなれないことも知っている。

モーニングスターは、自他ともに認めるように、ケネディ陣営のために働いており、彼の理論は今日に至るまで1960,すべてケネディに傾いている。他の理論家はもっと一方的で、もし彼らを信じるならば、ケネディはアメリカを楽園に変えようとしていたが、彼自身が任命した内閣のナチスに妨害されたということになる。[ジョンソンは、単に金持ちになるためにベトナム戦争をエスカレートさせることしか考えていなかったと言われていますが、ジャックはそのことを全く理解していませんでした。言い換えれば、ジョンソンは民主党員でありながらファシストの豚であり、ケネディは自分の周りの最も明白な事実は無知な純粋な理想主義者だったのです。

正直なところ、私はこの種の愚かで透明なプロパガンダは、主流の情報源から得られるプロパガンダの類よりも好きではない。

これをさらに裏付けるものとして、先ほどの影の政府に関するケネディのスピーチ全文をお送りします\*。

現在、ウェブ上ではこの演説の抜粋が氾濫していますが、この抜粋は主に2つの理由で使われています。1) ケネディが、テディ・ルーズベルトがやったと言われるように、この影の政府と戦っていたことを示すため、2) 911の偽旗の後、この影の政府が支配していることを示すため。しかし、このスピーチの全文は、そのどちらでもない。抜粋は文脈から切り離されており、演説の要点はこれまで言われてきたこととは正反対であることは、演説の全文を聞けばすぐにわかります。

JFKは実際、政府の秘密主義を支持する発言をしている。このことに疑いの余地はなく、議論の余地もありません。彼はそれをはっきりと、平易な言葉で語っている。彼は報道機関を前にして、愛国心から検閲を行うように求めている。彼は、宣戦布告はされていないので、ある種の法律上の規定は厳密には有効ではないが、報道機関やアメリカ国民に対して、宣戦

布告された戦争の中にいるかのように行動し、そのために政府や公的機関の高度な秘密保持を我慢するように求めているのである。JFKの演説は、911以降のブッシュの演説と矛盾しないだけでなく、明らかに先取りしています。JFKの方が声量がありますが、言っていることは同じです。彼は、冷戦を秘密主義と説明責任を果たさないことの言い訳に使っているのです。

フルスピーチの本当の意味は、ケネディがすでに影の政府のメンバーであり、より多くの陰を求めていたので、上記の1を殺している。しかし、それは2も殺してしまうことに注意してください。影の政府が引き継がれたのは、影の政府が911.常に存在していた後です。どの程度かは以下で見えていきます。このスピーチが今、リベラルがネオコンのアジェンダに対抗するために使われるべきだということは驚くべきことです。我々は

911事件の真相究明者やJFK事件の別の理論家を含めて、このような使い方をする人たちは、非常に無知なのか、非常に不正直なのか、あるいはその両方なのか、そのどちらかだと思わなければなりません。そして、ケネディ事件の陰謀を企てた者たちが、標準モデルと代替モデルの両方の側と、賛成派と反対派の両方の理論をコントロールしている可能性もあり、その可能性もあると思います。

しかし、ダラスに戻って、ザプルーダーと他のフィルム、そしてその日に起こった他の出来事を扱うことにしよう。他の人が指摘しているように、Zフィルムはフレームが欠けているため、最初から怪しかったのです。他にも、何百人もの研究者によって発見された多くの異常性が含まれています。そのうちのいくつかは、気が向いたらここで確認したいと思いますが、私は確認しません。

なぜなら、これらの異常は結局、より多くのミスディレクションの役割を果たしているからです。全体像を見るべきなのに、細部に目を向けさせてしまうのだ。

ザプルーダー・フィルムをはじめとするフィルム分析の最大の問題点は、これまでのところ「焦点」にあります。フィルムの焦点という意味ではなく、分析の焦点という意味です。私たちは、より重要な事実とそうでない事実をふるいにかけてなければなりません。ダラスにはたくさんの事実がありますが、その中で最終的な議論に決定的な意味を持つものはほんのわずかです。結論の出ない調査結果が山のようにあるのではなく、決定的な調査結果がいくつかあればいいのです。それだけで十分です。

そもそも、証言に頼った「事実」は、本当の意味での「事実」ではありません。相手側は、証言を「嘘だ」「記憶違いだ」と言って否定することができるからです。だから、誰の証言にも頼らない事実が必要なのです。相手がこちらの証言を受け入れないのであれば、こちらが相手の証言を受け入れる必要はありません。同様に、もし彼らの証言が嘘だと思えば、彼らが我々の証言を信じる理由はありません。また、何も知らない人以外は誰も真実を語っていないという可能性もあります。ですから、私たちは白紙の状態から始めなければなりません。双方の証人は、信頼できないものとしてすべて捨てなければならない。

その上で、フィルムや写真、その他の現存する物的証拠を分析することになります。銃や弾丸は仕掛けられたものかもしれないし、仕掛けられていないかもしれないので、目撃者と同じように扱わなければなりません。信用できない。残るは、フィルムや写真です。捏造されている可能性があるので、捏造されている可能性を超えた証拠が必要である。このような証拠を見つけることができるだろうか？議論なしに、すべてのフィルムが本物で完全なものであることを受け入れても、ミスリードを企てた完璧な証拠を得ることができるでしょうか？それは可能です。実際、とても簡単なことです。

立証責任は政府側にあるということ、世界は思い出さなければなりません。

彼らは物語を売ろうとしているのです。そのストーリーとは、JFKがダラスで暗殺されたというものです。その話は、疑いの余地なく証明するのはとても簡単なはず。必要なのは死体だけです。しかし、私は遺体がないことを証明しました。彼らはそれを与えようとはしませんでした。彼らは他の人々の粗末な写真をたくさん提供しました。傷があり、ダラスとベセスダの間で話が見事に変わっていました。その証拠がなければ、ダラスのフィルムや写真を見るしかありません。何の証拠にもならないことを示すために、それらが偽物であることや改ざんされていることを示す必要はありません。本物であること、完全であることをそのまま受け入れても、何も証明できないことを示すことができます。そのためには、それらが連続していないことを示す必要があります。

私たちは、ルートの初期に撮影されたフィルムや写真のいくつかが、ケネディ夫妻の正体を明らかにしているように見えることを認めます。また、これらの写真はその日に実際に

撮影されたものであると仮定しますが、それさえも確かではありません（後述）。しかし、Dealey Plazaに到着した後の車の乗員を特定できるようなフィルムや写真はありません。ザプルーダーをはじめとするディーレイ・プラザのフィルムや写真は、ケネディ家の人間を見ているのか、それとも替え玉を見ているのかを判断できるような質のものではない。Dealey

Plazaではたくさんの方が写真を撮っているのが見えるが、彼らはいつも遠くから、あるいは後ろから撮影している。そして、Zapruderは最も鮮明ではない。

ザプルーダーからは、車の詳細を正確に特定することはほとんどできませんし、ましてや乗員を特定することはできません。

これは、プラザに到着する前からそうです。プラザに入る直前のHouston

St.でのAltgensの写真（下）は後ろから。Scott

HaleがMain

St.から撮った写真（すぐ下）は、横からだか、決定的ではない。どちらかという、ヘイルの写真はボディダブルの証拠で、このプロフィールは



はケネディに似ていない。ケネディはいつからあんなに顎が突き出てきたのだろう。



また、その写真の上部にある日付にも注目してください。MAR  
彼ら64.はあなたを試しているのです。

ダラスのツアー全体をノンストップで報道していないのは、非常に珍しく、また示唆に富んでいる。晴れた日に屋外で大統領の車列が大都市を通過するというのは、様々な理由から非常に稀な出来事であり、ケネディやその前後の他の大統領にとっても確実に自殺行為であることは言うまでもありませんでした。それなのに、3大チャンネルは何も報道しないのか？ベルやザプルーダーのような手ぶれの多いカメラマンに頼らざるを得ないし、彼らは写真の中心にいることさえできないのではないかな？なぜだ？なぜだろう？そして、なぜ誰もその疑問を持たないのか？代替理論家たちは、なぜいつも泥沼に落ちるような質問をして、どこかにつながるような質問をしないのでしょうか？なぜ44年間も、技術的な詳細や目撃者の証言などで人々が泥沼にはまり込み、肝心の質問がされないのか？

フィルムの改ざんや捏造の問題は興味深い、重要ではない。全てのフィルムの中心となる事実は、全体として見ると、連続性がないということだ。車列全体がDealey Plazaの手前で冷たい飲み物とトイレ休憩のために停車していたかもしれないが、我々はそれを知ることができない。あなたは、そのようなことについての証言があったらと言うでしょう。しかし、そのような証言があったかもしれないと言うべきです。もし誰かがそれを言及するほど重要だと考えていたならば、そしてもしその誰かが抑圧されていなかったならば、我々は証言によってそれを知ることができるでしょう。そうでなければ、私たちはそれを知りません。当時から知らないことはたくさんあり、それを一つ増やすことは画期的とは言えない。

仮に、ディーレイプラザの手前で、ケネディ夫妻がシークレットサービスに囲まれながら、ものすごい速さでデパートに駆け込み、わずか1分後に再び外に飛び出したとします。観客はトイレ休憩だと思って何も考えないだろう。殺人事件の後、誰がそのようなことを言おうと思うのでしょうか？それがどうして適切なのか？もし誰かがそのことに触れたとしても、それは取るに足らないこととして片付けられてしまう。

あなたは、「それが起こったという証拠はない」と言うでしょう。そして私は、「起こっていないという証拠はない」と答える。  
奇妙な映像の証拠が降ってきたのだから、可能性は大きく広がっている。それだけでいいのです。何かを証明する必要はありません。私が示す必要があるのは、ケネディ夫妻がディーレイプラザの車の中にいるという信頼できる証拠がないということです。

[2015年3月、セクションを追加しました。読者からの指摘で、[コナリー](#)が2〜3回停車したことを認めた[議会証言](#)があるそうです。

**SPECTER**さん。この行列の途中で、自動車はどこかで止まりましたか？

**コネリー知事。**はい、そうです。自動車がダラスで停車したのは少なくとも2回、おそらく3回目だと思います。たしか小さな女の子がいて、「大統領、止まって私と握手してください」とかいうサインを持っていたので、知事は運転手に止まるように言い、実際に止まって握手をしました。

また、別の場所では、カトリックの修道女であるシスターが、カトリックの学校から来ていて、小さな子供たちをたくさん連れていたので、彼は立ち止まり、彼女や子供たちに話しかけた。

ダウンタウン、でも正確な機会は覚えていません。ただ、2つあったことは知っていますが、まだもう1つあったような気がします。

今、私たちが知っていることを考えれば、それが不思議な証言であることは認めざるを得ないでしょう。3つの停留所すべてが不思議だ。最初の2つは、まるでハリウッドの脚本のように、感情的な効果を狙って挿入されています。子供と修道女。3本足の犬や車椅子の退役軍人、アップルパイを持ったお母さんの話を聞かなくて済んだことに驚いた。しかし、3つ目が一番不思議だ。Connallyはこれらの子供たちや修道女のことは覚えているのに、3番目の停車駅のことは覚えていないのですか？どんな心理学者でも、これは誰かが何かを隠しているように読めると言うでしょう。教科書通りだ。稚拙な嘘の兆候がすべて出ています。誰かが嘘をつき、それが全くうまくいっていない。

彼は3回目の停車があったと思っているが、それが何であったかは言えない。なぜそれを言うのだろうか？なぜ2回と言わないのか、3回目について何か馬鹿げた話を作るのか。それは、彼が嘘をつくのが下手だからであり、彼の良心がここに挿入されているからである。これはフロイトの巨大な赤旗だ。私は、コナリーが考えている3回目とは、私が言ったように、替え玉を連れてくるのを止めた時のことだと思う。もちろん、それを知ることは不可能ですが、私の主張を証明しています。私はこのようなことが起こる可能性があると言ったが、停車に関しては実際に起こったのである。この不思議な証言によれば、彼らは少なくとも3回は止まっていたという。三回といっても、もしこれが完全にコントロールされていなかったら、まったく止まらなかったはずの三回だ。]

政府は何かを主張しているが、私ではない。政府には最低限の立証責任がありますが、私ではありません。あなたと私は陪審員のようなもので、弁護士ではありません。私たちは本当の証拠を提示されるべきであり、提示することを期待されているわけではありません。私たちの主な仕事は、主張をすることではなく、主張を偽ることです。

政府はケネディが殺されたと主張し、ベセスダの写真やダラスのフィルムを証拠として提示しています。私は、政府の証拠が何も証明していないことを示せばよいのです。私は別の説を証明するように求められているのではなく、逆に政府は大統領が殺された証拠を示すように求められているのです。政府はそれをしていない。

映画には連続性がなく、ディーレイプラザには明確なIDがないため、何の証拠もないのです。証拠は、ケネディの殺害を示しているようにしか見えない。しかし、論理的にはそうすることは絶対にできません。

その日のすべてのフィルムを見ると、ダラスを通過するモーターケードの完全な記録があるような印象を受けます。あなたは、最初にケネディ夫妻を明確に識別できると考え、連続性を仮定し、だからケネディ夫妻がザプルーダー・フィルムに写っていると思い込んでいる。しかし、私が示したように、ザプルーダー・フィルムに写っている車にケネディ夫妻が乗っているという証拠はありません。連続性がないので、目に見えるものしかありませんが、目に見えるものとは、遠くから見たケネディ家に似た人たちです。ケネディ家がそっくりさんと一緒に旅行していたことを知っているのです。これは何の証拠にもなりません。今ある証拠から考えると、ジャック・ケネディがディーレイ・プラザのあの車に乗っていない可能性はあります（ほとんど確実と言ってもいいでしょう）。

そうなる、フィルムや写真が改ざんされていようが、捏造されていようが、何の問題もありません。完全で完璧な形であっても、それらは何の証明にもならないし、何かを示してもいない。ただ、ケネディに似た人物が何かで頭を殴られたことを示しているだけだ。フィルムや写真の質を考えると、それは銃弾かもしれないし、トマトかもしれない。それを知る方法はありません。ザプルーダー・フィルムは改ざんされていると思いますが、最終カットを本物と認めたとしても、「致命的な打撃」は、正面からも後ろからも撃たれた人よりも、正面からトマトをぶつけられた人のように見えます。弾道の問題として、致命的な打撃は、弾丸が何かに当たっているようには見えません。正直なところ

銃器の専門家ならそう言うでしょう。突入時の傷はあんな形をしていないし、脱出時の傷もあんな形をしていない。ライフルの本当の銃創は、円形の小さなプフではなく、目に見える前方の円錐形になって、コナリー夫妻の上に飛び散ったはずです。あなたがテレビで見たり読んだりした「専門家の証言」は、すべて仕組まれた偽情報である。しかし、それは本当に重要ではない。あの日、誰かが殺されたという強力な、あるいは有力な証拠がないことに気づけば、具体的で微細な事実の問題はすべて横道にそれてしまう。

ケネディであるかないか、弾丸であるかないか、1人の狙撃手であるか20人の狙撃手であるかなどを証明する必要はありません。これらのことは、今ある証拠からすれば、証明も反証もない。要するに、あの日、ケネディや他の誰かが殺されたという証拠は、法廷で通用するようなものは何もないということだ。実はそれこそが、オズワルドが殺されたように見せかける必要があった理由なのだ。政府は、オズワルドを裁判にかけたり、弁護士をつけたりするリスクを冒すことができなかった。

彼に不利な証拠がなかっただけでなく、大統領が死んだという証拠もなかったのです。

どんな優秀な弁護士でも、私が今見つけたような巨大な穴を見つけたでしょうし、どんな誠実な陪審員でも、死体がないという理由で却下しなければならなかったでしょう。

そう考えると、正しい質問は、「ケネディの遺体はどこにあるのか」とか「誰が、なぜ、ケネディを殺したのか」ではない。正しい質問は、「なぜケネディは自分の死を偽装したのか？」である。遺体がないこと、隠蔽工作、証拠の改ざん、信じられないほどの矛盾、すべての面で誰もがついた嘘、誤報と誤認識、44年後にも続く誤報と誤認識、これらすべてが、死が単純に偽装されたことを示している。標準理論も代替理論も、事実や証拠には合致しない。どちらも、何の証拠もなく、また何の証拠も必要とせず、暗殺を受け入れている。なぜか？死体のない殺人事件を受け入れる捜査官がいるのでしょうか？偽の死体が使われたと提案するほど「勇敢で正直」でありながら、それが本物の死体がないことを意味することに気づかない代替説の捜査官とは？なぜ代替理論家は、ケネディは暗殺されたという最初の結論に、一発主義の人々と同じように早く到達するのでしょうか？

あなたは、ケネディがもう大統領ではなく、姿も見えず、昔の住所にも住んでおらず、ハイアニスポートやマーサズ・ヴィンヤードでも発見されなかったから、そうするのだと言うでしょう。

しかし、それは何の証拠にもならない。1963年11月22日のあの日、アメリカ政府が地下に潜ることを選択したことを証明しているとも言えます。ケネディはより多くの秘密を求めており、そのためには大統領職全体を地下に潜らせるよりも良い方法があるだろうか？

これは、ケネディがアイアンマウンテンに住み、二度と日の目を見ないようにしなければならなかったと言っているのではなく、公の場に出るのをやめ、動きを隠さなければならなかったと言っているのである。ホワイトハウスや連邦政府のリソースがなくても、他の人々が何十年もそうしてきたのだ。

否定的な人は、これは不可能だと主張するでしょう。否定派は911についても同じような議論をしますが、ここでも同じように水を差します：ありません。彼らは、物事を秘密にしておくことはできない、人々が消えることはできない、などと言います。もちろん、全くのデタラメだ。その両方の例はいくらでもある。多くのことが何十年も秘密にされていますし、死んでいない人が消えることはしょっちゅうです。暗殺事件の公式報告書がその証拠である。たとえウォーレン委員会を信じるとしても、ある種の秘密がまだ存在することを認識しなければならない。WCの最終文書は2017年まで公開されないことになっている（重要な文書がとくに破棄されていないことが前提）。ナショナル・アーカイブに保管されているHo

Assassinationの文書（封印された848箱の文書）は、2039年まで公開されないことになっています。これは一般的な知識です。これは、秘密がうまく守られているということではないでしょうか。また、マンハッタン計画も長年にわたって秘密にされてきました。また、ローレルキャニオンのロックアウトマウンテンも何十年も秘密にされてきました。もうひとつの例は、シベル・エドモンズに対する現在の箝口令です。これも、今日、秘密にされていることではないでしょうか。政府は、箝口令や封印された文書、編集された文章、様々なレベルの分類など、秘密を守るための公式な手段を数多く持っています。秘密が守られないと決めつけるのは、単に甘さを認めることになります。そして、その

政府は、公式なものではない別の秘密保持方法を持っていると考えられます。

アイアンマウンテンで、ペンタゴンで、ロスアラモスで、グアンタナモで、バージニア州ラングレーで、メキシコのメリダで、北米沿岸に点在するすべての小島で何が行われているか知っていますか？大統領職を地下に潜らせることは、政府が日常的に行っている他のことに比べれば、小さな問題でしょう。死を偽装して、ホワイトハウスに別の男を隠れ蓑にして（ジョンソン）、電話で命令を伝えるのだ。ジャックをハイアニスポートやマーサズ・ヴィニヤードに隠しても、本人や家族には何の不都合もない。ケネディのエステートで何が行われているか知っていますか？誰かがそこで起こったことを知っていたのか？そこにいた人たちが彼らに知らせようとしない限り？いいえ。なぜ、正確には、大統領職を地下で行うことが難しいのでしょうか？あなたは、私の家やあなたの隣の家で何が起きているのかを知らない。ケネディ家について、彼らが知りたがっていない限り、あなたが何かを知っている、あるいは知ることができる、あるいは知るだろうと考える理由は何ですか？

ダラスでのモーターケードを撮影するために、プレスは聡明にも現れなかった。だからこそ、シェイキーハンズ・ザプルーダーとハイショット・ベルに頼らざるを得ないのだ。マスコミは、大統領が死んだ証拠を求めるほど賢くなかった。マスコミはオズワルドの演技を見抜くほど賢くはなかった。報道機関がケネディ家の秘密を見破れるほど聡明で自発的であると、どうして思いますか？誰かがジャックをマーサズ・ヴィニヤードやその他の場所で探したことがありますか？ケネディの屋敷でも、その種の調査は一度も行われていません。ジャックはまだそこにいて、テレビを見たり、ドリトスを食べたりしていても、誰もその違いに気づかないでしょう。探さないものは見つかりませんし、11月22日以降もジャックが大統領であり続けた可能性については誰も調査していません。1963.

次に進む前に、リンカーン暗殺とケネディ暗殺の間にある「偶然の一致」がすべて説明できることを指摘しておきたい。これらの偶然は、名前や日付の偶然を含み、何十年も前から公表されています。皆さんも聞いたことがあるでしょう。例えば、リンカーンの秘書のケネディとケネディの秘書のリンカーンに関するものもその一つです。どちらの暗殺も仕組まれたものであることを明らかにしたので、偶然の一致は全くの偶然ではないことがわかりました。それは、ストーリーテラーが後から意図的に挿入した類似点である。手がかりと考えることもできます。それらは、あなたの知性を試すために知性が仕込んだ手がかりなのです。ストーリーテラーは、確かにあなたを騙したいのですが、同時にあなたをもてあそびたいのです。その例は以下にもたくさん出てきます。

しかし、ここでダラスに戻って手がかりを探してみよう。主流のストーリーによると、その日の警備は最悪で、ダラスのダウンタウンは統制がとれていなかった。代替説によれば、警備はさらにひどく、複数の狙撃者がすぐに通りに出られるようになっていたという。私は、ダラスがコントロールされていなかったというこの外観が誤りであることを示します。

代替理論家は、書庫の開いた窓を見て、それはシークレットサービスが建物を管理していなかったことを意味すると考えることを覚えておいてください。しかし、後になって、シークレット・サービスは陰謀の一部だったとか、銃が書庫に仕込まれていたとか、オズワルドはカモにされたとか、罠にはめられたとか、いろいろなことを想定します。つまり、窓が開いていたのは事故や見落としではないとほのめかしているのだ。建物は管理されていなかったのではなく、誰であろうと悪人によって管理されていたのであり、彼らは政府の一部だったのです。

ビルがコントロールされていたことには同意しますが、誰がコントロールしていたかについては別の仮定をしています。

ケネディがイベント全体をコントロールしていたのだから、彼の部下が街の全体をコントロ

ールしていたに違いないと考えています。つまり、群衆とすべての建物を完全にコントロールしていたということです。窓が開けっ放しになっていたとしたら、それは狙撃を促すためではなく、劇中で目立つ駒として開けっ放しになっていたのです。

言ってみれば、モーターケイド全体がハリウッド映画のようだった。そう、この日は映画の撮影をしていたのだ。実際には、複数の映画を撮影していた。アマチュアのカメラマンを何人も雇って撮影していた。

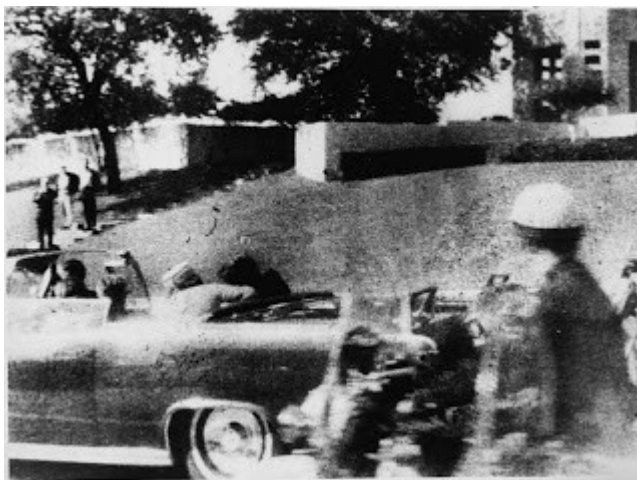


彼らの1日限りの映画には、多数のエキストラが参加した。ザプルーダーやベルなど、その日その場にいた全員が映画のエキストラだったのです。その意味では、彼らは皆、共謀者である。しかし、覚えておいてほしいのは、彼らは殺人の共謀者ではなかったということだ。これで多少は理解しやすくなった。あの日、誰の手にも血が付いていなかったのです。これらの人々が嘘をつくのはとても簡単なことでした。彼らは大統領の暗殺について嘘をついていたのではなく、大統領が「安全のために地下に潜った」ということについて嘘をついていただけなのだ。彼らは愛する最高司令官を守っていたのだ。

これらの人々の多くがインサイダーであったという広範な証拠がすでにある。ザプルーダーはその最たるものだ。ザプルーダーは、銃撃の瞬間にシークレット・サービスと遭遇し、彼のカメラのフィルムはシークレット・サービスに持って行かれて現像されたのだ。このことは知られているのに、解釈されていない。シャーロックが言ったように、「見られているが、観察されていない」のだ。ザプルーダーはあの日、エキストラであり、おそらくはお金をもらったエキストラだった。だから、あの日、彼がしたことは何一つとして偶然ではない。すべて台本通りだったのだ。もし、彼が遠くにいて身元確認ができなかったとしても、それは事故ではない。

彼の話に裏付ける仲間がいたとしても、それは偶然ではない。銃撃後すぐにシークレットサービスに遭遇したとしても、それは偶然ではありません。それが計画だったのだ。

ベルも同じだ。なぜ、二人のカメラマンは、ディーレイプラザの100ヤード離れた場所から撮影していたのか。ザプルーダーやベルが遅れて行ったわけではない。ザプルーダーによれば、彼は壁の上に立つために歩いて戻ったという。しかし、なぜそんなことをしたのだろうか？ディーレイプラザの群衆は非常にまばらで、彼は誰かの上を撮影する必要はなかった。



ザプルーダーは、後ろの白い壁から撮影しているはずなんです。しかし、彼の目の前には誰もいない。なぜ縁側から撮らないのか？それに、写真そのものからもわかるように、人々は通りに出て写真を撮っていたのだ（後述）。ザプルーダーやベルのフィルムを見ると、写真を撮る人を芝生の上や安全な距離に保つためのロープや警察の存在がなかったことがわかる。ザプルーダーは、100ヤードも後退する必要はなかった。ザプルーダーが100ヤード後退したのには理由があり、命令を受けて後退したと考えるのが最も妥当であろう。車道側からは、何か重要なものを撮影していたかもしれません。白い壁の後ろからでは、彼のフィルムはプロパガンダとして以外は役に立たない。

同じように、「書庫」の窓も脚本の一部であり、撮影中の映画の一部であった。観客の合図のために開いていて、観客が悪役の位置を簡単に指差すことができるようになっていました。

このことを裏付ける証拠は、ディーリー・プラザの群衆を見ればわかる。この群衆は詳細に研究されているが、大きな疑問は問われていない。その疑問とは、「なぜこんなに人が少ないのか」ということだ。青空が広がり、緑の芝生がたくさんある。ここはルート上で唯一のオープンスペースであり、唯一の「公園のような」エリアである。モーターケイドを待たためのキャンプ場としては最高の場所だ。ロープは張られていないし、警察もほとんどいない。一般人が歓迎されているように見えるが、実際にはそのような気配はない。

もしそうであれば、私たちが見ているような「日帰りのダラス市民」もそこにはいないはずだからだ。そうではなく、一般市民は歓迎されていたが、2人か3人で現れただけだと考えるべきだ。ケネディはテディ・ルーズベルト以来の人気大統領だったのに、ダラスは家にこもっていたのか？

このモーターケイドのことを知っている人は少ないと思うかもしれないが、ダラス・モーニング・スター紙はその日の朝、ルート of the 地図を掲載していた。ダラスの両紙は3日前の19日にルートを掲載していたので、人々はピクニックの計画などを立てる時間があったのだ。ダウンタウンで働いている人たちは、コーヒータイムを利用して階下に降りてきているだろう。ダウンタウンで働いていない人や、オフィスに戻ってくる必要のない人は、自然と最も多くの人が集まる芝生の広場に集まってくる。斜面になっているので、遅れてきた人でも前の人を見渡せます。ノールとは丘のことである。それなのに、ダウンタウンでは監視員の列は途切れ途切れで、ディーリー・プラザはほとんど空っぽである。その明確な証拠として、Zapruderの反対側から撮影されたMarie

Muchmoreのビデオをご覧ください。みんなどこにいるの？最高の芝生があり、最もオープンなスペースであるここに、なぜ人々が散らばっているだけなのか？

これは、標準的な理論を受け入れるならば、意味がありません。また、代替理論も説明しようとはしません。彼らによれば、それは単なる偶然や事故なのです。説明がつかないのです。しかし、実際の話では簡単に説明がつく。このエリアは一般公開されていませんでした。公開されているように見えただけなのだ。実際には、そこにいる全員が演出され、台本があった。終わった後に何を言うか言われたり、何も言わないように言われたりしていた。

だから、人が少ないのだ。この映画の助監督には、エキストラの数を制限する理由がありました。エキストラは全員が潜在的なリスクを抱えているからです。あとで口外するかもしれないからだ。観客の数が、モーターケイドの最初の部分では1人分しかなく、ディーレイプラザにはほとんどいないのは、これが明白な説明である。ルートの後方にいたエキストラはすべて嘘をつくことができる。彼らはほとんど無知な一般市民と同じように扱われる。実際にディーリー・プラザにいるエキストラだけが、物語の大きな部分を語られなければならないので、助監督は当然、エキストラの数をできる限り制限したいと思う。偽の目撃者やカメラマンとしてのエキストラは十分にいるが、それ以上はいない。それが、このルートの一番いいところでの観客の少なさの説明である。

あの日、ケネディはダラスを完全にコントロールしていたと考える方が、すべてを無茶苦茶にコントロールしていたと考えるよりも、はるかに理にかなっていることがお分かりいただけると思います。私たちが目にしたのは、意味をなさない車列でした。無茶苦茶にコントロールされているように見えたのです。

標準的なストーリーも、別のストーリーも、その意味を成していない。彼らは物語を、これまで以上に混沌とした方向へと進めていく。標準的なストーリーでは、ケネディが人混みや建物がコントロールされていない大都市を走ると信じさせようとしている。ロープも警察もないのに、わざと人が縁石に立っていたり、窓が開いているビルがあったりするのです。意味がありません。代替理論は、この理論を感性や制御の方向に押しやるのではなく、より大きなレベルのカオスに押しやることで修正します。一つの場所に一人のシューターがいるのではなく、複数の場所に複数のシューターがいるのです。拳銃だけでなく、隠すのが簡単ではないライフル銃も含めて、あらゆる場所から銃を持って車列のエリアに入ってきます。シークレットサービスは車から引きずり降ろされました。あらゆる方向で故障が発生していたが、ケネディはそれに気づかなかった。実際、異説を受け入れるには、彼らのヒーローであるケネディが絶対的なバカだったと仮定しなければなりません。別説によれば、都市は混乱状態にあり、麻酔をかけられたマネキンだけがそれを感知できなかったということになりま

す。

しかし、その方向にシーンを押し進めるよりも、別の方向に押し進める方がずっと理にかなっています。明らかな混沌が見えたら、その混沌はフェイクであると仮定する方が理にかなっている。例えば、シークレットサービスが車から引き剥がされているのを見れば、ケネディは後部から体重が減っていくのを感じていると考えるべきだ。彼は車の後部の近くにいます。大の大人が2人も車から降りるなんて、ケネディが知らないで通るはずがない。したがって、彼はそれを知っていたと考えなければなりません。彼は見ていない

と言ってきたので、彼が命令したのだと考えられます。もし彼らがそのことについて上官に精巧なジェスチャーで抗議したら、その抗議は台本通りだと思わなければなりません。

実際、台本通りに見えます。『ケネディを殺した男たち』では、エージェントが3回肩をすくめる場面が出てくるが、「毎回、前回よりも明らかになっている」とナレーターが言う。それはなぜでしょうか？捜査官は自分に注意を向けていたと思いますか？諜報員はそうするように教えられているのだろうか？大統領を殺そうとしているのなら、公の場で大きな身振り手振りを交えて喧嘩をするだろうか？そうではなく、窓が開いているのと同じように、これも芝居の一部だったのです。ケネディは自分の死を偽装しようとしているので、偽の弾丸のための道を確保しなければなりません。弾丸が開いた窓から飛んでくることを知っているし、オズワルドの視線について後で誰かに質問されたくないからだ。しかし、捜査官を車から引き離すことは奇妙に思えるはずなので、ケネディはそれを台本の一部とした。捜査官は、後続の車に乗っている連中になぜそうなっているのかを聞いているかのように、それをハムで叩くように言われる。

ケネディが命令したとは考えられない。それでは、上官が命令した以上に怪しいからだ。シークレット・サービスは、自分たちの役割を果たし、自分たちが陰謀の一部であるかのように見せかけているのです。偽装死をしても起訴されないことを知っていたので、ちょっとした演技はどうでもよかった。すべては仕事の一環だったのだ。実際、彼らは大統領を守っていたのであるが、これでわかっただろう。

"しかし、ディーレイプラザにはボディダブルがいたのかいないのか？"と聞かれることがあります。私はその議論に1ページを費やしましたが、もし全てがステージプレイであったならば、ボディダブルの必要性はないように思われます。

はい、先ほど私は、ルートの後半部分にスタントダブルが使われている可能性を残し、さらにそのスタントダブルが殺された可能性も残しました。しかし、ディーレイ・プラザでの実際の殺人は、この映画のプロットに必要なものではありません。実際に発砲はされていない。そうすると、銃弾が草むらに紛れ込んでしまい、後で発見されるリスクがある。空砲を撃って、後から必要な場所に弾やダメージを仕掛ける方がいい。その後、車をコントロールしているのだから、後で好きな弾を撃ち込めばいい。それに、フィルムもあるしね。将来的にディーレイプラザを閉鎖したくない場合、後から出てきたギャップを修正するために、フィルムがあればレタッチすることができます。実際、それがフィルムの全ての目的でした。世間に対して証拠となる記録があるだけでなく、修正可能な記録があるのだ。本当の陰謀者たちは、今日までインターネットで見ることができるよう、ザプルーダー・フィルムを修正し続けている。ウェブ上に掲載されているZフィルムのコピーのほとんどは、何らかの方法で押されている。最初か最後をカットしたり、スローモーションのみで実行したり、端を切り取ったり、あるいは「スタビライジング」を行って、この異常や異常を都合よく消去したりしている。

誰も殺されていない：ディーレイプラザには二重人格者がいた。私が先ほどボディダブルの議論をしたのは、主に殺人の証拠がないことを示すためでした。ボディダブルという単純な考えと、フィルムの連続性の欠如とが相まって、あの日誰かが殺されたという法廷で通用する証拠がないということだった。しかし、ケネディがディーレイ・プラザにいなかったことは明らかである。いくつかの理由があります。ひとつは、ザプルーダー、ベル、ダニエルズの3人が、決定的な瞬間に遠くから撮影したり、パンしたりしていること。Moormanは後ろから撮影した。もし、ケネディが実際にそこにいたとしたら、フィルムを遠くに置いておく理由はないだろう。二つ目は、ケネディの替え玉に何が起こったとしても、それがフィルムの捏造や重厚な演技であったとしても、あるいはトマトなどであったとしても、おそらく気持ちのいいものではなかったということだ。もし、クリティカルヒットの際に、粗雑な特殊効果以上のものを見ていると仮定すると、トマトという最も嫌なものでも、ケネディにと

っては避けたいものであるはずだ。トマトで目を殴られるのは楽しいものではないし、怪我をする可能性もある。3つ目は、空砲を撃ち、死を偽装するようになると、どんなに現場をコントロールしていても、微妙な状況になることだ。たった一人の裏切り者がいて、空砲の代わりに実弾を使ってしまえば、偽装死は本物になってしまうのです。確かに、あなたはすぐに部下を手に入れることができますが、裏切り者の中には大義のために命を捧げる者もいるのです。映画の重要なシーンでケネディが車の中にいるのは、あまりにも危険だ。もちろん、正確には言えないが、ルートの後半のどこかの時点で、切り替えが行われた。もし観客が全員エキストラだったら、誰も騙される必要がないので、説明が簡単になります。しかし、ほとんどの人が何らかの方法で騙されていた可能性が高いです。多くの人を騙せば騙すほど、お金を払ったり、脅したりしなければならない人は少なくなります。

や説得力があります。



その可能性を示唆しているのが、アルトゲンスの2枚の有名な写真である。先に述べたヒューストン通りでAltgensが撮った後ろからの写真がある。そして、致命的な衝突の直後に、エルム通りでアルトヘンスが撮影した前方からの写真がある。一応言っておくと、どちらの写真も乗客を特定できないのは便利だが、それはここでの私の論点ではない。私が言いたいのは、AltgensはHoustonとElmの間で車を追い越す超人的なスピードを持っていたに違いないということだ。そのルートを見て、三角地帯を横切ったと言う人もいるが、邪魔な建物があつたので、それは通用しない。モーターケードが角を曲がっている間に、彼はその角を曲がって人ごみにぶつかりながら追いかけるか、逆にビルを回り込んでプラザを横切り、2枚目の写真の地点まで車を追い越すかのどちらかをしなければならなかっただろう。そのようなことができるとは思えません。彼がそのようなことをするためにわざわざ行ったとは、さらに信じがたいことである。

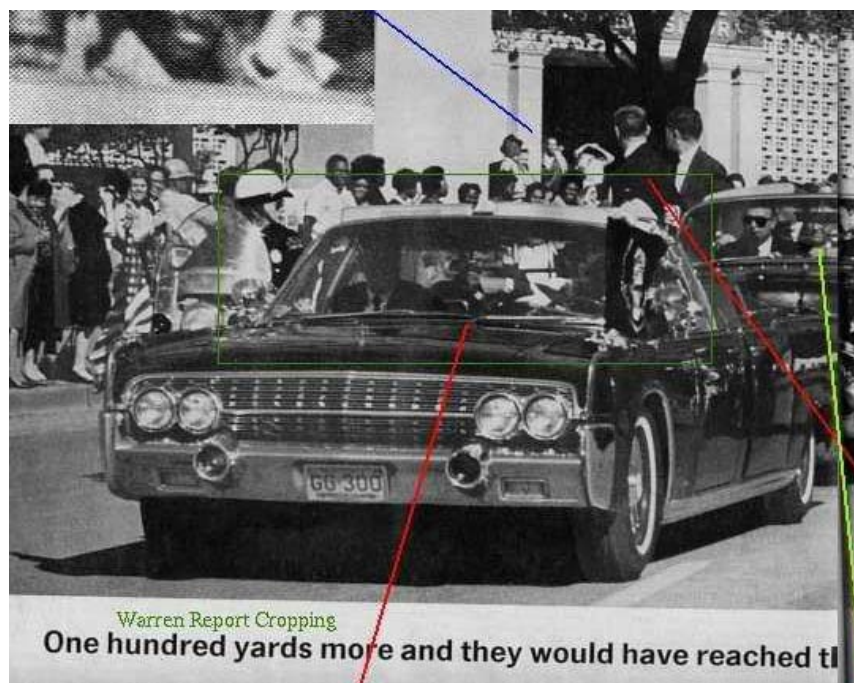
セカンドポジションで、また誰もいない写真を撮る。なぜ誰もが大統領の後頭部の写真を撮った後に

「しまった！」と思い、車を出し抜くようにして先に疾走し、重要な人物が写っていないフロントガラスの写真を撮るのでしょうか？

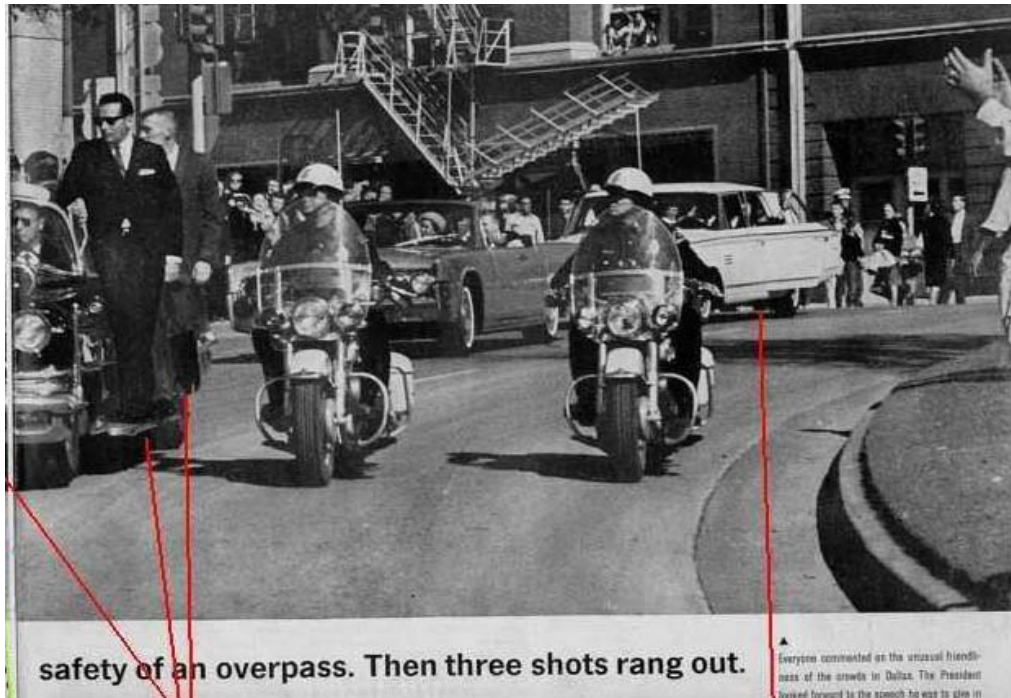
証拠から考えて、他の2つのシナリオの可能性が高い。アシスタントディレクターがAltgensのために2つの写真を用意し、重要なものが見えないようにしたのか。あるいは、モーターケードが2つの写真の間のどこかの地点で停止し、Altgensが前に出る時間を作った。ヒューストンとエルムの交差点で車が止まる理由はないので、本物のケネディと偽物のケネディを入れ替えるために止まったのかもしれない。

2枚目のAltgensの写真（すぐ上）は、私が主張している「人々が写真を撮るために通りに出ていた」ということの証拠にもなっている。この写真のアングルを見ると、アルトゲンズは白バイ隊員からさほど離れていない通りの真ん中にいたことがわかる。これは異常なことである。それは、この日、通常の行動規範がすべて窓の外にあったことを示唆している。そして、この「アマチュア」カメラマンやフォトグラファーは、決してアマチュアではなかったことを示唆している。彼らは、お金をもらって、いい加減なことをして、そのための特別なアクセスを許されていたのである。

このアルトゲンのショットをよく見てみましょう。







拡大してみると、コナリーが右を向いているのがわかるが、やはりケネディの姿は確認できない。彼はバックミラーの後ろにいて、喉を押さえていると言われている。さらに拡大してみると、さらにいくつかの問題点が見えてきた。確かに大きな手が上がっていますが、それが何を掴んでいるのか、何を掴んでいるのかがわかりません。彼の腕が白い手袋で掴まれているのは確かで、それはジャクリーンの手だと思われます。しかし、私には、彼が喉をつかんでいるのではなく、身をかがめているように見えます。彼の頭は手の下にあります。なぜか？なぜなら、私たちが見ている頭の上半分は、手を上げている男のものではないからです。小さすぎるのです。

まず、手の大きさと頭の大きさを比べてみてください。そして、その頭を前席の人の頭と比べてみてください。そして、その小さな頭を、後続の車の男性の頭と比べてみてください。その頭は、後続の車の頭よりも小さいのです。それは、車の後ろでひざまずいている人の頭です。また、とにかくケネディには見えません。もしケネディが車の中に入ったら、彼はConnallyの後ろに隠れていて、彼の喉をつかんではいない。

彼が身をかがめているということは、危険にさらされているのではないのでしょうか？そうかもしれないが、銃撃戦ではない。マイク・リベロは、後続の車に乗っている男性が、バックミラーの後ろの真ん中で、なぜ笑っているのかと質問しています（緑の線参照）。彼はこの男を共謀者と見ています。しかし、もっと良い質問は、なぜ群衆のすべての人々が笑顔

で拍手をし続けているのかということだ。右端では、誰かが拍手をしている最中です。そして左端では、すべての人々が笑顔を絶やさず、前を向いています。もし、ショットがただ

鳴った？もし3発の銃声が鳴り響いていたら、車は金切り声を上げて止まり、白バイ隊員は舗道に足をつけ、シークレットサービスは車に向かって飛び出していたでしょう。人々は恐怖で叫んだり、口を開けていたり、地面に倒れていたりするだろう。演出であろうとなかろうと、これは銃声が鳴り響いている写真ではない。もし私が歴史を何も知らず、法医学の専門家としてこの写真を研究していたとしたら、車の後ろにいた男はケネディの後ろの道に飛び込んだところで、ジャクリーンに注意され、用心のために頭を腕の下に隠したと言うだろう。

コナリーと二人のシークレット・サービスマンは、左隣の警官と同様に、小さな脅威を監視するために振り向いた。左側の群衆もその方向を見ているようだが、彼らは微笑んでいるので、車の後ろにいる男はただの道化師か、記念品か何かを手に入れるために通りに走っているのだろう。人々は微笑んでいるか、低級な脅威に反応しているか、それが起こっているからです。私には銃声も陰謀も見えない。

この写真を撮るために、彼は明らかに道の真ん中に立っているにもかかわらず、なぜ誰もAltgensを車列に対する脅威とみなさないのか、私はもう一度尋ねる。白バイ隊員たちは、彼の周りを走り、通過するときに彼の背中を叩くだけなのだろうか？さらに疑問なのは、明らかに早すぎるのに、なぜこの3ショットがポイントだと言われるのかということだ。左側にはまだビルがある。ましてや、ザブルーダー・フィルムのシークエンス・ポイントである看板にも到達していない。

通りのカーブを見てください。モーターケードはまだ曲がっています。オズワルドはそこからあの木を撃ち抜かなければならなかっただろう。

もうひとつの注目点は、助手席の人の顔が影になっていることです。なぜ顔が見えないのか。他の写真では顔が見えているので、その日の彼の識別を妨げるためではありません。その日の他の写真に写っている彼とは別人であることに気づかれないようにするためだと思います。すぐに分かるように、何度も撮影され、おそらく別の日にも撮影されているので、連続性に問題があります。もしかしたら、その場で正しい役を演じることを忘れてしまい、後でラボでシャドーイングをしなければならなかったのかもしれない。

最後に、2枚目の拡大写真で、窓から人がぶら下がっているのに気がつきました。これは、ルートがきちんと確保されている証拠でしょうか？これは本物の大統領の車列ではなく、連続性や信憑性をうまく管理できていない、ある種のハリウッド作品なのです。





ここでは、私の説を裏付ける証拠写真を2つ紹介する。1枚目の写真\*\*は、2007年11月にABCが掲載したもので、「The presidential motorcade through Dallas a few moments before John F Kennedy, 35th President of the United States, was shot.(Library Of Congress/ Getty Images)」というキャプションで掲載されました。この記事を書いたのは、WLSテレビのChuck

Goudie氏です。ここで何か変なことに気づかないだろうか？いつもはジャッキーがいる後部座席に、コナリーがジャックと一緒にいる。しかも、彼はグレーのスーツを着ている。この日の他の写真では、彼は黒いスーツを着ています。他の写真では、彼の髪は左側に分けられています。ここでは、髪を後ろに流しています。そして、2人の女性にも注目してください。この日、ジャッキーは大きな2段のピンクの帽子をかぶっていますが、この写真では白に見えますね。しかし、この女性たちはどちらも白っぽい帽子をかぶっていません。ジャッキーがオープンカーの中で帽子を脱いだかどうかは疑わしい。なぜなら、当時も今もすべての女性がそうであるように、髪を乱したくないからだ。ほぼ間違いなく、帽子はピンで留められていたと思う。彼女はルート初期に被っていましたし、ザブルーダーでも被っていました。なぜ彼女は帽子をかぶらずにフロントシートにいるのか？それは彼女が前の席にいるからであって、後ろの席にいるからではない。後ろの席はいつもコナリー夫人が座っていたからだ。その証拠に、二人の首輪を見てみよう。ジャッキーはピンクのドレスに幅広の黒い襟をつけていた。ニアサイドの女性は、ドレスと同じ色の襟を立てている。

この映画はいくつかの異なる形態で撮影されたようで、ここにはいくつかの連続性の問題があります。後の編集者の注意不足で、本来ならば破棄すべき写真が残っており、驚くべきことに今でもプロパガンダとして使用されているのだ。このような悪い写真は、アメリカ国民の継続的な愚かさを試すために、わざと掲載されている可能性もある。ピンクの帽子をかぶり、水玉模様のブラジャーをつけたゴリラをジャックの後部座席に乗せても、誰も気づかないだろう」というケネディ夫妻の笑い声が、どこからともなく聞こえてきます。ジャクリーンとジョン・コナリーの違いがわからない人たちが、ジャックとボディダブルの違いを見分

けられるとまだ思っているのでしょうか？

この写真にも同じような問題があります。写真の捏造者はConnallyを再び間違った場所に置いてしまいました。



この写真も導通に大きな問題があります。



すぐにJFKに見えないことに気づいて、写真をよく見てみました。車が合わない。前の写真と車を比べてみてください。まず、この車の旗には金色の縁取りがない。次に、この車にはサイドビューミラーがない。本来ならばこちら側に2つあるはずですが、何もありません。第3に、コナリーの前にある部分的な窓は正しくない。あまりにも狭すぎて、上のバーとつながっていない。

も同じようにしています。これは、のどを鳴らした証拠写真があると思わせるためのフェ



イクです。これも明らかな偽物です。

ここでもまず目についたのは、頭に傷のない、とんでもない偽ケネディだった。そこで、車をよく見てみた。車は一致しない。この有名なものと比べてみてください。



注目してほしいのは、後部座席の様です。2枚目の写真では四角い模様。1枚目はストライプ柄。

この写真はオズワルドを題材にした映画からのものだとわかったが、Google検索ではそのようなタグを付けていないので、ほとんどの人は実際の事件の写真を見ていると思う。そうすると、映画の写真が事件の「証拠」になりますからね。実際に調べてみると、まさにその通りでした。[多くのウェブサイト](#)では、後に公開された映画の写真を1963年のダラスで撮影されたものとして販売しています。事件の証拠としてだけでなく、後に作られた物語の一部として、それらを利用しているのです。

ここでもうひとつ問題があります。



それは後の映画のものではありません。ここに問題があるのがわかりますか？正面の男は間違った男です。他の写真ではもっと年を取っていて白髪もある。Connallyもここでは間違っ  
て見える。彼の頭は小さすぎる。Connallyは頭が大きかった。Connallyの頭と前の男の頭を比  
べてみてください。誰かがConnallyの頭を縮めたように見えます。そして、彼の手の大さ  
さを見てください。彼の顔全体を覆うことができます。あなたの手があなたの顔全体を覆える  
かどうか見てみましょう。





最後に、あの日の映画のセットを示す証拠写真として、ビル・ニューマンとその家族が地面に飛び込んで安全を確保している、いわゆる「アフターマス」の写真を見てみよう。これは、史上最悪の演技だと思います。まず第一に、これが22日に撮影されたものであるという証拠は何もない。ザプルーダーはあそこの高台にはいないし。父と息子は1人ではなく2人のカメラマンを直接見っていますが、1人は静止画、1人はビデオです。二人のカメラマンは黒のスーツを着ていて、飛んでくる銃弾をまったく気にしていないように見える。実は、父と息子もそうなのだ。親父は息子に覆いかぶさり、飛んでくる破片から守っているはずだが、息子の頭は挑発的に風に吹かれており、カメラマンにその美しさを見せている。母は数ヤード離れたところにおいて、やはり息子のことは気にしていない。彼女は3番のカメラを振り返っているように見えるが、おそらく自分のドレスが後ろからしわくちゃになっていないか気にしているのだろう。

誰も後ろを走っていないことに注目してください。当時の他の写真では、このエリアにはたくさんの人が走っています。実際、よく観察すると、木の下の日陰に座っている2人の人が見えます。

写真の一番端にある「立ち入り禁止」の看板の下を見てください。赤いシャツを着て、一人は薄手のズボンを履き、もう一人は黒いサングラスをかけていますね。おっと！？写真をトリミングするのを忘れてしまったようだ。

もうひとつの問題は、男の手にはっきりと見えるビデオカメラである。あれはBell&Howell

Zoomaticのような粗悪なものではない。テレビ局が使っているようなプロ用のビデオカメラである。当時、ハリウッドの映画監督が使っていたものでもある。これはディーレイプラザでの銃撃の直後の映像だと思われるが、そうであれば、なぜザプルーダーフィルムに頼らなければならないのか。黒いスーツを着たこの男は、車列が通過する数秒前に自分の靴の上を撮影していたのだろうか？さらに言えば、なぜ彼は、撃たれたばかりでまだフレームに入っているはずの大統領よりも、地面に倒れている無傷の家族の方が歴史的に重要だと考えるのだろうか？このプロのカメラマンは、モーターケードが通過した場所からわずか数ヤード、ザプルーダーと同じライン上にいる。私は彼のフェイク・ファミリーの映像を見たいのではなく、彼のケネディの映像を見たいのです。

しかし、明らかのように、彼はケネディの映像を持っていなかった。なぜなら、この「余波」の写真はすべて仕組まれたものだからだ。これはプレスリリース用の写真であり、映画のポスターであり、しばらくしてから撮影された。これは、ケネディの映画関係者が撮ったのかどうかさえ疑わしいほど、信じられないほどの手際の悪さ、先入観のなさ、方向性のなさで行われている。おそらく、プロのスタッフが全員ハリウッドに戻った後、誰かが必要だと判断したギャップを埋めるために、かなり後になってから雇われたのだろう。私の推測では、もしケネディが自分の死を偽装して誰かを殺さなかったならば、この不愉快な写真を公開した責任者を殺したかもしれない。

最後に、これまで紹介してきた内容から、アンブレラマンを特定することができます。



**Umbrella**            **Man**は、当日、縁側にいた謎の男性で、正体不明の2人（もう1人は**Babushka Woman**）のうちの1人だと言われている。雨が降っているわけでもなく、雨の心配もないのに、イベント中は傘を開いていた。発砲される直前に、傘を時計回りに一回転させたとされる。車が通り過ぎた後、彼は数分間、縁石にゆったりと座っていたが、ふらふらと歩いて書庫の建物に入っていった。これはもう、とてもわかりやすいですね。彼にもアシスタントがいることに注目してください。彼のすぐ前にいる男が手を挙げている。

車が通過した後、隣り合って座る。アンブレラマンが監督で、もう一人が助監督だ。助監督が手を上げているのは「アンアン」の意味。傘が回っているのは「アクション！」という意味。一緒になって、「アンアンッ..

.ACTION!"アクションの1秒前に、傘が

"ロール・エム・"という動作で1回転したのは、本当に偶然だと思いますか？また、アンブレラマンが車の目の前に現れたのも偶然だと思いますか？そうではなく、彼はこの非常に明白なシグナルを伝えるために配置されていたのであり、それは俳優の反応に発射されたショットを合わせるためのシグナルであったことが今ではわかります。

1963年を後にする前に、この年のもう一つの不思議な死を見てみよう。ワシントン・ポスト紙の発行人であるフィリップ・グラハムは、「暗殺」の数ヶ月前に自殺したとされている。彼の死は説明されていない。彼が躁鬱病になったことも説明されていない。グラハムはケネディの親友であり、彼と一緒にパーティーをしたり、女の子を分け合ったりしていた。一説によると、グラハムは女性の話をし始めたために自殺したと言われている。グラハムは、ケネディが死ぬ数ヶ月前に、フェニックスで記者たちに、ケネディがメアリー・ピンショット・メイヤー（後述）と寝ていたことを話したと言われている。しかし、これは誰にとってもニュースではなかっただろう。というのも、ケネディがイエスと言ってくれる人なら誰でも寝ていることを、すべての記者がすでに知っていたからだ。報道機関はすでにコントロールされていて、ケネディもそれを知っていた。だから、このミスリードは、グラハムにとっては悪いことだが、ケネディにとってはあまり意味がなかっただろう。そのために彼を殺す価値はありませんでした。

そうではなくて、グラハムは、数ヶ月後に迫った大統領職を地下に潜らせる大計画について、しゃべっていたか、脅していた可能性が高いのです。そうすれば、グラハムの狂人ぶりも説明がつく。新聞社にとって、公式の情報や誤報を伝えるパイプ役を引き受けることは一つのことであり、民主主義や憲法に反する行為を隠蔽することとは別のことであり、それを知って気が狂ってしまう人が増えなかったのは不思議なことである。しかし、グラハム氏の自殺は、ケネディ家にとって完璧なタイミングだった。国内で2番目に著名な出版社を殺害することで、今後数カ月、数年の間、報道機関の沈黙と共犯関係を確実にすることができるからだ。しかも、グラハムが殺害されたとも殺されたとも信じられない理由がある。他の多くの人々と同様に、彼も単に南米に移されただけかもしれない。彼の死を偽装することは、他のすべてのことに比べて小さなことでした。[同じことがマリリン・モンローにも言えますが](#)、ここでは時間がないので見ません。

さて、ダラスを離れて、後の証拠を探してみよう。

一つの明らかな手がかりは、ジョンソンが1968年の再選に出馬しなかったことである。ベトナム戦争に関するマスコミ対応でボロボロになっていたと言われている。しかし、それは大統領になるということである。ジョンソンは、人生をかけてそれに対処してきたのだ。もし彼がケネディ家をそれほど憎んでいたのであれば、異説を唱える人たちが言うように、なぜ彼はボビーに事実上の指名を与えたのだろうか？

非論理的な人は、ボビーも暗殺されることを知っていたからだと言うだろう。しかし、それでは彼がニクソンに大統領の座を譲ったことになってしまう。これもありえないことだが、認めてほしい。公式ストーリーを受け入れ続ける限り、ジョンソンの不出馬は解けない謎のままである。腑に落ちない。

しかし、ジョンソンが単なる操り人形だったとすれば、納得がいく。ジョンソンが辞めたのは、表舞台に立つことに疲れたからだ。最初は、ホワイトハウスに住んで、ジョンソン

大統領と呼ばれるのが最高だと思っていた。しかし、操り人形であることは、どこに住んでもすぐに魅力を失ってしまう。地下の王様がいれば、大統領という肩書きはその威光を失う。ジョンソンは、他の人たちと同じように死を偽装して、テキサス州中央部の牧場で一生を終えることも簡単にできた。

はい、キングと言いました。JFKが殺されたという証拠がなければ、彼は殺されなかったと考えなければなりません。もし彼が殺されなかったら、彼は大統領であり続けたこととなります。

しかし、いったん大統領職を地下に潜ってしまえば、絶対に大統領をやめる必要はありません。その時点で、投票は王ではなく、傀儡の大統領に行われるのです。その場合、キャメロットの比較は全く新しい意味を持つこととなりますね。

ここにも奇妙な証拠がありますが、今のところ説明されておらず、一貫した理論に結びついていません。それは 1964,

JFKの「死」から1年後、メアリー・ピンチョット・メイヤーという女性がジョージタウンで白昼堂々と殺害されたとされている。彼女はJFKの愛人の一人であったことが判明したが、それ以上のことは今日まで誰も知らない。彼女はCIAの最高幹部であるコード・メイヤーと結婚していたが、彼女の日記は奇妙な状況でCIAに持ち去られてしまった。現在の説では、彼女はJFKから敵について何か聞かされていたということになっているが、そうであれば、その敵が1年前に彼女を殺していたことになる。いや、1年後というのが大きなヒントになる。彼女を危険にさらしたのは、彼の敵について知っていたことではなく、彼女がJFKについて知っていたことなのです。彼女は彼がまだ生きていることを知っていました、なぜなら彼女はまだ彼女を訪ねてきていたからです。それが彼女を2つの意味で危険にさらしました。1) JFKが昔のガールフレンドを訪ねるために隠れ家を抜け出していたとしたら、地下政府全体が危険にさらされる。ジャックの同盟者や支援者はそれを望んでいない。依存症を断ち切るには、誘惑を排除するのが最善かつ唯一の方法なのです。2) メアリーは現在44歳で、美しい女性にとっては難しい年齢である。彼女の美しさは急速に衰えていたでしょうし、ジャックも彼女に飽きていたのかもしれませんが。そのような状況では、女性は、たとえ国防が関係していなくても、危険なゲームを始めるかもしれません。自暴自棄になり、脅しをかけ始めるかもしれません。メアリーは、Mary

Jo Kopechne (下の写真) やマリリン・モンローのような状況に陥ったのかもしれませんが。ハイボールやドーピングを飲み過ぎた後、彼女は口を割ると脅され、ケネディはそのリスクを取ることができなかったのだ。日記については、日付が書かれているために破棄しなければならなかった。メアリーが1964年にジャックと会ったことを書いていたと知ったら、読者はショックを受けるだろう。だからこそ、トニーとベン・ブラッドリーは、日記を "読まずに" CIAに渡すことに同意したのである。もし読んでいたら、彼らもメアリーと同じ立場になっていただろう。彼らは知りたくなかったのか、それとも知っていたことをCIAに知られたくなかったのか。知らないことが唯一の希望だったのだ。

しかし、繰り返しになりますが、上記の私の理論の範囲内で、私は彼女が殺害されたと仮定しているだけです。これまで見てきたように、それは弱い仮定です。ジャックは彼女を地下の仲間にしたかっただけかもしれませんが。その場合、彼女は殺されたのではなく、移されたこととなります。あるいは、ジャックは彼女を排除したかっただけかもしれませんが。その場合、彼女は南米かどこかに移されたこととなります。私の推測では、彼女の死は他の人たちと同様に偽装されたもので、単にマーサズ・ヴィニヤードで友人たちと合流しただけだと思います。





ジャックの話を終える前に、最後にもう一枚の写真を見てみましょう。マイク・リベロをはじめとする多くの人が、これらの写真を使って、E・ハワード・ハントとフランク・スタージスがあの日、ディーリー・プラザで浮浪者を装っていたとしています。あの日、そこにいた人々の多くがCIAやその他の政府職員であった可能性は高いと思うし、ハントとスタージスがそこにいた可能性もあると思うが、このような証拠はいわゆる調査に支障をきたすと思う。鋭い目を持った人なら、このクズどもがハントでもスタージスでもないことがわかる。この証拠に引っかかったら

他の証拠写真も信用できないでしょう今一度、見るべきものをお見せしましょう。スタージスの一致は、目、鼻、波状の髪、そして耳まで一致しているので、より近いものとなっているが、最もはっきりと失敗しているのは額である。トランプはスタージスよりも生え際が高く、年を取っても生え際は落ちません。

また、スタージスの方が首が広く、筋肉質である。彼が少し太ったとしても（どちらの写真でも彼は太っていません）、首に筋肉質の重さをつけることはあまりありません。しかし、私たちは顔だけでは判断できず、体全体で判断しています。



スタージスは決して背が高いわけではありません。彼は首が短く、それはがっしりとしたコンパクトな体格に合う。しかし、トランプはかなり背が高く、太っていて、首も長い。スタージスよりもティム・ロビンズに似ている。しかし、彼が浮浪者に見えないことには同意する。彼は浮浪者のふりをしているハーバード大学の男のように見える。浮浪者はあんなに洗ったばかりの髪をしていないし、第一に。

ハントについては、似ても似つかぬものだ。1963年のトランプは、1972年のハントよりも老けて見える。顔はずっと長く、トランプの方が痩せている。鼻と口の間が長く、目尻が下がっていて、眉毛が高くなっている。

また、帽子の下から前髪がかなり出ているように見えます。耳の形もおかしい。

ハントはいたかもしれないが、あれは彼ではない。リベロの説は、私にはもっと誤魔化しているように見える。

しかし、次に進みましょう。キングになると、唯一の問題は早死にすることだ。ジャックは1968年、まだ51歳という若さで早死にしたようだ。地下」での生活は思った以上に大変で、ジャックは太ってしまい、鬱病になってしまった。もともと健康状態が悪く、アジソン病を患っていた。さらに、注目を浴びることを必要としていた彼にとって、秘密の支配者であることは納得がいかなかったのだ。そこで、ボビーが彼の代わりに呼ばれた。彼の死も偽装して、彼に王座の時間を与える時が来たのだ。

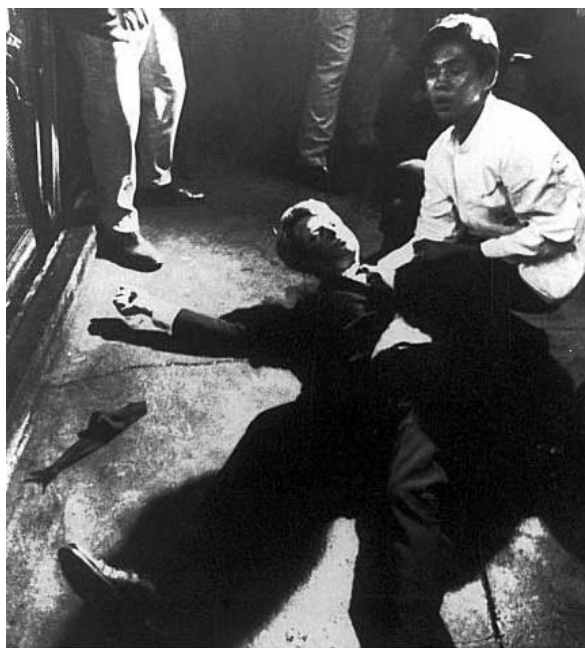
私の手法を知っていただいた上で、ボビーの暗殺は、ジャックの暗殺と同じように確たる証拠がないことがお分かりいただけると思います。人が本当に殺された場合、身元が確認できる遺体があり、調査可能な事実がある。しかし、ケネディ夫妻はダラスでの失敗から学んでいた。今回のボビーの場合は、死体の写真も、検死の写真も、殺人の写真も、分析できるものは何もない。彼らの言葉を信じるしかないのだ。もし、彼らが誰かを雇っていたら



ボビーや他の人が殺されたという分析可能な証拠がないので、その話を信じるしかないのだ。  
壁に穴が開いている写真を見せてもらったが、当時は誰もその穴を正常に検査することができなかった。何の根拠もないのだ。

そして驚いたことに、陰謀論者たちはまたしても明白なこと以外はすべて理論化してしまうのだ。彼らは、既知の宇宙のあらゆる疑わしい人物を理論に含めるが、ボビーが何らかの理由で死を偽装した可能性については一度も言及しない。もし誰かが殺されたという証拠がなければ、まず殺されていないと考えるべきだ。殺害されていないのであれば、まだ生きていますはず。なぜか誰もそれに気づかない。

撮影の証拠として提示されているのは、有名なボリス・ヤロの写真をはじめとする数枚の写真であり、いずれも極めて不規則なものである。



AP / BORIS YARO

そもそも、正のIDを作ることはできません（ただし、負のIDを作ることはできます、これからお見せします）。ただ、ボビーに似た人物が地面に倒れているというだけだ。しかし、それ以上に、少年が致命傷を負った男と一緒にポーズをとっていて、他の全員が後ろに下がっているというのは非常に奇妙なことだ。まるで誰かが「よし、みんな、新聞に載せるために『死体』の写真を撮ろう」と言ったかのようだ。みんなは後ろに下がって、私がはっきりと撮れるようにしてください。若者よ、君は無邪気でカトリック教徒に見えるから、そこに入って彼にこのロザリオをつけてくれ、そうすれば彼らの目に涙を浮かべるだろう！」と言ったかのようだ。さらに奇妙なことに、銃で撃たれたばかりの男がいて、誰も彼が死んだかどうかを知らない（実際、公式の話では彼は死んでいない）のに、彼を救急車に運ぶことも、観客の中にいる医者にも治療してもらったことも、キッチン用のナプキンで彼の傷を止めることさえも急がないのです。まず、TIMEのカメラマンを呼んで、バスボーイの腕の中で血を流して死んでいる彼の写真を撮らせることだ。

しかし、これがボビーではないとしたら、それは悲劇である。このことを証明するために、いくつかの二次的な写真を見てみましょう。



その最後の写真は、[ロサンゼルス・タイムズのアーカイブ](#)で見ることができる。彼の頭を支えている手はどこにある？袖口は空っぽ！？その頭は貼り付けられている。



信じられないかもしれませんが、その少し後の写真を見てください。髪の毛の部分が左右入れ替わっているではないか。その先の「ボビー」は、白い襟付きのシャツを着ていて、頭、首、胸などに傷（今でも言われている）がたくさんある。正面から近づいてきた男に3発撃たれたとされている。しかし、どの写真にも血は写っていない。バスボーイがボビーの首、ネクタイと襟のすぐ上に黒い布を巻いているのが自分の目で確認できる（3枚目の写真）。この小道具は、Yaroの写真にも横になって写っている。これはネクタイの予備のようだ。もしかしたら、誰かがネクタイを外して、止血帯や傷の処置に使ったのかもしれませんが。写真のネクタイに光る部分がありますが、これ3はネクタイクリップか装飾品だと思います。奇跡的に、傷口のすぐ下にあるボビーの襟には血が付いておらず、数分後に襟が開いている他の写真でも、襟とシャツの前身頃はきれいなままです。銃弾による首の傷で、血が出ないものがあるだろうか？もしかしたら、ボビーはバスボーイに「馬鹿げた布のことは忘れろ」と言っているのかもしれない。

私の首、首の傷はこのシーンにはありません。

胸の傷については、第3指の下、第3指と第4指の間に小さな血痕が見られる可能性があります。

血痕のほとんどを手で隠しているという意見もある。シャツを開いた写真では、両手の間とロザリオの上に傷がはっきり見えると言う人もいました。私は答えます。はっきりと見えるものは何もありませんが、いくつかの非常に異常なものはあります。真っ白なシャツに1つだけはっきりとしたシミがありますが、そのシミは後で暗室で付け加えられたものかもしれません。袖口の黒いボタンと同じように、ボタンかもしれません。彼が白いシャツに白いボタンを付けていると考える理由はありません。他のボタンが見えないのは、ボタンを外して、布の下にあるからです。実際には、ボタンの1つがあるべき場所にあるのです。だから、何もはっきりしないのです。指の間の暗さは、暗室でかわされた影かもしれないし、ボビーが持っている何か暗いものかもしれない。また、Tシャツを広げた写真は、さらにはっきりせず、変則的である。ロザリオの上の黒い部分は、明らかに傷でも血でもない。しかし、仮にそれが傷であったとしても、ボビーはここでまだ生きているのに、血が出ていない。仮に血だとすると、なぜ流れていないのか。なぜ彼の手やロザリオに血がついていないのか？さらに言えば、この人たちはどうやってボビーの手を動かさずにシャツを開けたのだろう？彼の手は、見ての通り、前も後も全く同じ場所にある。そして、もしそこに傷があるのなら、なぜ彼らはそれを止めようとならないのだろうか？彼らはキッチンにいると聞いていますが、私が行ったことのあるキッチンには必ずナプキンがありました。医者や博士がいなくても、傷口を塞ぐことはできるし、ロザリオで塞ぐこともできない。

もし、これらの写真が暗室で加工されたものだと思われなければ、私と一緒に写真3  
(Los Angeles

Timesに掲載された一番大きな写真)をもう一度見てください。致命傷は右耳のすぐ後ろの傷だと言われているが、その弾丸は彼の脳に入ったからだ。サーハン・サーハンが、彼の正面から発砲しながら、どうやって彼の耳の後ろを撃ったのかは不明である。しかし、彼の下の床が血で満たされていないので、ここにも出血しなかったような傷がある。台所の床には薄いシミがあるが、鮮血が溜まっているようには見えない。私たちは右側にいるので、血がはっきり見えるはずだ。傷口があるはずの側を見ているのだから。しかし、何も見えません。この写真はビデオの映像とも一致しない。見えているのは、とてもとても奇妙なものだ。よく見てください。ボビーの頭を支えているのは、バスボーイと、手前にいる頭に見える男(メガネの男)の両方です。しかし、メガネの男は暗室で左手を抜かれています。

袖口が見えますが、そこから手は出ていません。幽霊の手でボビーの頭を支えているのだ。靴とボビーの頭の間の写真全体がレタッチされている。手を失っただけでなく、ボビーの頭とコートの本物のエッジも失われてしまったのだ。これでは説得力がない。リタッチでは右耳をかなり削っているが、あれはやりすぎだ。

現在のストーリーでは、ボビーが右耳を撃ち抜かれたことは語られていない。私たちは、ゴッホの話の思い出するように、そのようなことを思い出さる。この耳と他の写真の耳を比べてみてください。ボビーの耳は、突出しています。特に、最後の写真を見てください。左の耳は、髪の毛からはみ出しています。さらに、4枚目の写真には右耳の一部が写っていますが、顔の向こうに見える白い部分が耳です。シャツのボタンを外している間に、右耳が生えてきたのだろうか？

この写真3が1968年以来改ざんされていると主張する人のために、1968年の新聞の写真を見てください。同じ写真、同じゴーストハンド。



最後に、あの写真は、血が出ていないとか、レタッチされていないとか、そういうこと以上に怪しい。問題は、その頭が他のどの頭にも似ていないことだ。この髪の毛をみてください。他の3枚の写真では、パートは左目の上にあり、センターパートでもサイドパートでもなく、その中間に位置しています。写真3では、右目の右端にかかっています。他の写真とは全然違いますね。写真3ではボビーに似ているが、他の写真では似ているかどうかわからない。これはなぜかという写真3の頭は後から付けたものだからだ。

だから、右端、端、そして失われた手に至るまで、広範囲に渡ってレタッチが施されている。だから、頭の暗さと他の写真の暗さが一致しないのです。頭部から襟元への移行が悪いので、このような暗い布を追加しようと考えたのです。ご覧のように、まだ頭が胴体から離れているように見えます。それは、この写真が貼り絵だからです。貼り絵といっても、手の部分を切り取っているので、ボビーが空の袖口で支えられているように見えてしまう。せめてフックを描いてくれればよかったのに。

ボビーはいつも頭の右端で髪を分けていましたが、これは本当のサイドパートです。ジャックはいつも左側に髪を分けていました。もし、ボビーの絵や写真で左分けのものがあつたら、それは反転した画像か、反転した画像から描かれたものです。ウェブ上にはたくさんの反転画像があります。



だからこそ、この写真1、2、4はボビーではないと確信している。さらに証拠がある。ヤードの写真のプリントをいろいろと比較してみると、お互いに一致しないことがわかります。



最近ウェブサイトが閉鎖されてしまったため、今回も小さな画像を使用しなければならなかった。しかし、このサイズでも、影が一致していないことは簡単にわかります。バスボーイの足の下を見てください。上の大きな写真では、そこに黒い影がありますが、ここにはありません。また、同じ瞬間に撮影されたとされる別の写真を見てみましょう。



問題は、撮影者が壁の内側に立っていないといけないということだ。YAROの最初の大きな写真を見てください。ボビーは壁のすぐそばに寝ている。彼の手は幅木から15センチくらいのところにある。では、この最後の写真はどこから撮ったのか？撮影者が右に寄りすぎているだけでなく、彼の右隣には誰かがいるのだ。手を見てください。あの男は撮影者の右に立っていないければ、フレームに収まりません。あの男は、壁の中に立てる、もう一人の幽霊なのか？

さらに問題が発生しました。この2枚の写真は一致しません。ここでも髪の毛のパーツが全く一致していません。



もちろん、その直前にボビーがスピーチしている映像もある。なぜ誰も写真を比較しないのか？



全然違いますよ。ここでも髪の毛の分け方を研

究します。そして、ここでは可愛くなりすぎて

しまいました。





偽の血のプールにキャンペーン用の帽子を入れる？本当に？あれはちょっと大げさだと誰も思わなかったのか？

この写真もひどい偽物だ。



これほどわかりやすい貼り絵は見たことがありません。背景にある様々な頭を見てください。小学生が紙から頭を切り取って、頭の大きさが合っているかどうかを気にせず、無造作に貼り付けたようなものだ。被写界深度が全くなく、一貫したパースペクティブもなく、理にかなった影もなく、頭の中のラインは全て偽物です。最悪なのは、蝶ネクタイの男とその後ろの男の間の線だ。最悪です。これらは実際の人間が前に立っているわけではなく、写真を貼り合わせたものだ。

確かにこの写真は怪しいが、撮影直後の動画もあるし、音声もあるし、多くの目撃者もいるじゃないか。あなたはこれらすべてが捏造だと言うのですか？"はい、明らかにそうです。これもまた、操作の達人たちによるハリウッドの作品である。すべては演出されたものだ。ジョセフ・ケネディは長年にわたってRKOスタジオを所有しており、ケネディ家は映画の作り方を知っていました。ホテルの厨房に舞台照明や映画カメラが設置されているのは怪しいと思いませんか？移動するフィルムにはキッチンを埋め尽くす人たちのカオスが映っているのに、ヤロの写真には死んだように静かで、そばには一人のバスボーイがいるというのも怪しいと思いませんか？JFKの時と同じように、いくつかのテイクが混在している。

過去の映像やレタッチされた写真に加え、舞台劇の映像も使われている。そして、このメインステージの芝居は、その場にいた人、中心部にいなかった人のほとんどを騙すほどの演出が施されていた。例えば、ジョン・ピルガーは、その場にいたにもかかわらず、RFKは殺されたと信じている。彼は、サーハン・サーハン以外の狙撃手がいたと信じているが、それ以外は騙されたのである。彼はたくさんの銃声を聞き、乱闘を目の当たりにし、パンデモニウムを目撃した。響き渡る台所で、空砲と本物の22口径の違いを誰が見分けられるだろうか？誰にも分かりません。だからこそ、彼らは22口径を使ったのです。例えば、ピルガーが銃の専門家であれば、空砲と大口徑の拳銃の違いを見分けることができたかもしれない。しかし、22口径ではない。まさに中心にいる人以外は、これが演出であることを知ることはできなかったでしょうし、まさに中心にいる人たちは俳優でした。彼らはそれに参加していたのです。だから、目撃者の証言はすべて無意味なのです。信頼できる証言をしてくれるのは中心部に近い人たちだけで、彼らは皆、お金をもらって嘘をついていたのです。

このシーンは、主要な役を演じ、アクションを囲み、外部の人間が安全な距離を保つのに十分な、20人程度の関係者だけで演出することができた。究極のカモであるサーハンは、この映画に出演するために雇われていたのだが、この映画が本物であるかのように売られたことで、罠にかかってしまったのだ。罠にかかってしまった以上、逃げることはできない。彼（と彼の弁護士）は、自分が望むように弁論することさえ許されなかった。最初から最後まで罠にはめられたのである。あるいは、彼は刑務所にいるふりをしている別の俳優なのかもしれない。この考えは他のすべてのことよりも奇妙だと思うかもしれないが、実際には最も可能性の高いものである。これだけの死を偽装できるのであれば、刑務所にいる人を偽装できるとは思わないだろうか。チャールズ・マンソンに関する私の論文を見てください。

ケネディ家に買収されていない人たちが撮った写真は他にもあったようだが、それらの写真は当然のことながら不思議と消えてしまった。あまりにも近づきすぎて、その男がボビーではないことがわかってしまったから、あるいはボビーだけ明らかに死の場面を装っていることがわかってしまったから、と考えるしかない。1996年に『ロサンゼルス・タイムズ』紙が報じたように、ジェイミー・スコット・エンヤートという青年がキッチンで何本ものフィルムをパチリと切ったが、彼の写真は1968年に市の弁護士に盗まれてしまったという。1995年にカリフォルニア州の公文書館で彼のネガが発見され、エンヤートにネガを返すために宅配便が送られてきた。驚いたことに、その運び屋は不可解な状況で強盗に遭い、ネガは再び消えてしまったのである。

1978年（10年後！）には、ハメス博士とアイダ・ドックスの好意により、RFKの検死写真とX線写真の~~図面~~を入手した。デッサン！？どちらからも身元を確認することはできないので、ただのジョークの延長線上にあるものだ。またしても、彼らの言葉を信じるしかありませんが、それはどんな基準でも証拠にはなりません。私たちには、信頼できない情報源からの非常に疑わしい証言しかありません。もし検死写真がボビーのものであれば、なぜそれを見せないのか？JFKの写真は見せてくれたのに、なぜRFKの写真は見せてくれないのか？写真からのデッサンは、情報操作の不合理的な継続である。

そうすれば、レイファー・ジョンソンやロージー・グリエなどの共犯関係も説明がつく

(ある程度は言い訳になる)。これらのインサイダーはすべて嘘の罪を犯しているが、殺人についての嘘ではない。彼らは殺人事件を隠蔽しているのではない。姿を消すことを選んだ人の失踪を隠蔽しているのです。もっと小さな犯罪ですが、もし犯罪であったとしてもです。

これらのことを念頭に置いて、**RFK**の死についてのすべての代替説を再考してみてもいいでしょうか。多くの人々が、サーハン・サーハンは殺人をプログラムされた満州人候補だったという別の説をまだ推しています。また、サーハン氏の銃には8発しか入っていなかったのに、13発発射されたという新しい証拠もあります。あなたは、彼らがいかに新しい論争にあなたを導くかを見てきましたが、古い論争も新しい論争も、最終的なストーリーは同じです。ボビーは殺された。ボビーが殺された」ということだ。

陰謀であろうとなかろうと彼らが気にするのは、あなたが結末を受け入れることだけです。彼らはこれらの論争がいまだに放送されていることを非常に喜んでいる。撮影枚数や満州人候補について考えている人は、写真がどのように捏造されたか、そもそも殺人の証拠がないことについては考えていないでしょう。政府は確かに催眠術をかけられた殺人者を作り出すことはできますが、このようなケースではその必要はありません。誰も殺されていない時には、催眠術をかけられた殺人者は必要ないのです。

ジャックがリンドンの実権を握っていたように、ボビーはディックの実権を握っていた。当時、ニクソンは与えられない選挙には勝てなかったが、1968年の選挙はケネディ夫妻からの贈り物だったのだ。なぜ、ケネディ家はニクソンではなくハンフリーをフロントマンにしなかったのか」と疑う人がいるだろう。ケネディ夫妻はニクソンを嫌っていたのに」と疑う人がいる。第一に、ケネディ家がニクソンを憎んでいたという証拠はありません。彼らは1960年にニクソンに勝ちたいと思っていましたが、それは憎しみではなく、野心なのです。1968年に彼らが汚い仕事をするには、ニクソンの方が適していました。彼らはベトナム戦争の継続を望んでおり、そのためのスケープゴートとしてはハンフリーよりもニクソンの方が適していたのである。RFKが戦争に反対し、ニクソンが戦争に賛成しているという考えを売るのは簡単だったが、これは間違っていた。ケネディ夫妻は、決して戦争に反対していたわけではありません。ブッシュやチェイニーが911や中東の戦争を利用しているように、彼らは冷戦やベトナム戦争を利用したのです。これらの戦争は、軍・情報機関の経済を動かし、彼らとその友人たちを金持ちにしたのです。2)

共和党が大統領の座に就く時期であった。共和党と民主党は敵対関係にあると思われていますが、そうではありません。彼らは同盟者です。

1990年代後半にラルフ・ネーダーが最初に指摘したように、今では民主党議会が「ネオコン」のアジェンダに全面的に屈服し、人身保護令状の剥奪、憲法の破棄、差し迫った戒厳令などを行っていることから、このことを受け入れ始めている人もいます。しかし、これは90年代や911の後だけに起こったことではありません。20世紀の間ずっとそうだったのです。FDRは連邦準備制度を打倒し、政府全体をひっくり返したのでしょうか？そうではなく、彼はそれまでの政策を継続し、わずかな変更を加えただけだった。彼は、共和党や民主党の前任者たちと同じように、すべての戦争に可能な限り早く参戦しようとし、参戦するためにトリックを使ったことさえあります（パールハーバーを参照）。また、トルーマンは不必要に日本を爆撃し、アイゼンハワーは元陸軍大将でした。

私たちは、アイゼンハワーが有名な演説でケネディに軍産複合体を警告していたように装っていますが、それはケネディの演説と同様に誤読されています。アイゼンハワーは、ケネディや他の誰かに警告していたのではなく、方向性を誤っていたのである。銀行家たちは、ケネディが登場した1960年にたまたま誤誘導を必要としており、ウォール街や連邦準備制度ではなくペンタゴンに目を向けさせることを好んだ。また、CIAからも目を離す必要がありました。CIAの方がずっと短いのに、なぜ「軍産複合体」と言うのか？CIAは、1950年代にはすでにアメリカ政府を掌握しており、アイゼンハワーはそれを十分に認識していた。だから、アイゼンハワーの言葉はそう読むべきなのだ。このようなミスディレクションは、今でもよく行われている。ペンタゴンは、おとりの役割を演じることをいとわない。それは権力の道具に過ぎないのだが、ほとんどの人はそれを忘れてる。危険なのは軍隊ではなく、軍隊をコントロールしている人々なのです。

ニクソンの大統領時代を見てみると、もっと多くのヒントがある。ニクソンがFBIにウォーターゲート事件、特にホワイトハウスのテープや通信の調査をやめるように命じたのを覚えていますか？彼は、「ピッグス湾の件」を理由にそうすべきだと言ったのです。この引用は

、ウィキペディアのページからそのまま引用したもので、決して無名の引用ではありません。ウィキのニクソンのページは真っ白であるにもかかわらず、そこに掲載されている。まだ誰もその引用を正しい方法で分析していない。あのピッグス湾の件」が「ケネディ」の略語であることがわかるはずだ。<sup>4</sup>それはケネディのコードワードです。ニクソンはCIAやFBIに、「調査されるとケネディの隠蔽工作が危うくなるから、調査されるべきではない」と言っているのです。密告の脅しかもしれないし、単にホワイトハウスの通信簿には重大な秘密への言及がないと警告しているのかもしれない。

もう一つの重要な手紙がこの読みを裏付けている。ウォーターゲート事件の公聴会で明らかにされた、ジェームズ・マッコードからリチャード・ヘルムズへの手紙にはこう書かれている。

ニクソンとその手下たちは我々を危機に追い込んだが、今は手を引いており、危険は去った。この10年で森の木はすべて倒れ、大地は焦土と化しただろう。

その手紙の意味を理解できた人はいませんでした。注目していただきたいのは、その引用文の「10年」という部分です。この手紙が書かれたのは1973年だから、10年後というとならば1963年になる。この時も、ニクソンたちは暗殺の捏造をバラすぞと脅していたが、それはまさに焼け石に水だった。想像するに、CIAはニクソンに本物の銃を持たせて脅したのか、あるいは愛国心を頼りに共和国全体を崩壊させると説得したのではないかと思われる。私は前者だと思う。

このことをさらに示唆しているのが、私たちに伝わってきたホワイトハウスのテープである。有名な18分半の空白は説明されていないが、テープに残された証拠よりも重要な、大統領を弾劾するに足る何かがそのテープから消されたことは明らかである。なぜテープが保存され、召喚状に渡されたのか？なぜ、今のブッシュ政権の常識のように、テープ一式を消去したり、破棄したりしなかったのか。繰り返しになるが、ニクソンはただの落ちこぼれである。ニクソンよりもっと権力のある人が、ニクソンに対してテープを使ったのだ。しかし、このテープの中には、ニクソンを犠牲にする以上のものがあつた。ニクソンは、テープの中でケネディを生身の人間として語っており、だからこそ、そこには18分半の謎が残っているのである。

また、なぜニクソンがこのような明白な証拠を残して自分の姿を撮影したのか。答えは、そうではありませんでした。ニクソンは自分で録音していたわけではありません。用心のために、ケネディ家が録音していたのだ。あなたが職場で上から監視されているのと同じように、ニクソンは上から監視されていたのである。歴代の大統領で、自分のプライベートな会話を録音したテープを完全に持っていた人を知っていますか？ニクソンが自分の悪事の証拠を我々に提供するのをおかしいと思いませんか？繰り返しになりますが、彼は影の政府に監視されていて、テープは強要の一種であると考えられます。それがテープの存在を論理的に説明する唯一の方法です。

ニクソンについては、ケネディ家にはバックアッププランがあつたことも忘れてはならない。その計画とは、ジェラルド・フォードである。

ニクソンが反抗的になったら、彼をゴミ箱に放り込んで、自分たちの愛玩動物であるフォードと交代させることができたのだ。フォードはウォーレン委員会に参加していた。彼は、共和党からではあるが、最初からケネディ家の言いなりになっていたのである。人々は、フォードがウォーレン委員会の誰かをかばっていたと考えているが、それはジョンソンではないだろうし、ニクソンでもないだろう（ニクソンは、暗殺と強く結び付けられていない数少ない主要人物の一人だから）。そうではなく、ウォーレン委員会がケネディ家によってコントロールされていたということが、ここでの問題なのです。ジャック・ケネディ自身がね。

ダレスでさえ、ジャック自身がウォーレン委員会のメンバーに選んだのだ。なぜか？それは、ジャックがダレスと最終的に和解し、ケネディ家がワシントンで何かに関与しているという最後の疑惑をそらしたからである。

さらに、ボビー・ケネディが1964年にはまだ司法長官であつたことも、すべてのことを裏付けている。多くの人がそのことを忘れています。ほとんどの人は、ボビーが1964年に何をしたかを勉強していない。

もし誰かがそれについて考えるとしたら、彼は死ぬほど怖かったし、怖くて黙っていたのだと思います。恐怖を感じていた人が、1964年の上院議員選挙、1968年の大統領選挙にすぐに出馬するはずがないからだ。ボビーは何も恐れていなかったし、一瞬たりとも恐れているようには見えなかった。それなのに、彼はウォーレン委員会やどの調査にも興味を示さ

なかった。当時、彼は司法長官だったのだから、標準モデルや代替モデルを信じるのであれば、これは二重にも三重にも不思議なことである。公民権について発言する能力があり、隠密作戦を計画する能力があり、大統領選に出馬する能力があった男が、弟の殺人に関心を持つことができたはずだ。彼には、これまで誰も持っていなかったような説教壇があったことは明らかである。1964年の大会で彼に与えられた喝采がその証拠であり、もし彼がそれを必要としていたならば。しかし、私は彼がそれを必要としたとは思わない。彼は何も言うことがなかった。そして、何も言うことがなかった理由は、ジャックがまだ生きていたからだ。どうやって

まだ生きている人の殺人事件を捜査するのか？妖精の粉を吹くために設立されたウォーレン委員会にどうやって異議を唱えるのですか？そんなことはしない。あなたは問題から逃げていて、それこそがボビーのしたことなのだ。

1998年のボストン・グローブ紙で、マックス・ホランドは、ボビーが苦しんでいるのは恐怖ではなく、罪悪感であると指摘した。ホランドは、おそらくCIAが書いたであろう純粋な偽情報のような論調で、ボビーが罪を犯しているのは、犯人がボビー自身が描いたカストロ殺害の計画をコピーしたからだと言う。ホランドはこの主張の証拠を私たちに約束しているが、それを提供することはなく、彼の1行の無意味な主張を他の無意味な主張で補っている。

彼は、当時、暗殺記録審査委員会が公開していた記録からアイデアを得たと言って、議論を始めました。私たちは、このARRBが「1963年11月22日とその余波に関連するすべての重要な遺物や文書を公開する」つもりだったと信じている。400万以上の文書です。これは、

"理性がパラノイアに勝る"ためである。それがボビーの罪と何の関係があるのかはわかりませんが、ホランドはそれをどこかに書いておく必要がありました。

続いて、ボビーの罪についての文章が、記事のタイトルと結びついただけで、すぐに別の話に移る。1975年にフォードとキッシンジャーが、CIAが問題になっていたときの話だ。キッシンジャーは、ボビーがカストロの計画を個人的に管理しており、そのためにCIAはその存在を恐れている、と語っている。「ボビーがカストロの計画を個人的に管理していて、そのためにCIAが存続の危機に瀕しているというキッシンジャーの発言が引用されている。

ここで指摘しておきたいことが2つある。1つは、ボビーはCIAに所属していなかった。ボビーの行為が、それが何であれ、CIAを危険にさらすことになるのか？2つ目は、1975年のCIAは今よりも危険な状態ではなかったということだ。ホランドの記事はすべて、歴史を書き換えるために作られたものだ。ボビーの「罪悪感」とは何の関係もなく、グローブ紙の読者に、1998年にすべての暗殺文書が公開され、CIAはこの残酷な世界で存在するために靴ひもでぶら下がっていたし、今もぶら下がっている、と思わせることがすべてなのである。

いや、ボビーは恐れていた以上に無罪だった。ボビーはウォーレン委員会について何も言わず、暗殺についてもほとんど何も言わなかった、なぜなら暗殺はなかったからだ。

1963年以来、民主党と共和党が交互に、ほとんど時計のように国を動かすふりをしてきた。これは、有権者が「クズを追い出そう」とする傾向があるからだと言われています。しかし、有権者には何の傾向もない。なぜなら、彼らの行動はすべて、完全に台本通りか、完全に無視されているからである。8年ごとに2つの政党が入れ替わる本当の理由は、これが契約の一部だからである。党は、パイがもらえれば、キングスについても何についても、気にしないし、聞かないし、教えない。これではっきりしたでしょう。ペンタゴン、CIA、FBI、連邦準備銀行、CFR、ビルダーバーグ、三極委員会などによる影の政府など、政党や議会などの主要人物は一切気にしていないことがわかるのだ。私たちが知っている影の政府について彼らが気にしていないなら、私たちが知らない影の政府について政党が気にしていないことに、なぜ私たちは驚かなければならないのだろうか？もし彼らがCIAの暴走を気にしていないのであれば、なぜ彼らが地下の王様を気にしていないことに驚く必要があるのだろうか？

2000年と2004年の2回の大統領選挙をコンピュータに奪われた後、民主党がコンピュータを排除するためにほとんど何もしなかったことに多くの人々が驚きました。なぜなら、そもそも選挙は民主党が知り、共謀して不正に行われたものであり、自分たちの出番ではなかったからである。

また、ニクソン以降、どのような大統領がいたかを思い出してみてもはいかがでしょうか。ロックフェラーの副大統領に支配されていた非凡なフォード。どこからともなく現れたピ



一ナツツ農家のカーター。俳優のレーガン。ブッシュは、鼻持ちならない副大統領で元CIA  
長官。アーカンソー出身のインチキ菓のセールスマン、クリントン。ブッシュ・ジュニア、  
スーツを着た猿。これらの人物が全員、アメリカの大統領になったのは偶然ではありません  
。

主に俳優です。ステイングが歌の中で言ったように、「彼らは皆、ゲームショーの司会者のように見える」のである。ニクソン以前はそうではありませんでした。なぜ、ニクソンの後にはそうなったのか？

それは、その時までには大統領職が単なる隠れ蓑になっていたからである。ジョンソンとニクソンは、この役を半真面目にこなしていた。すべてが変わってしまったことを知りながらも、昔ながらの方法で野心を満たそうとしていたのである。しかし、ニクソンが倒された後は、大統領職は空虚な見せかけに過ぎず、誰もがそれを知っていた。フォードの場合は寝る機会、カーターの場合はニヤニヤと笑い、レーガンの場合は馬に乗ってポーズをとる機会であった。レーガンの後、その地位は標準化された。空母や牧場での写真撮影やテレプロンプターを使った演説など、サーカスのバーカーがやるようなことばかりだった。誰もが、このボール紙で作られた人形の後ろには、本当の決定を下すことができる人がいるはずだと思っていた。中途半端に、フーバーやキッシンジャーやグリーンSPANやチェイニーがいるのではないかと考えたこともあったが、それで満足したことはない。この空虚感の中で、秘密委員会やCFR、宇宙人の監視など、他の陰謀論が立ち上がってくるのである。しかし、真実を目の当たりにした今、それがどれほどシンプルで合理的なものであるかがわかります。私たちの多くは、王様やキャメロットを求めていましたが、その願いが叶いました。湖の貴婦人はハリウッドから秘密の鞘に入ったエクスカリバーという剣を携えて登場し、ケネディ夫妻はアヴァロンの閉ざされた場所に引きこもり、マーリンにふさわしい魔術で波の下から私たちを支配しました。

我々は影の政府があることを知っている。陰謀論者でさえ、ケネディ自身の言葉を信じて、彼の言葉を何度も引用しています。

では、ケネディ家が影の政府であり、今もそうであることを発見して、どうしてショックを受けるのだろうか？おそらく最も衝撃的なのは、この発見がいかに明白で論理的であるかということだろう。911の偽旗作戦、軍事法廷法、愛国者法、国土安全保障法（ヒトラー自身が制定した法律にちなんで命名）、人身保護令状の喪失などを受け入れる議会は、王を持つことに固執することはないだろう。

それを裏付けるもう一つの事実は、クリントンが大統領になる前から常に陰謀論に傾いていたことだ。彼はウォーレン委員会を信じていませんでした。しかし、大統領になった途端、急に考えを変えた。なぜかという、説明を受けたからです。実際に死んだケネディに会ってしまうと、彼の死についての陰謀論を維持するのは難しい。王様から電話をもらったなら、どちらにしても、彼の暗殺を維持するのは難しい。

チョムスキーの最近のコメントは、ここにも当てはまる。なぜチョムスキーはケネディの暗殺を重要でないと考えるのか？なぜ彼は、ケネディからジョンソンへの重要な政策変更はなかったとするのか。第一に、ケネディがベトナム戦争に反対していなかったことを知っているからである。第二に、変化がなかったため、政策の変更がなかったことを知っている。ケネディからジョンソンへの変化はなく、ケネディだけが存在していた、チョムスキーはこのことを知っています。しかし、彼はそれを口に出して言うことはできない。ケネディ家は、知識人としての彼の聴衆が人口の3%を超えることはない、他に何を言ってもよいという自由を彼に与えている。しかし、ケネディについて自分が知っていることを話すことはできない。それでも、彼がJFK陰謀論者をけなすときには、時折、その意味合いが漏れてくる。ケネディが殺されなかったことを知っている人だけが、このように軽々しく殺人を否定することができる。

同じことがアレキサンダー・コックバーンにも言えるかもしれない。コックバーンはウォーレン委員会を受け入れるタイプではない。彼は「死んだ」ケネディ家の何人かに会ったことがあるかもしれないし、だからこの話題に関しては珍しい立場にいる。[コックバーンは、おそらく1979,CIAの命令で、デボラ・デイヴィスの『*Katharine the Great*』という本を『*Village Voice*』誌で酷評したことも忘れてはならない)。

他にもありますか？世界貿易センタービルの解体で失われたものとして、あまり知られていないのが、ケネディ自身の写真家、ジャック・ロウのネガがすべて失われたという事実はどうだろうか。WTC5では、フレーム40,000を超えるアーカイブ全体が「失われた」のです（ロウ家によれば、WTC5で失われたのは、写真400のうちの1枚にも満たないそうです）。

フレームは本などに印刷されていた)。それだけでなく、またしても不可解な状況で紛失してしまった。金庫を所有していた銀行は当初、金庫は回収できないと言っていた。瓦礫の中を50万ドルかけて搜索したが、成果はなかったという。しかし、このままでは訴訟を起こされて大変なことになる、突然、金庫を発見したのです。50万ドルの搜索では金庫は見つからなかったが、訴訟の脅しで見つかったのだ。典型的ですね。ジャックの娘のトマシーナは報道機関に、金庫はその前面にチョークで番号が書かれているだけの非常に怪しい状態で届けられたと語っています。この番号は、彼女の記録にある番号とは一致しませんでした。銀行側は、自分たちの番号と一致していると主張したが、それを証明する紙は見せなかった。その後、『ニューヨーク・タイムズ』紙(2002年3月27日付)は、金庫は焼けていたがひどく壊れてはいなかったものの、「金庫の扉を開けてみると、錠前はなく、錠前があった場所に丸い穴が開いていただけだった」と報じた。金庫の中には瓦礫があった。

この最後の事実は、最も重要であるが、最も重要でないように思われる。ネガはプラスチックでできていて、スリーブは紙かプラスチックである。もし、上からの衝突の重さで錠前が外れ、金庫の中に火が入ったとしたら、その火がすべてを焼き尽くしてしまうことになる。火は残骸を残しません。煙や灰が残ります。プラスチックの場合は、金庫の底に黒い膜ができて、固まった水たまりのようになって残ったはずです。プラスチックのフレーム40,000であれば、非常に大きな水たまりができるはずですが、トマシーナは灰やプラスチックの残骸のようなものは報告していない。彼女が報告したのは瓦礫だった。仮に、後で上からの重みで扉が開いて、火事の向こうから破片が吹き込んだと考えても、破片と灰の両方があることになる。しかし、破片が入り、灰が出て、中身のない燃えた金庫が残ったと信じていいのだろうか。

破片が入った空間は、少量の破片しか入らないほど小さく、元の内容物がすべて逃げられるほど大きかったのでしょうか？破片の中にネガの残骸とわかるものはなかった。そうでなければ、トマシーナはそれを、この金庫が正しい金庫であることの証拠として認識できたはずだ。実際、ネガ40,000の残骸であるプラスチックは、金庫の底に張り付いているので、吹き飛んだり、外に出たりすることはできない。フライパンで少量のプラスチックを燃やしてみても、フライパンの中の残留物を吹き飛ばせるかどうか試してみてください。プラスチックの残骸はフライパンの底に永久に焦げ付いたままなので、フライパンは捨てなければなりません。この破片は、論理的な訓練を受けていない人や、ネガがプラスチックでできていることを知らない人が、リアリティを出すために後から付け加えたものである可能性の方がはるかに高い。

別の理論家たちは、この新たな謎を利用して、ケネディ家は依然として覆面をかぶった男たちに狙われているという考えをさらに強めようとしているが、ケネディ家自身は、外部の陰謀者よりもこれらのネガティブな情報の方が有用であると考えよう。私たちは常に、最も得をする人を最も疑うべきなのです。謎や暗殺や死の偽装がなくても、ケネディ夫妻は自分たちの写真を最も利用するだろう。そして、どんな謎がどんな形であっても、ケネディ家はそのネガを欲しがると最大の理由を持っているだろう。特に、自分たちが生きていることを証明できる証拠が含まれているとしたら、なおさらだ。彼らは、インターネット上の写真を抑制するのと同じように、これらの写真を抑制することを望むでしょう。ご覧になったように、RFK暗殺の写真はウェブ上にほとんどありません。ほとんどが削除されています。

私は通過したのか？まだです。JFKジュニアが亡くなったのは1999年と言われている。その日付をもう少し詳しく見てみよう。ケネディ家の3人が大統領選挙の前夜に亡くなったのは偶然だろうか。ジャックは1964年の選挙の直前、ボビーは1968年の選挙の直前、そしてジョンは2000年の選挙の直前に亡くなっている。もし、ボビーが生きていたら、1999年には何歳になっていたのでしょうか？74.1999年といえば、プリンスが権力を握るのに適した時期だから、

それだけでも示唆に富む。そして、その通りになったのである。私は、ボビー・ケネディは1999年に隠れて死んだと提案する。

ここまで私の話に付き合ってくれた人でも、ジョン・ジュニアが911やイラク戦争、軍事法廷法、人身保護法の廃止、愛国者法などの責任を負う可能性があると思えば尻込みするだろう。しかし、なぜそれに躊躇するのか。彼の父親は、あなたが思っているような人物ではありませんでしたし（「影の政府による報道機関へのスピーチ」をもう一度聞いてみてください）、彼の叔父は、あなたが思っているような人物ではありませんでした。

(ジョンソンのように公民権運動を利用して票を集め、自分は素晴らしい人物だと思わせたのです。ジョンソンではうまくいかなかったのに、なぜボビーではうまくいったのか？自分自身に問いかけてみよう。

ジョンソンがもっとイケメンだったとしても、あなたは彼を愛していたでしょう。彼に言い訳をしていたでしょうね)

そして、ジョン・ジュニアは、あなたが思っているような人物ではありませんでした。『ジョージ』誌は進歩的な雑誌だと言われていますが、それはただのホラ話です。しかし、それはただの嘘であり、スターに媚びるような、反動的な政治を行っていただけなのです。実際のところ、ジョン・ジュニアはいつも、司法試験に合格できず、言われたいことは何も知らない、間抜けな金持ちの美少年に過ぎなかったのだ。彼は今、父親のマルクス・アウレリウスに対するコモドゥスを演じている。

それを証明するために、Jr.の "死" をもう一度見てみよう。今回は、写真もフィルムもないが、大量の異常と嘘と不可能性がある。何かは隠蔽されており、場所や形態、隠蔽の他の関係者を考えると、最も論理的なことは、死がケネディ家自身によって捏造されたということである。

ジャックとボビーの時のように、ここでは証拠を調べませんが、JFKジュニアは火葬されたとされていることに注目してください。将来の埋葬を免れるためには好都合である。遺灰も「海に埋葬」されており、非常に珍しい儀式となっています。Jr.は水兵ではなく、海軍に所属したこともなかった。あたかもケネディ家は、遺灰が後になってDNA鑑定されることを恐れているかのように、火葬と海への埋葬の両方を行い、二重の意味で証拠を消し去ろうとしているのである。

それ以上に、ペンタゴンが最初から「墜落現場」と「すべての報道関係」を掌握していたことは、控えめに言っても不思議なことである。陰謀論者はこれを、政府が暗殺に関与している証拠としているが、政府は偽装死にも関与しているだろう。隠蔽工作があることはわかっているが、政府は殺人を隠蔽しているのか、それとも遺体がないことを隠蔽しているのか。もしここで殺人の隠蔽だけを見ているのであれば、死体を隠して火葬する理由はないだろう。例えば、燃料パイプがいじられていたとしたら、政府はその事実を隠すだけでいいのです。遺体を隠す必要はない。疑念を抱かせてしまうので、逆効果ですらある。JFK Jr.を殺害した政府は、彼が死んだ証拠として、すぐに遺体を見せるでしょう。彼らはその事実を隠そうとしているのではなく、宣伝しているのです。彼らは、不正行為の証拠を隠そうとしているだけなのです。

いや、体を使って猫だましをするのは、本当は体がないからだというのが論理的な理由です。ジュニアにもシニアと同じような遊びが見られます。このように、身体を使った奇妙な遊びが行われているのだから、身体があるのかどうかを問うことから始めるべきだろう。

それ以外にも、様々なミスディレクションがあります。ウェブ上では、ブッシュ家がJFKジュニアの死に責任があると提案するいくつかのフィルムがあります。ジョージ・シニアがやったというものもあれば、ジョージ・ジュニアがやったというものもあります。これらは著名なビデオで、911真実のサイトからリンクされていますので、私はそれらを見て、公平に検討しました。これらのビデオによると、ブッシュ家の二人は死の数日前から行方不明になっていて、アリバイがないとかそんなことをほのめかしています。これはあまりにも馬鹿げた話であり、どうやって出版されたのか想像もつかない。このドキュメンタリストたちは、ブッシュ夫妻が実際のトリガーマン、あるいはミサイルマンだったと言いたいのだろうか？あるいは、仮に飛行機に妨害工作があったとして、ブッシュ家の一人が自分でホースを引いたり、線を切ったりしたとでも言うのだろうか。もしブッシュ家がジュニアを殺させようと思ったら、誰かを雇ってやらせることもできたと思う。彼らはお金とコネを持っているかもしれないと聞いています。そのような殺しを依頼するためには、3日間街を離れたり、密かに

国中を移動したり、約束をキャンセルしたり、スパイのように振る舞ったり、自分自身に注  
意を向けたりする必要はありません。電話をかければいいのだ。

ネタバレになりますが、JFK Jr.の敬礼写真も意図的に誤解されています。



写真の中の太陽の位置を見てください。ジュニアは敬礼しているのではなく、明るい太陽から目を遮っているだけなのです。その瞬間のフィルムを見れば、それは明らかだ。静止画でのみ、彼は敬礼しているように見える。

テディ・ケネディはどうだろうか？彼は末弟として取り残されていたのか？それとも、彼は上院議員の連絡係であり、目に見えないマフィアのボスに見える執行者であり、酔っ払って疎外されているふりをしているだけだったのでしょうか？それとも、彼は実際にはキングであり、見えないところに隠れていたのでしょうか？





いや、ボビーは1999年まで生きていて、テディには順番が回ってこなかったのだ。ボビーが亡くなる頃、テディは地下生活に興味がありませんでした。彼は、上院で何もせずに一生を終えたかったのです。しかし、チャパキディックに関しては、もっと多くの手がかりがあります。そこでは、テディは誰かをかばうために落ちこぼれになっていました。1969年の夏、ボビーの偽装死からわずか1年後のことである。Mary Jo

Kopeczneはボビーの選挙運動員で、とても魅力的な女性でした。細くてブロンドで、ボビーの好みにぴったりだった。ボビーと "ボイラールーム"の女性たちと一緒に写っている彼女の写真がインターネット上に掲載されている。他の若い女性たちは居心地が悪そうにしていますが、彼女はとても居心地が良さそうで、妻のようにさえ見えます。おそらく何が起こったかという、パーティでジントニックを飲みすぎたメアリー・ジョーが、ケネディ家は死んでいない、これこそが赦されない罪だと世界に向けて言いふらしたのではないかと思うのです。ボビー自身も「再会」のパーティーに出席していたが、ここはケネディの領域であり、非常に人里離れた保護された場所であったからだ。メアリー・ジョーのようにはなりたくないと思っていたのだから、それも無理はない。メアリー・ジョーが殺されたのは、マリリン・モンローと同じ理由である。セックスが終わった後、薬と酒に任せて黙っていることができなかつたのだ。もちろん、彼女の居場所を変えただけという可能性もある。JFKがMary Pinchot Meyerを地下に潜らせたように、RFKはMary Jo Kopeczneを地下に潜らせたかたつたのかもしれない。

テディは、彼の車を使わなければならなくなるまでは、この事件とは何の関係もなかった。常に存在するスパイ（CIAかシークレットサービス）が彼女を追い込んだが、最後の最後で車を偽装に使うことにしたのだ。しかし、最後の最後で車を使うことにした。Mary Joのヒステリーが土壇場で起こったことから、殺人も隠蔽も土壇場で行われ、よく考えられたものではなかつたと思われまふ。最終的には、テディが責任を取るべきだと判断された。彼にはメアリー・ジョーとの接点がないので、どんなに捜査しても掘り起こされることはない。彼の車がなぜそこにあつたのかを説明すればよく、そのためには彼をただの浮浪者が酔っ払いに見せかけるストーリーを考えたのです。もちろん、テディは車に乗っていませんので、泳いで脱出するなどという馬鹿げたことはしていません。スパイが車を海に落としたのであつて、テディが落としたわけではありません。ケネディとして、彼は事故報告を怠つたことによる強制的な刑を避けることができましたし、家族はその先のストーリーのコントロールを失いませんでした。死体も殺人もなかつたのでしょうから、テディが危険にさらされることはありませんでした。メアリー・ジョーは今でも生きていますかもしれまふ。実際、

[Social Security Death Index](#)で彼女を検索しても、何も出てきません。政府の記録によると、マサチューセツ州では1969年にその名前であつた人はいません。

テディはチャパキディックのせいで1972年の選挙を辞退したのではなく、ボビーが自分が勝つことを恐れ、競争を望まなかつたために辞退したのです。ボビーは、1972年の選挙でニクソンが勝つことを望んでいたのです。ボビーは、1972年の選挙でニクソンが勝つことを望んでいました。報道機関がこれらの人々の行動を決めるのではなく、報道機関が何をするかを決めるのだ。それは当時も今も変わらない。

上院でのテディの「リベラル」な姿勢は、彼自身の意見でも、ケネディ家の意見でもありません。これらのスタンスは、単なるポーズに過ぎません。例えば、テディはバード以外の誰よりも長く上院議員を務めているにもかかわらず、彼の「リベラル」な政策は何の役にも立っていないことに気づくだろう。これは、クリントン時代もブッシュ時代も同じである。不思議なことに、テディのリベラルな政策はどれも実を結んでいません。彼はリベラルであるように見えて、完全な失敗者であるように見える。これは完璧な偽装である。モグラは

いつも正反対のものに化けている。私がこれまでに語ってきたケネディ家の大きな物語によれば、テディは、非常に強力で、非常に有能で、ファシズムに近いほど極端に保守的である可能性が高いということになります。結局のところ、彼は上院で王の目と耳となっているのです。王の目と耳がどれだけリベラルであるか？

テディは1980年にジミー・カーターを相手に大統領選に再出馬したことを覚えていますか？ロジャー・マッドが「なぜ大統領になりたいのか」と尋ねたところ、30秒間の沈黙がありました。このサインを読むには心理学者が必要なのでしょうか？テディは、自分が大統領になるべきではないと知っていたので、答えられませんでした。彼が演じるべきは、都会の黒人、家族経営の農家、製鉄所の労働者を代弁するリベラルな民主党員の役だったのです。

の労働者です。しかし、アレキサンダー・コックバーンが2009年にテディの追悼文の中で指摘したように、ケネディはこうした人々のために何かをしたことはなく、逆に多くのことをしたのです。例を挙げると、労働者にとって最悪だったトラック輸送と航空の規制緩和。NAFTAとGATTは、銀行家を除いたアメリカの労働者すべてにとって最悪の事態でした。憲法修正第1条を無効にする「ヘイトクライム法案」。他のケネディ家と同様に、テディは進歩的なふりをしているだけで、密かにファシズムを推進していたのです。

---

---

そして、いよいよ最後の締めくくりです。ここまで、2代目、3代目のケネディ家の重要人物を見てきましたが、1人だけ例外があります。ジャックの兄、ジョセフ・ジュニアです。彼は最初に大統領になるはずだったと言われていますが、1944年に軍の事故で亡くなりました。今ではほとんどの人が彼のことを知りません。しかし、1944年の事故も他の事故と同様に怪しいものであったことがわかりました。まず第一に、またしても映像化されていた。飛行機の爆発事故で、たまたま後続の小型機がその様子を撮影していたのである。これは単なる幸運ではなく、計画的に撮影されたものである。撮影隊は、爆撃機を空に打ち上げたのと同じ人たちによって空に打ち上げられたのである。つまり、ジョセフ・シニアとRKOスタジオの提供による、もうひとつのハリウッド作品だったのである。もう一つ不思議なのは、遺体が発見されなかったことである。爆発の威力は絶大で、爆撃機は粉々になり、下界のイギリス人の家々に紙吹雪のように降り注いだと言われている。この日、誰かが死んだというのは、またしても彼らの言葉を信じるしかない。ケネディともう一人の搭乗者は、おそらく搭乗していなかったと思われる。爆撃機は遠隔操作されていたので、実際には誰も乗る必要がなかったと認められている。彼らは離陸後、いつでもパラシュートで脱出することができたし、後続のカメラクルーは数秒間パンを撮るだけでよかった。これが怪しくないとしたら、何が怪しいのか分からない。実際のところ、彼らが機内にいる理由はまったくなかった。遠隔操作の爆弾に2人が乗っていたと主張する唯一の理由は、彼らの死を偽装するためだ。爆弾が偶発的に爆発するかもしれないと、ジョー・ジュニアは警告されていたはずだからです。これはもう一つの大きな危険信号です。

これは仕組まれた情報であり、後になって「ああ、彼は警告されていたんだな。大きなリスクがあった。彼はダイナマイトに乗っていたんだ」と思わせるために仕込んだ情報です。偽装事故を計画するなら、事故の可能性が低くないように見せかけるのが一番だ。

また、アメリカで最も裕福な男性の一人の息子を、軍がそのようなリスクの高い状況に置くのかどうかも考えてみてください。ジョー・シニアは当時アメリカで最も裕福な10人のうちの1人でしたが、軍隊が彼の長男をそのような馬鹿げた立場に置く可能性はありませんし、ましてや「志願」させることもありません。軍隊の歴史は壮大な失態の連続であるが、この種のものではない。軍隊がいつも正しいと思うのはこの点だ。金持ちの少年をこのような不条理な状況に置かないようにしているのは、明白な理由がある。ジョー・ジュニアが飛行機に乗る理由はないし、乗らない理由はいくらでもあった。上流階級の少年が危険な状況に置かれることはあるが、それは大きな栄光の可能性がある場合に限られる。ここでは、栄光やヒロイズムの可能性はなく、極めて高いレベルの不必要なリスクがあるだけでした。軍が、ジョー・ジュニアが実際に飛行機に乗ることを許可した可能性はありません。軍は、ジョー・シニア自身の命令の下で、彼がその飛行機に乗っているように「見せる」ことしか許さなかったでしょう。

これは、ジョー・ジュニアのそれまでの軍隊での経験が裏付けている。彼の最初の任務はカリブ海でしたが、ご存知の通り、そこは第2次世界大戦の嵐の目とは言えませんでした。その後、イギリスに派遣されたが、空母には配属されず、「地上勤務」だったと思われる。

その代わりに、パイロットにとって最も危険度の低い任務である潜水艦の飛行を任されたのだ。潜水艦はレーダーを使って高空から攻撃でき、対空砲火もなく、潜水艦が浮上しない限り、対空砲火もない。ジョンのミッションと同様に、ジョーのミッションも水増しされているが、偽のロボット機に志願したことを除けば、ジョーは英雄的なことをしていない。ジョーは偽装死で「死後」に勲章をもらったが、それ以前には何ももらっていない。イギリスに来て1年も経っていないのに、何回潜水艦に乗ったのか、何人殺したのかは知らされていない。

が関わっていた。後にジョンは、ジョーの副操縦士の何人かが死んだと主張したが、ジョーが搭乗している間に殺されたのか、基地での食中毒で死んだのかなど、詳細は不明である。もしジョーが他の人が死んだ中で攻撃を生き延びたのであれば、何らかの形で表彰されていたかもしれない。

もう一つ、ジョーの経歴には怪しい点がある。ウィキペディアによると、ジョー・ジュニアが1942年にマサチューセッツ州知事に立候補するのをFDRが支援するなら、ジョー・シニアはFDRを支援することに合意したという。問題は、Jr.が1941年にまだ26歳で、ロースクールも卒業していなかったことだ。ジュニアは戦争に行くためにロースクールを中退したと言われているが、知事選に出るために中退するつもりだったのだろうか？そうではなく、この話は、1940年頃、シニアがFDRを支持していたと思わせるために仕組まれたものだが、事実は全く逆である。彼はニューディール政策を好まず、金持ちはみな嫌っていた。しかし、セントジェームズ宮廷でのポストを失ったシニアは、再び問題を起こすことができるようになり、その通りになったのです。どうやって？と聞かれると、なぜシニアとジュニアがジュニアの死を偽装する必要があるのか？

その答えは、1933年のモルガン／デュポンのクーデターに遡らなければならない。このクーデターは、スメドレー・バトラー将軍によって阻止されたが、不思議な事実が伝わってきている。議会での宣誓証言によると、共謀者は秘密の方法で政府を乗っ取るようとしていたが、その方法には2つの主な特徴があった。1つは、FDRに病気のふりをさせること。ポリオのおかげで簡単に病気を装うことができ、「国民は簡単に騙せる」というわけだ。彼の苦難の時を助けるために、彼は内閣の新しいポストとして書記長を任命した。

この新しいポストは、大統領の肩書き以外のすべての権限を持つ、アンダー・プレジデント（第2の大統領）として機能することになる。もしFDRがこの計画に同意しなければ、将軍と彼の退役軍人の軍隊が武力で引き継ぐことになる。この経緯はよく知られているが、解説者はほとんど物理的な暴力の脅威に注目している。それ以外の部分については、ほとんど解説されていない。

しかし、私たちが注目すべきは、この計画を構成する2つのポイントである。繰り返しになるが、1) 病気を装うこと、2) 第二の、あるいは影の大統領であること。

**これが、ちょうど1945,数12年後に起きた出来事である。**

私たちは、FDRが死んだと言われているとき、まだ62歳だったことを思い起こさなければならない。確かに、彼は最後には悪い顔をしていましたが、悪い顔をしたければ、悪い顔をすればいいのです。それが一番簡単なことなのです。

FDRがどの60.ように見えたかは、何の意味もありません。1933年の陰謀家たちは正しかった。この問題で人を騙すのは簡単だ。必要なのは、そうしたいという願望だけなのだ。残るは、影の大統領だ。1933年からの10年間に、モルガン、デュポン、ケネディといった金持ちたちは、計画を多少変更していた。影の大統領を設置するよりも、目に見えない大統領を設置した方がはるかに巧妙で便利だ。本物と偽物の2人の大統領がいることに変わりはないが、今度は本物の大統領が地下にいることになる。地下にいる大統領は、影の大統領よりもはるかに優れています。地下にいる大統領は、監視の目を受けることもなく、質問に答えることもありません。その場合、マスコミを買収する必要はありません。マスコミに偽の大統領を延々と追わせればいいのです。

1933年から1945年にかけて、もう一つ重要なことが変わった。ファミリーは、自分たちの仲間の一人を「見えない大統領」のポジションに置くことにしたのだ。1933年には、ヒュー・ジョンソン将軍を大統領補佐官にしようと考えていた。しかし、1945年になると、彼らはより良い方法を見つけた。

見えない大統領とは誰のことだろう？ジョセフ・ケネディ・ジュニア(一人)です。彼は若くて強くて、つい最近「亡くなった」ので、すでに透明人間です。FDRを排除した後、トルーマンの後ろに彼を据えるだけでいいのだ。

では、どうやってトルーマンを捕まえたのか？トルーマンはすでに彼らの部下だったので、「手を出した」のではない。彼らは、1944年のチケットが作られた時に、トルーマンを副大統領に任命したのだ。よく知られているように、トルーマンはFDRの選択ではなかった。FDRはトルーマンをほとんど知らなかった。トルーマンを選んだのは、悪名高いロバート・ハネガンやエドワード・フリンなど、ニューヨーク、シカゴ、セントルイスの政界のボスたちだった。

トム・ペンダーガストが倒れた後、ハネガンはミズーリ州で最も腐敗した男だった。つまり、トルーマンは基本的にFDRの意向を無視して、政治的なマフィアのグループによって選ばれたのです。このことは知られていますが、質問はいつも魔法のようにそこで止まっています。ポリティカルマフィアは食物連鎖のトップではありません。政治は目的ではなく、手段なのです。ポリティカルマフィアは理由があって人を当選させますが、その理由とは金銭的なものです。だから、私たちは彼らの糸を引く強盗団を探すべきだ。J.P.モルガン、ピエール・デュポン、そしてもちろんジョセフ・ケネディ・シニアに注目します。ケネディは、1933年にクーデターに参加していなかったとしても、FDRへの憎しみが頂点に達した1938年以降にクーデターに参加したのは間違いない。しかも、彼は選挙前の1944年にトルーマンと会っていたことがわかっている。<sup>3</sup>1967年のジョセフ・ケーシーとのインタビューで、ケーシーは「ハネガンは、ジョー・ケネディを国内で最も影響力のあるアイルランド人、ジム・ファーマーよりも影響力があると考えていると言っていた。それで、ジョー・ケネディが派遣され、44年にトルーマン（副大統領候補）に会うために岬からやってきたのです。彼は44年のルーズベルトの選挙に役立ったわけです。」

よく読んでみてください。ジョーがFDRキャンペーンに参加したのはトルーマンが参加してからだ。どうやらジョーはトルーマンを当選させることには興味があったが、FDRには興味がなかったようだ。なぜかって？それは、FDRが4期目の6ヶ月間は持ちこたえられないこと、そしてそれによってトルーマンが大統領になることが、（医者ではない多くの金持ちによって）すでに知られていたからだ。もし、計画者たちが自分たちの男を副大統領にすることができれば、彼らの仕事の半分は終わったことになる。彼には偽の大統領のポストと、それに伴う全ての栄光とお金が約束され、自分たちの部下であるジョー・ジュニアが本当の大統領に就任することができる。

1948年の選挙では、トルーマンが真夜中にどこからともなく現れ、3つの州（オハイオ、イリノイ、カリフォルニア）で1000票の差をつけて勝利した。トルーマンが関わっていた政界のマフィア以外に、誰がこのような盗みをやっていることができるだろうか？トルーマンは、当時最大の政治的マフィアであったトム・ペンダーガストと付き合い始め、ペンダーガストが苦境に立たされると、2番目に大きなハネガンに乗り換えたことを思い出してほしい。また、1948年のトルーマンの支持率は30%台で、民主党は3つに分裂し（ウォリスとサーモンド）、議会では新たに共和党が多数を占めるようになり、トルーマンは賢くもなければカリスマ性もなかったことも忘れてはならない。トルーマンは賢くもなければ、カリスマ性もなかった。トルーマンがホイッスルストップ・ツアーで観衆に衝撃を与えたと歴史が書き換えられたが、それは単なるプロパガンダだ。トルーマンは、15ワットの電球に電気を流すこともできなかったのだ。彼は上院議員の座を、電撃的な演説ではなく、投票箱を埋めることで獲得し、FDRの尾行で副大統領、大統領になったのだ。彼の「勝利」が1948選挙での逆転や負け犬の勝利であるという命題を受け入れるのは愚か者だけである。1963年までには、このような見事な国民騙しが行われていたのです。2001.

これにより、トルーマンの「the buck stops here」は、歴史上最大の隠れたジョークの一つとなっている。アメリカの初代偽大統領は、机の上に "The buck stops here" と書いたサインを置いています。この人たちにはユーモアのセンスがあると思います。

また、国家安全保障法は、トルーマン大統領の1期目の終わりに近い1947年に制定されていたことも忘れてはならない。これは、トルーマンの再選を確実にするために、新たに創設されたNSCとCIAを筆頭に、その下に他の秘密委員会を加えた秘密政府を設置することで成立した。国家安全保障法は、戦後の様々な軍事部門の再編成、統合、合理化のためのものとして販売されたが、それは単なる飾りでしかなかった。もっと重要なことは、この法律が、

本物の税金を財源とする本物の政府機関の設立を規定していたことで、地下政府は半合法的に国庫を利用できるようになっていた。地下政府は、連邦税を直接使って選挙を盗み、秘密裏に對外戦争を行い、国内外であらゆる種類の秘密活動を行うことができた。ウォーターゲート事件やイラン・コントラ事件など、何十年にもわたってさまざまなスキャンダルが表面化していることからわかるように、それ以来、彼らはずっとそれを続けてきたのである。

しかし、主に1948年の選挙は、地下大統領を守るために盗まなければならなかったのだが、そのためには1947年の法律が役に立った。1947年の法律がなければ、これらの選挙は個人のお金で盗まなければならなかったが、1947年以降は連邦政府のお金ですべての犯罪を引き受けられるようになったのだ。この時から、政府を乗っ取った億万長者のマフィアたちには、尊敬のオーラが与えられることになった。



そのためには、国庫を利用して、他の安価な窃盗や脅迫に頼る必要はありませんでした。例えば、秘密政府はデューイを買収したり、脅迫したりすることもできただろうが、そのようなことをしなくても済むので、とても効率的だった。十分に狡猾な方法で選挙を盗み出せば、敵でさえ疑わないかもしれない。

だから、地下政府はトルーマンを確信しなければならなかった。彼の再選を確実なものにしなければならなかった。機密保持が第一の防御であり、チームが変わればそれも危うくなる。そのためには、自分の部下に自信を持たなければならない。富裕層は、最初からアイゼンハワーを確信していた。彼を起用し、1960ケネディ家が自分の息子を傀儡の座に就かせたからだ。

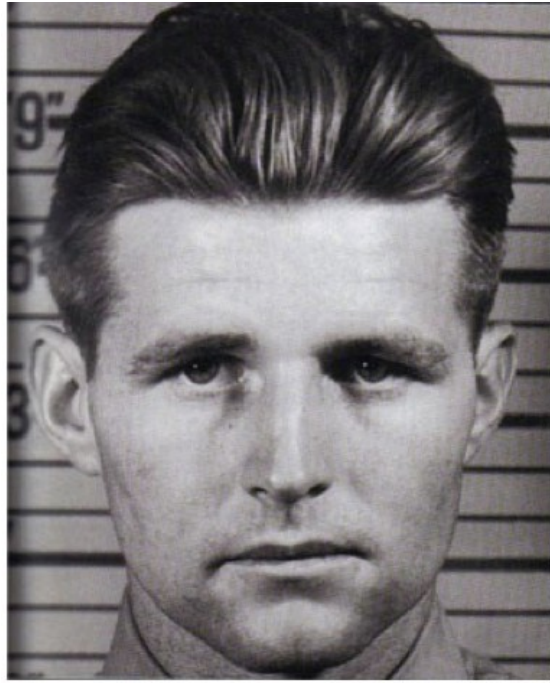
そのため、この部分には1つだけ穴が残っています。なぜ1963年にジョーJr.からジャックに変わったのか？私は、ジョー・ジュニアが20年近くヒドゥン・キングを務め、それに疲れていたのではないかと思う。彼はもうすぐ50歳になりますが、父親の助けを借りても統治することに疲れていました。また、弟とのいさかいにも疲れていました。ジョー・シニアは、息子が王様と大統領の両方の役職に就くのは間違いだと気付いていた（だからこそ、後にボビーはデディに1972年の選挙戦からの撤退を要求したのだ）。最後に、ジョー・ジュニアは頭を下げてジャックに笏を託した。ジョーは、引退して人知れず人生を全うした。このように、アンダーグラウンド・キングであることのもう一つの利点があった。生まれながらの王ではなく、世間の注目を浴びることもないので、いつでも好きなときに引退できるのだ。あるいは、ジョーは1963年に原因不明の死を遂げたのかもしれない。

Joe,

Jr.の話をする前に、他のいくつかの異変に気付いていただきたい。ケネディー族には、ジョセフ・パトリック・ケネディ・ジュニアとジョセフ・パトリック・ケネディ2世の両方がいることを不思議に思ったことはないだろうか？それはどのような仕組みなのでしょう？ジョセフ・パトリック・ケネディ2世は、RFKの息子ということになっています。しかし、すでにジョセフ・パトリック・ケネディJr.がいたのだから、RFKの長男はジョセフ・パトリック・ケネディIIIと名付けられるべきではなかったのか？3人目？結局、彼は3人目のジョセフ・パトリック・ケネディだったのです。この人たちは3まで数えられないのか、それとも何かとても奇妙なことが起こっているのか。

さらに、Joe,

Jr.のWikipediaのページでは、Joe, Jr.は1940年から1944年まで海軍に所属していたと書かれており、数学的な問題があることがわかります。このウィキのページは、ジョー・ジュニアが1941年6月に入隊したとする[History.com](#)のページにリンクされているが、これは奇妙なことである。さらに不思議なのは、ジョー・ジュニアはパープル・ハートをはじめとする7つの勲章を持つ戦争の英雄として売られているが、少し調べてみると、この海軍の顔写真も出てくる。



奇妙なことに、どのバイオグラフィーにもそのような説明はありません。これも不思議なことです。



そこには階級が読めないように偽の影が作られているが、よく見ると少尉となっている。しかし、ジョー・ジュニアはそれまでにハーバード・ローを2年受講したと言われている。彼は3年目を諦めて入隊したと言われている。もう1年待っていれば、中尉として入隊できたかもしれない。なぜなら、彼はプロの男だからだ。職業人の入隊レベルは、陸軍では大尉、海軍では中尉であった。しかし、そうは言っても、ハーバード大学法学部を2年間修了した者として（そしてケネディとして）、ジョー・ジュニアの入隊レベルは少なくともO2であるべきだった。

彼は少尉になるべきではなかったのです。それはともかく、[この写真は1月のものだと思います。](#) 1944.彼は「PB4Yリベレーターのパイロット、VB-

110、イギリス」だったと言われています。また、彼はNaval Reserve（海軍予備軍）に所属していることになっています。これがN.R.の意味である。しかし、ジョー・ジュニアは1941年に入隊し、1942年春には翼を手にしてはいたはずなのに、なぜ1944年になっても海軍予備軍の少尉なのでしょう？1944年の8月には、ジョー・ジュニアは中尉になっているはずで、それが彼の最終階級です。では、1944年1月から8月の間に2回昇進したと考えていいのでしょうか？中尉は少尉の2つ上の階級です。現存する写真は現存する話と一致しない。

ジョー・シニアが長年にわたってRKOスタジオを所有していたことはご紹介したが、ケネディ家とハリウッドのつながりを示す証拠としては、ジャック・ヴァレンティのような人物の経歴を見ればよいだろう。ヴァレンティは、長年（1966年から2004年まで）アメリカ映画協会の会長を務めていたことは、多くの人が知っている。しかし、それ以前に彼が何をしてきたのかは知らないし、覚えていないのである。ヴァレンティは1948年にハーバード大学を卒

業した。ところで、この年はCIAの2年目で、私の最近の論文の多くに関係している。1960年、ヴァレンティの広告代理店は、ケネディ大統領選のキャンペーンを担当していた。ヴァレンティ自身は、ダラスでのイベントのプレス・リエゾンを務めていた。彼は、モーターケードの中にいた。ジョンソンの宣誓式では、背景にヴァレンティの姿が見える。



あなたの左隣に座っている黒い男です。ウィキペディアによると

その後、ジョンソン・ホワイトハウスの初代「特別補佐官」となり、ジョンソン大統領就任後の2か月間はホワイトハウスに住んでいた。<sup>[5]</sup>

それは不思議なことだと思いませんか？それまでの大統領に、広告代理店から住み込みの特別補佐官がいたでしょうか？いや、ヴァレンティはジョンソンの言いなりになって、彼の威厳に媚びていたというイメージがあるが、それはすべて見せかけである。私にはその逆のように見えます。バレンティは秘密政府の連絡係で、ジョンソンが合意事項から少しでも外れないように目を光らせていたのだろう。ジョンソンが2期目の選挙に出ようとしないのは、ヴァレンティの目を気にしてのことだと改めてわかる。

1964年には、ヴァレンティはすでに大統領の議会との連絡役を務めており、「共和党の議会指導者との関係进行处理する責任がある」とされていました。広告マンにそんな資格があるのか？ジョンソンが彼を任命したと言われているが、それはおかしい。なぜ、大統領が広告代理店の社長を議会との関係に任命するのか。

何か意味があるのだろうか？繰り返しますが、ありません。バレンティはCIAの議会監視役で、メモを取り、報告し、最終的には秘密政府の命令を議会に伝える役割を担っていたように私には見える。

1966年、ヴァレンティは突然ハリウッドに配属され、そのままMPAAの会長の座に就いた。そうですか。

ホワイトハウスからハリウッドの重役になったのか？それも、何の資格があつて？ヴァレンティは広告マンだったはずだ。映画の製作や配給について、いったい何を知っているというのだろう。アメリカの企業では、エグゼクティブは仕事をしてトップになるという話があるが、少し調べてみると、決してそうではないことがわかる。一握りのトップは、明らかな資格や経験、合理的な履歴書を持たずにトップの座を転々としているのだ。ただ、どの分野の履歴書にも、CIAとのつながりだけが書かれているようです。

さて、話をケネディ家に戻しましょう。私たちは、一連の改ざんされた写真や証拠を暴いて

いました。そこで、他の有名なケネディ家の写真を見てみましょう。



これは、ジョー・ジュニア、キャサリン、ジョンのはずです。ジョンはすぐに彼らのそばを通り過ぎているように見えますよね？彼らがそこにいることに気付いていないようです。彼はそうしないでしょう、彼らはいないのですから。これは貼り絵です。そのことを端的に証明するために、キャサリンの顔とジョンの顔の光を見ていただきたい。二人ともまっすぐ前を見ていますが、キャサリンの顔はほぼ完全に光っているのに対し、ジョンの顔は半分しか光っていません。ジョンの顔の半分は影になっていますが、**Kathleen**の顔には影がありません。実際の写真ではありえないことです。

では、なぜケネディー族の一見どうでもいような写真までもが捏造されているのかを考えてみるといい。誰も撃たれたり、飛行機から落ちたりしていない時でも、写真は明らかに偽物です。しかし、それ以外にもたくさんあります。そのいくつかを研究してみよう。



ジョー・ジュニアは最後から2番目のはずだ。しかし、彼はそこに貼り付けられてしまった。頭が小さすぎるし、影も合っていない。彼と、彼のすぐ前にいる女の子を比べてみてください。彼女の髪の毛の暗さと、彼の髪の毛の暗さを比べてみてください。一致していません。あなたは、それは彼女の髪が茶色で、彼の髪が金髪だからだと言うでしょう。しかし、それには3つの理由があります。1) ブロンドの影の部分は、ブルネットの影の部分と同じくらいの暗さになる。写真では、2つの髪の色濃さが違うということはありません。2) 彼女の髪の明るい側と、彼の髪の明るい側を比べてみてください。ほとんど違いはありませんよね？では、なぜ二人の髪の明るい側は同じなのに、暗い側は全く違うのでしょうか？3) ジョーはブロンドではありませんでした。前の写真を参考にしてください。

ここにも気持ち悪い貼り紙がある。





あれが本物に見えると思う人はいますか？ボビーを見てください。彼は二次元ですか？ジャックとテディの間のスペースに、Y次元を占めることなく収まっているのが不思議です。彼の全身の厚さは1インチしかないと思います。

そして、もうひとつ。



その写真には多くの重大な異常があるが、中でも最悪なのは、やはりジョー・ジュニアだ。一見して、彼が貼り付けられていることは明らかである。なぜ長男があんなに横にいるのか？なぜ彼のスーツの右襟はジョンのものとまったく同じなのか？なぜ彼の影は他の人より2トーン明るいのか？この写真は、非常に解像度が低い状態で再掲載されていますが、ジョンも、ローズ（ジョンとジョー・ジュニアの間にいる女性）も、貼り付けられていると言っているでしょう。頭に後光が差しているのがわかるだろうか。そして、なぜ母親が最後尾にいるのか？

こちらも偽物です。



その証拠に、もう一度髪の毛の毛を見てください。Joe, Jr.の髪とJohnの髪を比べてみてください。影の部分が一致していませんね。全然違いますね。また、二人の顎の下の影を見てください。これも最低でも2シェードはずれています。

そしてもう一つ。



明らかな偽物で、誰も騙せないようなもの。Johnが一番明らかに貼り付けられていますが、全部そうだと思います。人物の周りの線はどれも正しくありません。

一見すると説得力のある家族写真です。



しかし、Joe,

Jr.はどこにいるのか？説得力があると言っても、ここにもローズが貼り付けられている。彼女の顔の照明が他の写真と違う。

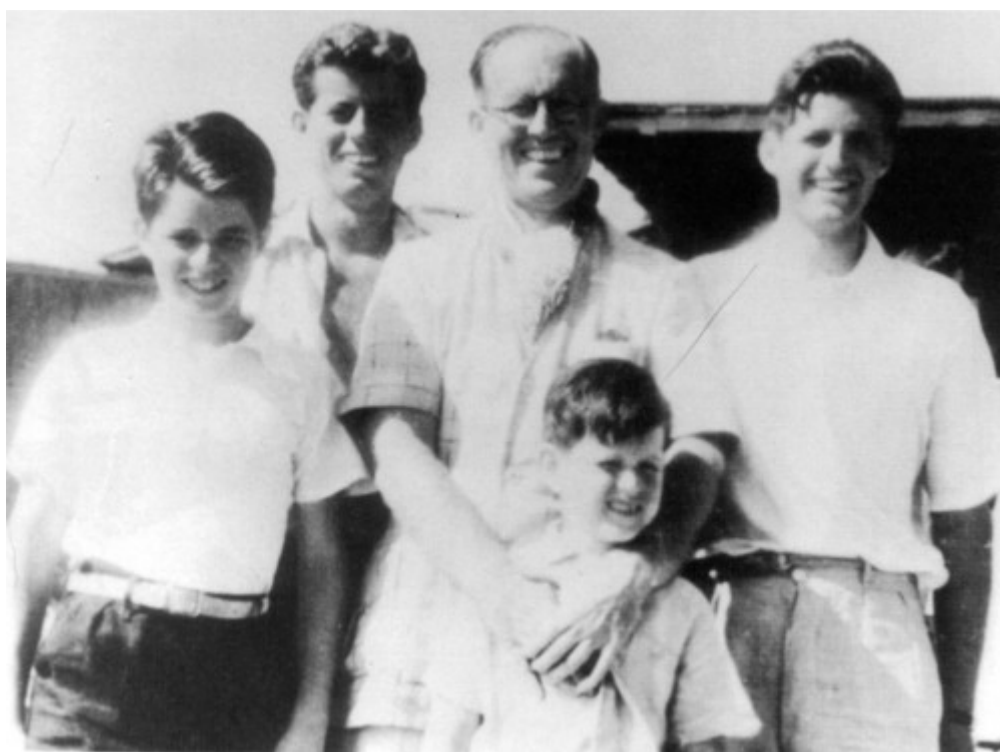
首よりも顔の方がはるかに白く見えるでしょう？これは貼り付けられたことを示しています。

これはJoe, Jr.の写真ですが、ここでもJoe, Jr.の貼り付け方が非常に下手です。



影の研究をするまでもなく、彼が貼り付けられていることは一目瞭然だからだ。彼の頭は、隣の女性たちの頭よりも小さいのです。また、他の人たちが白い服を着ているのに、彼は暗い色を着ています。彼はメモを読んでいなかったのでしょうか。ローズも貼り付けられていると思う。なぜ彼女はいつも後ろの列にいるのだろうか？彼女はJoe, Sr.の隣にいるべきではないでしょうか？

そしてもう一つ。



また、JohnとJoe,

Jr.の影が一致していない。これは、他のものよりも良い偽物で、解像度が低いために問題のほとんどが隠されています。しかし、彼らのあごを見てください。Joe, Jr.はJohnよりも少しだけ太陽の方を向いています。彼のあごはもっと影があるはずだが、影が少ない。

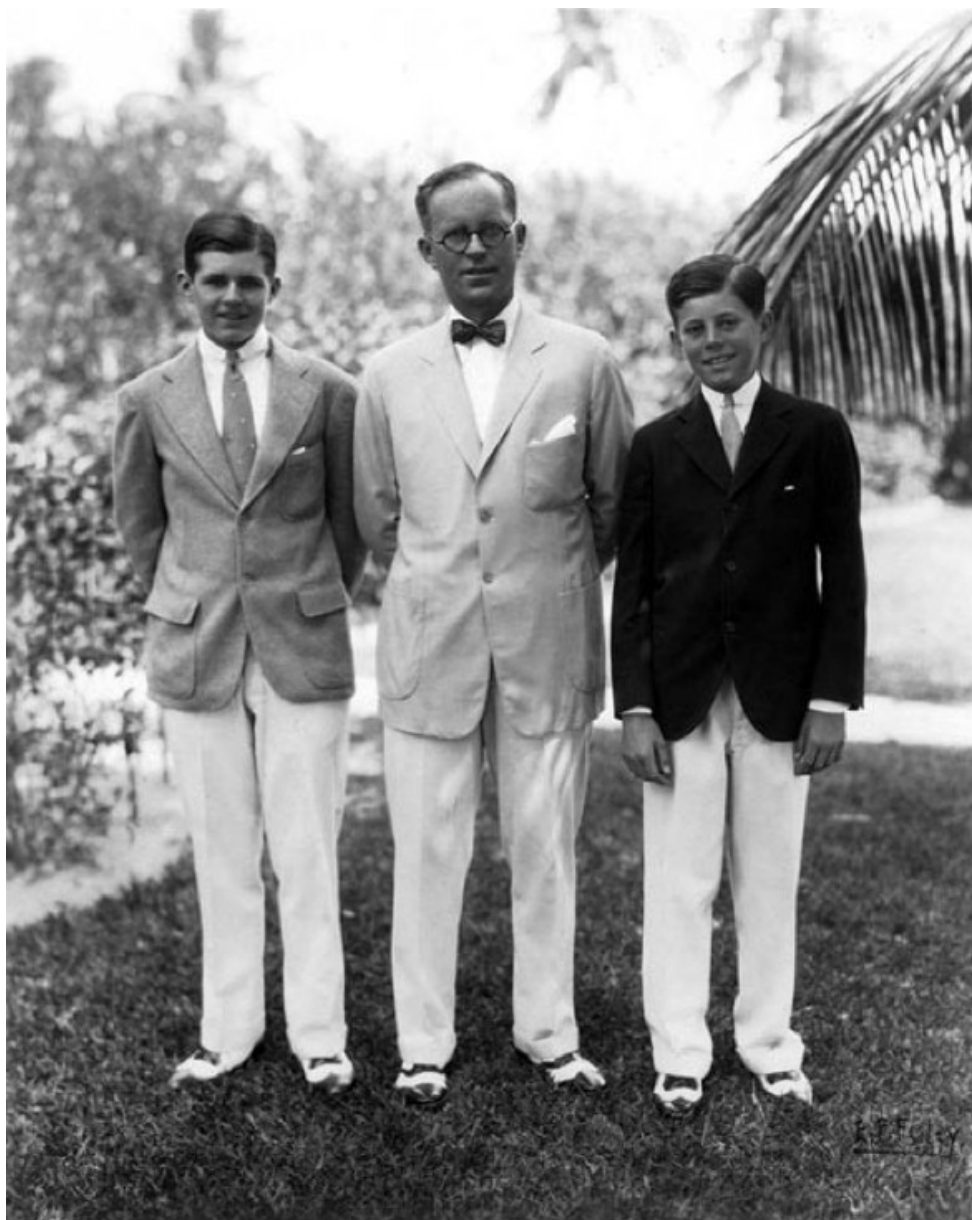
彼の顔の他の部分も同じで、ジョンの顔よりも真ん中にライトが移動していますが、本来はもっと少ないはずです。

ジョンはこの作品に貼り付けられたのだと思います。そしてこれも。



あれは左から右までずっとおかしい。なぜ足だけがこんなに暗いのか？  
赤ちゃんは真っ白なのに？でも、ここではジョンとジョーにこだわってみましょう。あごの下の影を見てください。ジョンは明るく、ジョーは暗くなっています。二人は一緒にいなかったのです。

この有名なものはどうでしょうか？



フェイクです。3つのヘッドはそれぞれ照明が異なります。Joe, Jr.は左上からの照明。Joe, Sr.は上から照明を当てています。Johnも上から光を当てていますが、光源がより手前にあるため、他の2人のように素早くトーンを変えることができません。それは、Joe, Jr.の眼窩の影を見るとよくわかります。次にジョンの目を見てください。Joe, Jr.の白目は見えませんが、Johnの白目は見えます。Joe, Jr.の頭はまたしても小さすぎる。3人の頭はすべて貼り付けられていると言っても過言ではない。また、ジョー・シニアの小ささも気になる。私は彼が5フィート3インチだと読んだ覚えはない。真ん中の男は、11歳の子供よりも頭が半分だけ高い。

そしてもう一つ。



右端にいるのはJoe, Jr.のはずです。しかし、彼はまたしても貼り付けられてしまった。他の人のように頭の上にハイライトがないし、頭も小さすぎる。ローズもこの写真に貼り付けられている。彼女の鼻に注目してください。なぜ彼女だけが白い鼻をしているのか。それは、彼女の写真を別の光で撮影し、この写真に貼り付けたからです。

これはどうでしょう？





偽物です。ジョンの頭はジョーの頭よりも2トーン明るい。また、ジョーの脚を見てください。どうなっているのでしょうか？パンティホースを履いているとでもいうのだろうか？

そしてもう一つ。



あれはジョーとジョンのはずだ。二人が一緒にいるような気がしませんか？私はそうは思いません。ジョーは明らかにあの背景に貼り付けられています。非常にお粗末です。

ケネディ家がジャック・ロウの写真をワールドトレードセンターから盗む必要があった理由がわかった。ケネディ家の写真はすべて偽物です。

では、なぜジョーとジョンを一緒に貼り付けているのか？実際に一緒に写っている写真がないからではないでしょうか。では、なぜジョーとジョンが一緒に写っている写真がないのでしょうか？よくわかりませんが、ジョー先輩には2つの家庭があったのではないかと思います。ジョー・ジュニアは他の "一族"には見えません。目も眉毛も他の兄弟とは違って、傾きも違うのです。彼は、他の誰よりも母親のローズによく似ている。2人の目は同じで、目尻が下がっていて、眉毛も他の子供たちのように上向きではなく、下向きになっています。これが、彼とローズの両方が写真に貼り付けられている理由だろう。連続性を持たせるために、ジョー・シニアは二人を古い写真に貼り付けさせたが、そこには二人はいなかったのである。

このことから、Joe, Jr.はJoe, Sr.とRoseの一人息子だったのではないかと考えられます。上の写真はジョー先輩が他の家族と一緒に写っているもので、ローズとジョーJr.は後から貼り付けたものである。ローズは他の家族と一緒に写真を撮ることを許さず、ジョーJr.も一緒に写真を撮ることを許さなかった。しかし、ローズが他の家族の母親でないとしたら、誰が母親なのだろうか？兄弟を見ていると、"いろいろな女性"と言わざるを得ない。男の子たちを見てみると、そのバリエーションの多さに驚かされます。ジャック、ボビー、テッドの3人は、上の写真のように似ても似つかない顔をしています。

これにより、1944年にジョー・ジュニアを地下に潜らせることが容易になったのである。一族の一員ではないので、彼らは彼を見逃さないだろう。その逆である。逆に、彼がいなくな

るのを喜んでいたのかもしれない（彼のことを知っていたとしても）。ジョンは、1963、ジョーが退位（または死）を決意するまで、ジョー・ジュニアが自分の下で統治していることを知らなかった可能性さえある。

それを知ったジョンは、あなたと同じようにショックを受けたかもしれません。

ロバートが後に長男をジョセフ・パトリック・ケネディ2世と命名したのも、すでに2人目のジョセフ・パトリック・ケネディがいたという事実を無視していたからかもしれない。JPK IIは1952年に生まれました。私は、ロバート・ケネディが家族に対して、ジョー・ジュニアは家族の一員ではなかった、だから数えられない、と主張していたのではないかと思います。ロバートは1952年当時、現在のようなことは知らなかったかもしれませんが、本当の血統についても知らなかったかもしれません。長男の名前をつけることで、彼は単に父親と密接に結びつき、ジョー・ジュニアの名前を盗むことで彼を葬ろうとしたのです。

---

---

最後にいくつかの質問にお答えします。誰かが私に質問するかもしれませんが、なぜ一兆万長者の陰謀団が、ジョー・ジュニアを王として秘密の玉座に座らせることに同意するのでしょうか？あの子はまだ30歳そこそこだったからだ。私が主張するように、モルガン、デュボン、ケネディのクーデターが1945年に成功したとしたら、なぜ老人たちの誰かが王にならなかったのか？それは、トップがみんな年を取っていて、誰かが死んだときに内輪もめをする可能性を考慮しなくなかったからではないでしょうか。例えば、ジョー・シニアが隠れキングになり、数年後に亡くなったとします。そうすると、後継者争いが起きてしまいます。それを避けるために、若い人を王位に就かせるのです。しかし、なぜケネディなのか？なぜモルガンやデュボンではないのか？

まあ、ジョー・ジュニアだけが隠れキングではなかったのかもしれない。ケネディ、モルガン、デュボンの息子が一緒に支配している三頭政治やその他の寡頭政治があったのかもしれない。その説を検証するために、モルガンとデュボンの息子を調べてみた。モーガンについては何も見つかりませんでした。デュボンについては見つけました。1944年頃に死亡したデュボンの男性を検索しただけなので、とても簡単でした。リチャード・チチェスター・デュボンは

1943年後半に死んでる他には？[彼は飛行機事故で死んだ](#)他には？墜落したのはマーチ・フィールドという陸軍基地で、またしても不可解な状況で起こった。デュボンは32歳、ジョー・ケネディ・ジュニアとほぼ同い年で、アメリカ空軍長官ヘンリー・H・アーノルド将軍の特別補佐官を務めていました。他に知っていることは？彼は9月11日に亡くなりました。トワイライトゾーンの音楽が流れます。

このことは、私の仮説をもう一度裏付けるものであり、モルガン家をより深く分析すれば、その関連性が見つかるのではないかとと思われる。しかし、系図サイトでは、特にJ.P.モルガンの曾孫に関する情報を精査していたようで、ミスディレクションの痕跡を発見しました。ジョセフ・ケネディとリチャード・デュボンだけがヒドゥン・キングだったとは思わない。ジョセフ・ケネディとリチャード・デュボンだけでなく、モルガンもいただろうし、ロックフェラーもいたのではないかと思います。

そのことを念頭に置いて、ロックフェラー家に関する最近のニュースを読み返してみるといいだろう。デイビッドの息子であるリチャード・ロックフェラーは、2014年6月13日に飛行機事故で亡くなったと言われています。注意してほしいのは、[飛行機事故だ](#)。このようなことがあるのです。それがシグナルです。日付もシグナルです。6月13日です。この日付は、私の

前の論文 ([シンプソン裁判について](#)) ですで見ることがある。O・Jがニコール・シンプソンを殺害したと言われているのが6月13日である。ペンタゴン・ペーパーズが最初に発行されたのも6月13日である。ミランダ事件の判決は6月13日である。カタリナ事件は6月13日だった。リンドバーグのパレードは6月13日である。6月13日は聖アンソニーの日です。聖アンソニーは迷える人々の聖人である。

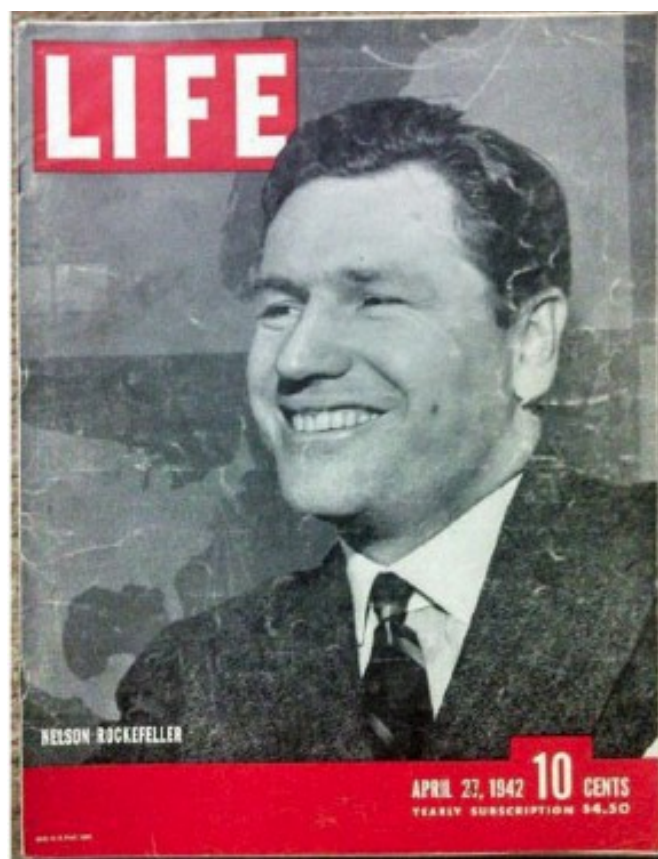
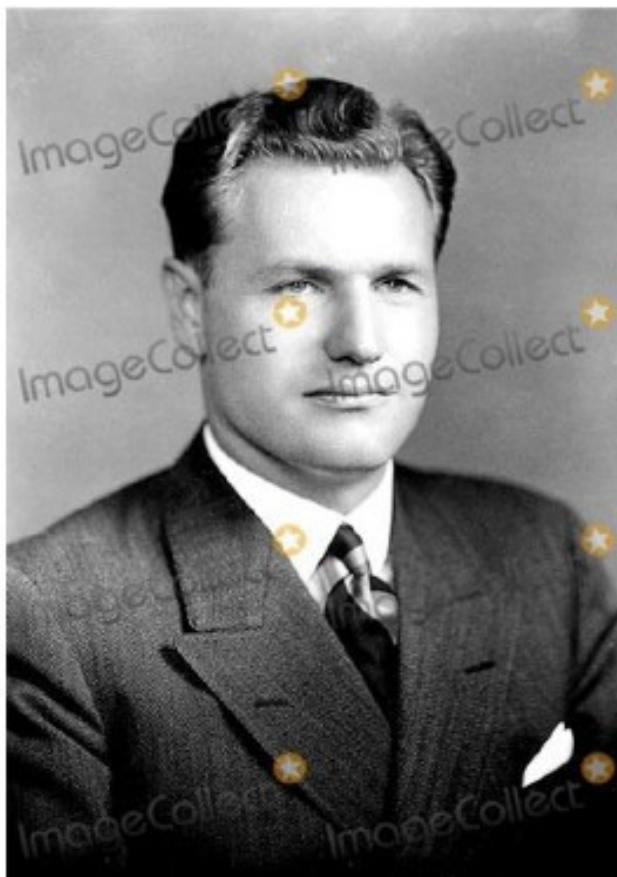
これは、リチャード・ロックフェラーが目に見えない者たちの仲間入りをして、隠れた王座に就く時が来たということだと私は思う。しかし、彼はどんなロックフェラーに代わったのだろうか？それも答えられる。マイケル・ロックフェラーは、1961年に謎の失踪を遂げた。彼の遺体は発見されなかった。彼はネルソン・ロックフェラーの23歳の息子だった。マイケル2014,であれば、彼76.は

何53年も支配していたようです。

では、1945年から1961年まで統治していたロックフェラーは誰でしょうか？私はマイケルの父、ネルソン・ロックフェラーを疑っています。ネルソン・ロックフェラーは後年、政界で活躍したと言われるでしょうが、それは事実です。しかし、私にはロックフェラー家が他の人たちとは違うスキームを使っていたように見えます。他の人たちは死を偽装したのに対し、ロックフェラーは二重に使ったのです。

その証拠に、彼の経歴を見てみよう。1945年に大きな変化があった。トルーマンは、この年にネルソン・ロックフェラーを国務次官補から解雇し、ロックフェラーはワシントンを離れたとされている。その後、1945年から1958年まで、ロックフェラーは様々な諮問委員会に所属し、驚くほど平凡な生活を送っていた。これらの役職には、替え玉が簡単に就くことができた。特に、替え玉はまだ一族に支配されていたと考えられる。一方、1961年になると、より強力な証拠が出てくる。ロックフェラーの妻は1962年初頭に離婚し、ロックフェラーは1963年に再婚した。彼女は再婚しなかった。もちろん、これは私たちが予想していたことである。私は、本物のロックフェラーは1961年に亡くなったと提唱しているので、メアリー・クラークは、もはやこの茶番を続ける必要性を感じなくなり、番組から引退したのである。

1945年以前のネルソン・ロックフェラーの写真はほとんどありませんが、見つかったものは、後のロックフェラーとは一致しません。



いずれにしても、アメリカ史でおなじみのネルソン・ロックフェラーとは思えないほどだ。左頬のほくろに注目してください。後のロックフェラーにもそのようなほくろがあったと言われているが、問題は後のロックフェラーには茶色いほくろではなく、盛り上がったほくろ

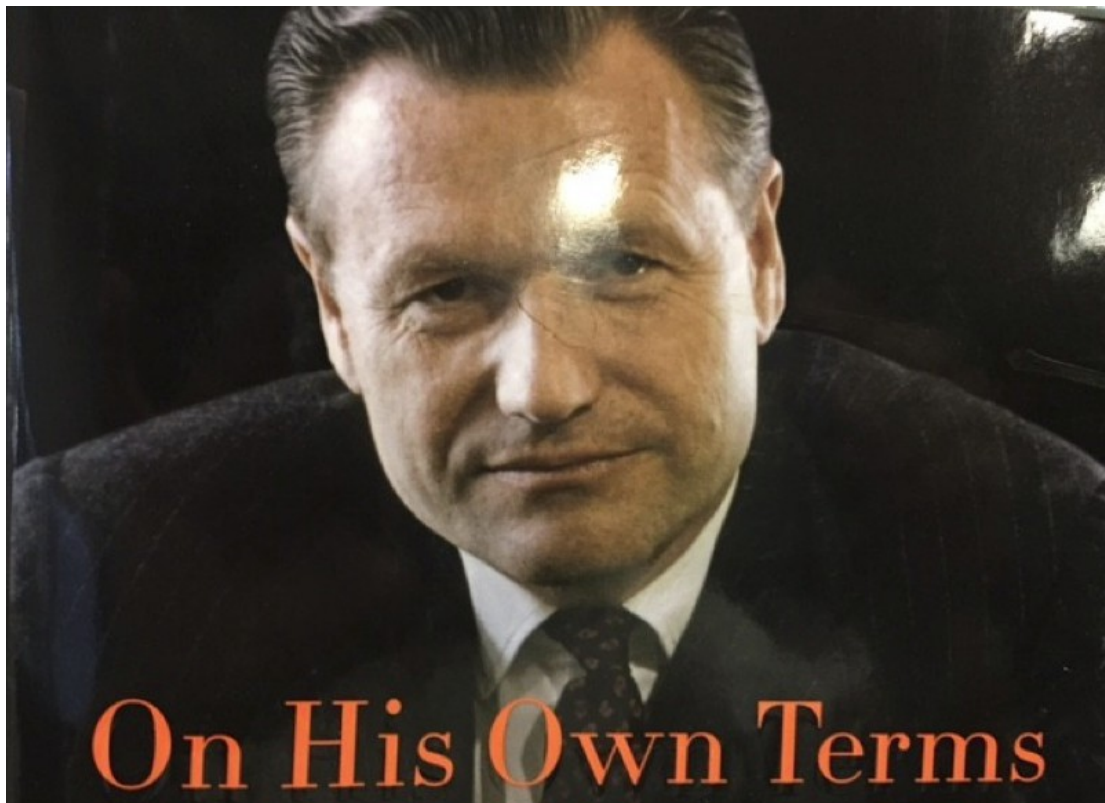
があったということです。上の2枚目の写真のものは、後のロックフェラー（あるいはそのうちの一人、何人かいましたが）に合わせて鉛筆で書き込んであります。

倍) になっています。また、2枚目の写真では、もう2つのことに気がつきます。歯に気をつけて、口の下の傷に気をつけてください。傷跡がないと言われるでしょう。その通りだが、あるはずだ。後のロックフェラーには、口の下に目立つ傷跡がありました。

傷跡、ほくろなし。



盛り上がったほくろ、茶色ではない、傷がない。

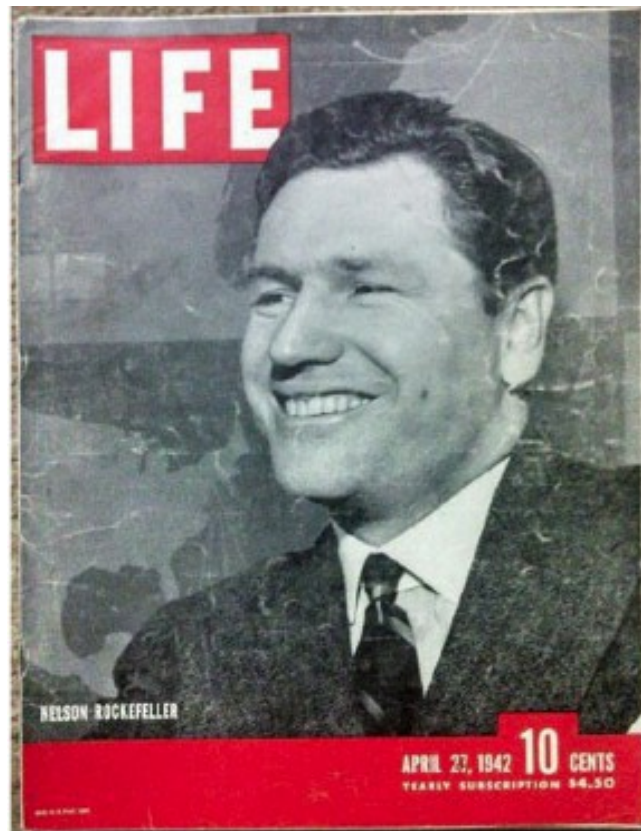


歯については？



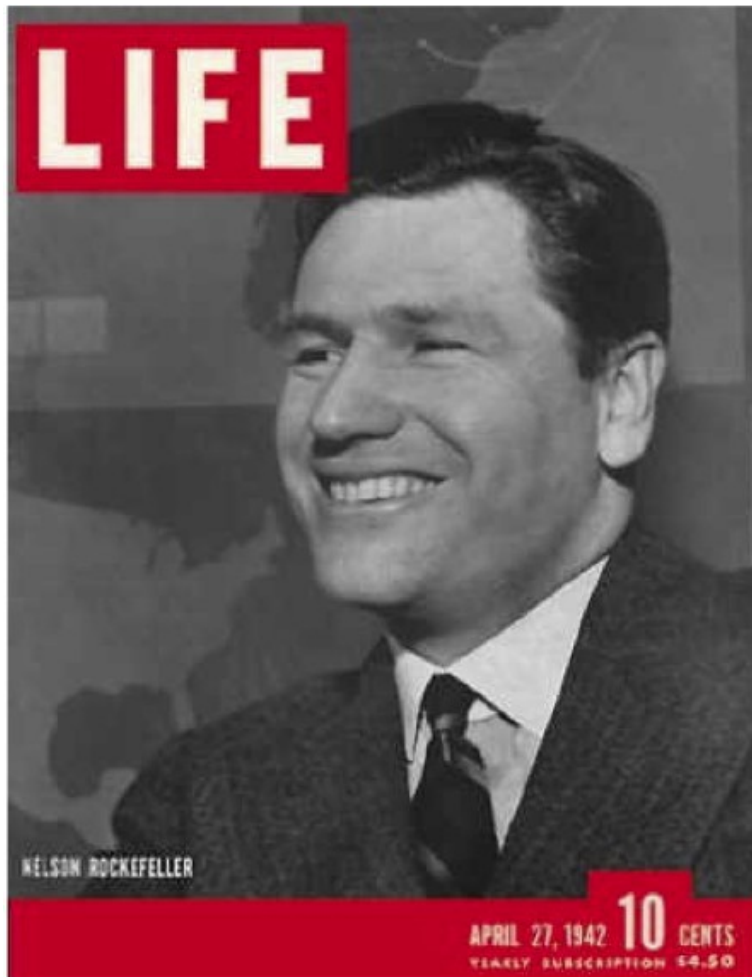


まず、傷はあってもほくろはない。そして、顔の左側（あなたの右）の第一歯と第二歯の間に大きな隙間があること。ネルソン1942・ロックフェラーと比較してみてください。



ギャップがない。

モグラが鉛筆で描かれていたことを証明したい？



それをフォトショップで加工したんだよ

ね？いいえ、  
インターネットで入手し  
リンクは

ました  
こちら：

<http://imgarcade.com/1/rockefeller-1953/>

また、LIFEタグが頭の前にあります、前作では頭の後ろにありました。これは手を加える前のオリジナルの画像ではないかと思えます。それがなぜか残っているのです。

ネルソン・ロックフェラーが死を偽装したことをさらに示すために、彼の[死についての主流の説明](#)を見てみましょう。この1979.説明は、矛盾と明らかな偽装に満ちています。彼の死については複数の矛盾した証言があり、検死は行われず、急いで火葬され、警察は目撃者に質問をしていません。主な目撃者であるミーガン・マーシャックの身元も確認できず、年齢も本名もその後の人生も不明で、発見できないようになっている。家族のスポークスマンであるヒュー・モローは、当時のジーン・ローゼン（サンディフック事件のデマを参照）のような存在で、あまりにも矛盾した証言に巻き込まれたため、家族は彼に口止めをした。その後の理論家たちは、この混乱を利用して、ロックフェラーが愛人と一緒にいたとか、あるいは殺害されたとかいう説を唱えているが、私は、解剖が行われなかったことと、すぐに火葬されたことから、遺体はロックフェラーではなかったと考える。替え玉だったのだ。

しかし、ケネディ家の話に戻りましょう。この兄弟の間で3件の偽装死があれば十分だと思うだろうが、さらにもう1件あるのだ。

JFKの妹キャスリーンも、兄のジョーと同様に飛行機事故で死亡したと言われている。彼女はジョンより3歳年下で、仲が良かったと言われています。彼女は1948年、28歳で亡くなったと言われている。ジョーが殺されたと言われてからちょうど4年後のことである。1948年といえば、トルーマンの唯一の当選期の始まりでもある。私の分析では、キャサリンの死は他の死と同様に偽装されたものだと思われる。彼女は再婚していたし、おそらく子供も生まれようとしていたので、単にスポットライトから消えたかったのではないだろうか。その証拠はあるのか？父親以外の家族は誰も葬儀に来なかったし、父親はすでに死亡した場所であるフランスにいたから来ただけだ。

その可能性は高いと思いますか？私はそうは思いません。大家族の最愛の子供が死んで、誰も葬儀に来ない？メアリー・リンカーンがエイブの葬儀に行かなかったのと同じ理由で、エイブがいないことを知っていたから来なかったのではないのでしょうか。

ケネディ家がこれらの死を偽装していたとは思えないという人は、彼らが長女のローズにロボトミー手術を施すことに抵抗がなかったことを思い出してほしい。彼らは、23歳の時に医師にバターナイフで前頭葉をかき回させ、植物人間にしてしまったのです。これは「彼女が手に負えなかった」からです。これは、IQが低いために、生涯にわたって切り刻まれ、施設に収容されなければならない人のように見えますか？



いや、そこにも私たちが知らされていないことがある。

私は最後に一つの予言をします。2020年までに、ジョン・F・ケネディ3世を名乗る人物が登場し、それを証明することができると予言します。彼は20歳くらいで、父と祖父が殺されたために、安全のために「地下」にいなけなければならないと説明するでしょう。もちろん、彼はすぐに有名になります。彼はすぐに有名になり、しばらく脚光を浴びた後、飛行機事故のような不可解な状況で亡くなるでしょう。

この予言には超自然的な力は必要ないことがお分かりいただけだと思います。占いや靈感ではなく、この論文に見られるような論理によるものです。

"待てよ、JFKジュニアがまだハイニスポートのケネディコンパウンドに住んでいるって言うのか？"

と言うでしょう。はい、他の場所にも住んでいます。そのうちの一つがチャパキディックです。その証拠に、なぜ歴代大統領はいまだにマーサズ・ヴィニヤードで休暇を過ごしているのかを考えてみてください。毎年、オバマ大統領はそこに休暇に行きます。なぜそんなことをするのか？そこでは、島全体で黒人はおそらく彼だけです。

黒人の家族がよく利用するリゾート地ではありません。また、何の理由もなくマーサズ・ヴ

イニヤードを訪れる大統領はオバマ氏だけではありません。クリントンは、マサチューセッツ州やケープコッド、島とは何の関係もないのに、そこで「休暇を過ごした」ことで知られている。実際、ケネディ以降のすべての大統領は、在任中にマーサズ・ヴィニヤードで休暇を過ごしたり、訪問したりしており、たいてい年に1度のペースで訪れています。彼らは皆、そこで何をしていると思いますか？

## Martha's

Vineyardを調べれば、誰もが多くの赤旗を発見するでしょう。ジョン・ベルーシが「死ぬ」直前にマーサズ・ヴィニヤードに家を買ったことをご存知でしょうか？現在は弟の名義になっているので、まだ家族のものです（ただし、ジムはそこには住んでいませんし、そこで過ごすこともありません）。不思議ですね、あなたも認めると思いますが。マーサズ・ヴィニヤードは、本土と橋やトンネルでつながっていない、東海岸最大の島だということをご存知ですか？橋やトンネルを作る余裕がないのでしょうか？

チャパキディックに行くにはフェリーに2回乗るか、ヘリコプターで行かなければなりません。

テディは事故の夜、チャパキディックで「パーティを開いていた」と言われている。誰の家で？それはわかりません。しかし、パーティを去るとき、テッドは「運転手のクリンスに母親の車のキーを要求した」と言われています。つまり、彼の母親の車はパーティーにあったということです。Roseがパーティーにいたとは聞いていませんが、なぜ彼女の車がそこにあったのでしょうか？もし彼女の車がそこにあったのなら、パーティーはチャパキディックにある別のケネディの屋敷で行われていたと考えなければなりません。時間をかけて、そのことを理解してください。

これで、私は終わります。私のタイトルを理解していただけでしょうか。これは1つの派閥が他の派閥を倒したのではありません。これは革命です。これは秘密裏に成功した半共和国の弱体化と転覆であり、オリガルヒのファシスト同盟によるものだった。そして、これはほんの一握りの家族が数世代にわたって寡頭制を支配していたに過ぎない。これを可能にしたのは、映画の最新技術を駆使した完璧なプロパガンダだった。このように、シナトラのハリウッドとのつながりは、ケネディ家にとってマフィアとのつながりよりも有用だったのかもしれない。あるいは、テート事件に関する私の論文をお読みになった方はお分かりになると思いますが、この2つのつながりは、実は同じだったのです。その頃、連邦政府はとっくにマフィアとハリウッドの両方を買収し始めていた。ジョセフ・ケネディのハリウッドとの継続的なつながりも重要だった（彼は戦時中にRKOスタジオを設立したことを覚えている）。ケネディ家は彼らを通じて、最先端の特殊効果、心理的な裏切り、フィクションを事実として売るためのあらゆる方法にアクセスすることができ、映画産業は支配エリートの最も危険な道具のひとつとなった。モーガン/デュポン/ケネディのクーデターを成功させたのは、他のクーデターが失敗したのと同じように、このツールがあったからだ。そして、計画者たちがケネディを参加させた主な理由は、ハリウッドとのつながりと、出来事を偽装する能力にあったのではないかと思う。20世紀で最も影響力のある重要な映画は、「風と共に去りぬ」でも「スターウォーズ」でもなく、現実の「ゴッドファーザー」、別名「ケネディ暗殺」であり、アカデミー賞ではジョー・ケネディとジャック・ケネディが最優秀脚本賞、最優秀美術監督賞、最優秀製作賞、最優秀演出賞、最優秀俳優賞、最優秀生身の人間が死人を演じる賞を受賞しているのである。

ここでようやく、地下に潜った理由にたどり着く。推論を排して統治するため、秘密を守るため、そして究極の影の政府を作るため、と前述しました。しかし、まだ述べていない4つ目の理由があり、前の段落がそれにつながるのです。先ほど、この半世紀の間に、政府がすべてのモブやマフィアを買収して、その利益を奪ったことを思い出しました。ジョセフ・ケネディは何十年もマフィアに関わっていて、ある時、十分な力があればアメリカ全体を乗っ取ることができると考えました。しかし、それには連邦政府の力を借りなければならぬと考えていた。そのためには、CIAやFBIはもちろんのこと、司法省や必要に応じて軍隊も必要で

あった。大統領と司法省のトップの座を手に入れた彼は、すぐに行動に移すことができた。1960年、FBIやCIAの支援を受けて、マフィアの完全買収が本格的に始まった。しかし、1963年になると、戦争が最も過熱し、マフィアはケネディ家への逆襲に全力を尽くしていたのである。これこそが、CIAとFBIが偽装事件後の数年間にマフィアを巻き込もうと必死になった理由である。<sup>5</sup>マフィアがJFKを捕まえようとしている証拠が実際にあったので、その証拠をリークするのは簡単でした。しかし、マフィアは決して近づきませんでした。偽装暗殺は、マフィアを騙すため<sup>6</sup>、マフィアに罪を着せるため、そして戦争に勝つまでジョンを視界に入れないために使われたのです。

私が言うように、これは1963年に地下で大統領の座を奪った数多くの理由のうちの1つに過ぎない。様々な億万長者が何十年も前から影の政府を作ろうとしていたが、成功の度合いはまちまちだった。ジョセフ・ケネディだけが成功した。彼はすでに長男のジョーをトルーマンに次ぐ影の政府の代表に据えていたが、40年代後半から50年代にかけて、ケネディ家はこの影の政府の支配権をめぐる他の有力な一族と争っていた。本稿では触れませんが、1945年から1960年にかけてケネディ家の支配力は確固たるものとなり、JFKとRFKがトップの座に就いたのです。この時、ジョセフ・シニアは自分の地位と同盟関係に十分な安心感を得て、マフィアの買収を加速させました。10年以内に、マフィアのビジネスはすべて、提携している億万長者のファミリーに吸収された。

これにより、一族はさらに豊かになり、それに伴って銀行も肥えて拡大し、CIAも同様の理由で拡大していった。1970年代になると、これらのファミリーはこの拡大を利用して、議会を完全に圧倒し、議会を永久に名誉ある地位に置いた。そして1980年には、一族はビジネスだけでなく、政府までも乗っ取ることに成功しました。すべての決定は、ケネディ家とそうでない家系の影の知事によってなされた。

このようにして、ケネディ家はロックフェラー家よりもさらにステルス的に前進することができた。ロックフェラー家が主張しているよりもはるかに金持ちで強力であることを知っている人は少ないが、ケネディ家がさらに金持ちで強力であることを知っている人はほとんどいないのである。このような進歩を可能にしたのは秘密主義であったので、現在の知事やスパイが秘密主義と嘘を売り物にしている理由がわかる。彼らの視点から見ると、それは非常にうまく機能しているように見える。ケネディ家は死んだことになっているので、ボヘミアン・グローブのリストやビルダーバーガーのリスト、CFRのリストなどにも登場していない。ケネディの秘密は、すべての中で最も深く、最も暗い秘密のままである。

問題は、なぜこのような「深くて暗い秘密」を明かしても大丈夫なのかということだ。乗っ取りがあまりにも完全に成功しているため、この人たちはあなたや私から何も恐れることはないのです。私たちのような人間は、好きなように考えても構わないというところまで来ています。アメリカの一般市民や知識人から革命が起こる可能性は微塵もないのだから、私のような人間に嫌がらせをしても逆効果だ。彼らは、私に手を出せば、私の主張を支持することになることを知っています。彼らが反応しないのは、反応する必要がないからです。インテリゲンチヤはいませんから、「インテリゲンチヤの粛清」はもう必要ありません。それは過去のものであり、玉石混交や蛭子細工のようなものです。あるいはアートのように。

言ってみれば、クマはクマ同士で、ワシはワシ同士で戦う。しかし、クマやワシは、わざわざイモムシやチョウに喧嘩を売るようなことはしません。彼らには他に心配事があるからだ。兆円単位の大金持ちの家庭は、今でも心配事がないわけではありませんが、彼らが心配しているのは、私のような真実を語る者ではありません。真実を聞く耳を持っている人は、もうほとんどいない。過去には、大いなる嘘を維持することに関心がありましたが、今では、それは予算の一部に過ぎません。それは、彼らが自分たちの記事をリークしていることからわかりますが、それは、しばしば単なる刺激でしかありません。真面目に必要な事業として始まったものが、今ではただのゲームになってしまったのです。

彼らはもう真実を心配していません。彼らが心配しているのは、他の大富豪の家族や、ときには悪徳銀行員や元大将のことだと思えます。物事はまだ起こる可能性があります、草の根レベルでは起こらず、いずれにしても耳にすることはありません。実際に起こった出来事のニュースを聞くことは二度とないだろう。それを知るには、揺れを監視するしかありません。

ん。そのためには、先に述べたように、100万個の嘘をふるいにかけて、一粒の真実を見つけなければならない。ほとんどの人は、わざわざ手間をかけてまで真実に興味を持ちません。たとえ、あなたがすべての嘘をふるいにかけてくれて、無料で渡してくれたとしても、ほとんどの人は真実に興味を持ちません。



この論文は、2008年か2009年に最初に書かれたものだと思っていました。というのも、以前住んでいた家で書いた記憶があったからです。しかし、さらに調べてみると、初稿は2007年12月に書かれていたことがわかりました。その証拠に、論文の中には「44年前の出来事」と書かれています。当然、2007年には書いていなければならないし、1年以内2008年にはインターネットで論文を公開していたのだが、それが2008年だったか2009年だったかは覚えていない。2009年と言ってもいいでしょう。不思議なことに、Wayback Machineでその論文を見つけることができませんでした。それはともかく、この論文は過去6年間のほとんどの期間（一緒に住んでいた女性に好意を持って削除した2013年は含まれていません）、インターネット上に掲載されていましたが、pdfではなくhtmlでした。

私のウェブサイトのインデックスや更新ページにもリンクされておらず、リンクも宣伝もされていない状態で、私がURLを教えた人だけが知っている状態でした。今となっては、他の人たちがこのサイトを見つけたのではないかと考えています。彼らは適切な検索キーワードを使ってこのサイトにたどり着いたのでしょう。この記事を書いた2007年当時、類似の説を検索しても何も出てこなかったのに、今になってこんなにたくさん出てくるのは不思議なことです。

この6、7年の間に類似の理論を広めた人たちは、この論文を読んだかもしれません。その中には、わざと雑音で困って曲解しようとしている人もいるのではないかと思いますので、今回、私の更新ページにリンクして公開しました。DallasGoldBugさんもそうでしょうし、youtubeなどの他の方も同じようなことをしているかもしれません。私は、同様の捏造事件の研究を推進している他のいかなる人物やサイトとも関係がなく、それらを推薦も信用もしていません。私は一人で、自分の名前で仕事をしており、身元を証明するために完全な経歴を載せています。私は自分自身で調査を行い、他の人の調査結果は読まないようにしています。私は出来事を新鮮に見たいので、他の人が発見しないことを発見することができるのです。

\*[http://video.google.com/videoplay?](http://video.google.com/videoplay?docid=5364744251931637753&q=kennedy+speech+secret+societies+full&total=76&start=30&num=10&so=0&type=search&plindex=6)

[docid=5364744251931637753&q=kennedy+speech+secret+societies+full&total=76&start=30&num=10&so=0&type=search&plindex=6](http://video.google.com/videoplay?docid=5364744251931637753&q=kennedy+speech+secret+societies+full&total=76&start=30&num=10&so=0&type=search&plindex=6)

\*\*<http://www.abcnews.go.com/US/Story?id=3902495&page=1>

<sup>1</sup>ビル・クーパー（一人）が自分の理論をメインストリーム・メディアに流すことが許されたのはこのためだ。それはCIAが殉教者を作らなくなかったからではない。ケネディが暗殺されたという説をクーパーが再販するのをCIAが喜んだからである。重要なのは形ではなく、メッセージだったのです。

<sup>2</sup>デイビス、デボラ。キャサリン・ザ・グレート

<sup>3</sup>[http://www.jfklibrary.org/NR/rdonlyres/8259F649-9A3C-4CE4-843E-8E41AFF26EC7/48804/CaseyJosephE\\_oralhistory.pdf](http://www.jfklibrary.org/NR/rdonlyres/8259F649-9A3C-4CE4-843E-8E41AFF26EC7/48804/CaseyJosephE_oralhistory.pdf)

<sup>4</sup>後に、H.R.ヘルドマンが私の読みを裏付けたことを知った。彼は次のように書いている。「ニクソンがビッグス湾について言及していたのは、実はケネディ暗殺のことを指していたようだ」。ヘルドマン・ダイアリー1994。

<sup>5</sup>例えば、上のリンクで紹介した1978年のBBCドキュメンタリーでは、プロデューサーはホッフアとトラフィカンテの両方を巻き込もうとしている。というのも、ケネディ家は長年にわたって両者をターゲットにしており、彼らのビジネスを盗むために（そして組合を破壊するために）狙っていたからです。

<sup>6</sup>もう一つの未解決問題を解決するために、サム・ジャンカーナの死も偽装であることが明らかになりました。ジャンカーナは、昔からケネディ家と関係がありました。彼は1960年の選挙に貢献したのだ。彼はケネディ家の敵ではありませんでした。むしろ味方だったのだ。ボビーはジャンカーナを追いかけるためだけに登場したのだ。ボビーはジャンカーナを狙うためだけに登場した。しかし、偽のメインイベントの後、マフィアの中にはジャンカーナが二重スパイではないかと疑う者が出てきた。それで、ジャンカーナもJFKと同じように、身の安全のために地下に潜ることになった。彼は、南米カリブ海に移されただけである。トラフィカンテはジャンカーナと手を組んでいたのだ、ケネディ家からも放置されていた。つまり、彼のビジネスは引き継がれましたが、彼を殺したり移転させたりする必要はなかったのです。彼は早くから土地勘があり、新しいボスと一緒に仕事をしていました。彼は、彼らが話をごまかすの喜んで手伝い、適当なところに責任を押し付けていた。